

平成 29 年度 業務実績報告書

(第 2 期中期計画・第 4 事業年度)

平成 3 0 年 6 月



地方独立行政法人 静岡県立病院機構

目 次

I 機構の概要（平成29年4月1日現在）

1 名 称	1
2 所在地	1
3 法人の設立年月日	1
4 設立団体	1
5 目 的	1
6 業 務	1
7 資本金の額	1
8 代表者の役職氏名	1
9 役 員	2
10 組 織 図	2
11 法人が運営する病院の概要	3

II 当該事業年度における業務実績報告

1 対象期間	5
2 業務実績全般	5
(1) 機構全体	5
(2) 総合病院	15
(3) こころの医療センター	16
(4) こども病院	17
3 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため とるべき措置	18
(1) 医療の提供	18
(2) 医療に関する技術者（医師・看護師等医療従事者）の研修を通じた育成と質の向上	23
(3) 医療に関する調査及び研究	24
(4) 医療に関する地域への支援	27
(5) 災害等における医療救護	28
4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	28
(1) 簡素で効率的な組織づくり	28
(2) 効率的な業務運営の実現	28
(3) 事務部門の専門性の向上	29
(4) 業務改善に不断に取り組む組織風土の醸成	29
5 項目別実績	30
(参考) 用語解説	78

【数値の表記方法について】

この報告書内の数値は表示単位未満を四捨五入のため、各項目の和と総計が一致しない場合がある。

 地方独立行政法人 静岡県立病院機構

Shizuoka Prefectural Hospital Organization

ともにつくる 信頼と安心の医療

この地方独立行政法人は、静岡県における保健医療施策として求められる高度又は特殊な医療の提供、地域医療の支援等を行うことにより、県内医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とする



静岡県立総合病院



静岡県立こころの医療センター



静岡県立こども病院

I 機構の概要（平成29年4月1日現在）

1 名称

地方独立行政法人静岡県立病院機構

2 所在地

静岡市葵区北安東四丁目27番1号

3 法人の設立年月日

平成21年4月1日

4 設立団体

静岡県

5 目的

静岡県における保健医療施策として求められる高度又は特殊な医療の提供、地域医療の支援等を行うことにより、県内医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与する。

6 業務

(1) 病院の名称及び所在地

名称	所在地
静岡県立総合病院	静岡市葵区北安東
静岡県立こころの医療センター	静岡市葵区与一
静岡県立こども病院	静岡市葵区漆山

(2) 業務の範囲

- ・医療を提供すること。
- ・医療に関する調査及び研究を行うこと。
- ・医療に関する技術者の研修を行うこと。
- ・医療に関する地域への支援を行うこと。
- ・災害等における医療救護を行うこと。
- ・及び上記の附帯業務。

7 資本金の額

6,822,733,469円

8 代表者の役職氏名

理事長 田中一成

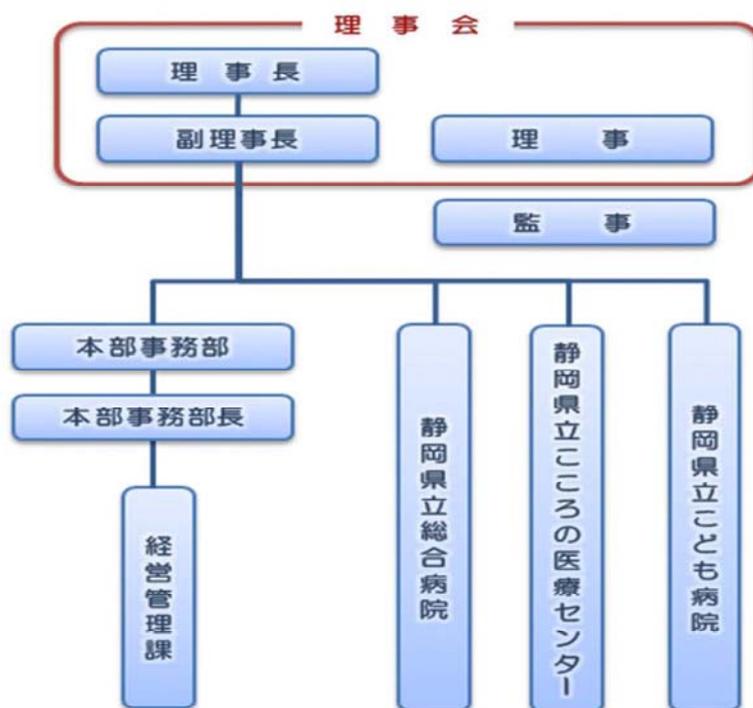
9 役員

(平成30年3月末現在)

役員名	区分	氏名
理事長	常勤	田中一成
副理事長	常勤	宮城島好史
理事	常勤	村上直人
理事	常勤	坂本喜三郎
理事	非常勤	柏崎順子
理事	非常勤	椎名正樹
理事	非常勤	中村彰宏
理事	非常勤	星野希代絵
監事	非常勤	鈴木素子
監事	非常勤	谷川樹史

(定款に定めた定数 理事長1名・副理事長1名・理事7名以内・監事2名)

10 組織図



○ 全職員数 (平成29年4月1日現在、現員)

医師※	410名
看護師	1,370名
医療技術	315名
事務ほか	118名
計	2,213名

※職員数には、アソシエイトを含む。また、医師には歯科医師4名、自治医大初期研修医4名、へき地指定公立病院派遣医2名、有期職員医師146名を含む。

※職員の増減状況は、14ページ参照

11 法人が運営する病院の概要

(1) 病院の名称・所在地等

(平成29年4月1日現在)

区分	地方独立行政法人 静岡県立病院機構		
病院名	総合病院	こころの医療センター	こども病院
所在地	静岡市葵区北安東 4丁目27-1	静岡市葵区与一 4丁目1-1	静岡市葵区漆山860番地
開設年月日	昭和58年2月1日	昭和31年11月1日	昭和52年4月1日
診療科 (医療法)	内科、救急科、心療内科、精神科、循環器内科、心臓血管外科、腎臓内科、泌尿器科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、脳神経外科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、呼吸器外科、産婦人科、乳腺外科、小児科、整形外科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、血液内科、皮膚科、形成外科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、病理診断科、腫瘍内科	精神科、内科、外科、歯科	小児科、小児救急科、新生児小児科、血液・腫瘍内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、アレルギー科、神経内科、循環器内科、皮膚科、小児外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、眼科、歯科、麻酔科、放射線科、産科、精神科、児童精神科、臨床検査科、病理診断科
	31科	4科	28科
許可病床数 (29年度)	一般 662床 結核 50床	精神 280床 (稼働172床)	一般 243床 (稼働235床) 精神 36床
年間延患者数 (29年度実績)	入院 232,585人 外来 430,118人	入院 55,144人 外来 41,140人	入院 75,586人 外来 105,763人
理念	信頼し安心できる質の高い全人的医療を行います	安全・良質・優しいこころの医療を、いつでもどこでも誰にでも	私たちは、すべての子どもと家族のために、安心と信頼の医療を行います。
備考	昭和23年6月 中央病院 昭和33年3月 富士見病院	「養心荘」 平成9年4月1日名称変更	

※昭和39年4月1日 中央病院、富士見病院、養心荘の3病院で病院事業会計開始。

(2) 施設状況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

区分	病棟	許可 病床数	内 容	
総 合	本 館	3 A	12	ハイケアユニット(HCU) (H29.9 から 3 A病棟 12 床→4 M病棟 先端医学棟 20 床へ変更)
		3 B	37	小児科、頭頸部・耳鼻いんこう科、救命救急科、病院管理ベッド (H29.8 から 37 床→36 床)
		3 D	44	産婦人科、小児科(新生児)、病院管理ベッド (H29.5 から 44 床→43 床、H29.9 から 43 床→40 床)
		4 A	44	総合診療科、皮膚科、整形外科 00
		4 B	47	腎臓内科、泌尿器科 (H29.9 から 47 床→46 床)
		4 D	42	血液内科、眼科、歯科口腔外科 (H29.9 から 42 床→41 床)
		5 A	46	消化器外科、泌尿器科
		5 B	46	消化器内科、消化器外科、腫瘍内科
		6 A	42	整形外科、消化器内科、病院管理ベッド (H29.9 から 42 床→41 床)
		6 B	50	結核
	6 C	49	呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科 (H29.9 から 49 床→48 床)	
	6 D	39	呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、放射線科	
	北 館	3 E	42	整形外科、神経内科、救急科
		4 E	34	消化器外科、乳腺外科、形成外科、循環器内科
		5 E	19	緩和医療科
	セ ン タ ー 循 環 器 病	1 G	11	救命救急科 (H29.5 から 11 床→12 床)
		3 G	12	集中治療室 (ICU、CCU)
		4 G	47	循環器内科、心臓血管外科
		5 G	49	神経内科、脳神経外科
		計	712	(稼働 712 床)
こ こ ろ	北 1	42	医療観察法 12 床、慢性重症 30 床	
	北 2	45	救急	
	北 3	54	(休棟)	
	南 1	42	回復期	
	南 2	43	救急	
	南 3	54	(休棟)	
	計	280	(稼働 172 床)	
こ ど も	北 2	36	NICU、GCU	
	北 3	30	内科系乳幼児	
	北 4	28	感染観察	
	北 5	28	内科系幼児学童	
	西 2	24	産科、MFICU	
	西 3	25	循環器科	
	CCU	12	CCU	
	PICU	12	PICU	
	西 6	48	外科系	
	東 2	36	こころの診療科	
計	279	(稼働 271 床)		

Ⅱ 当該事業年度における業務実績報告

1 対象期間

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 1 年間
(中期計画の期間 平成 26 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの 5 年間)

2 業務実績全般

(1) 機構全体

ア 総 括

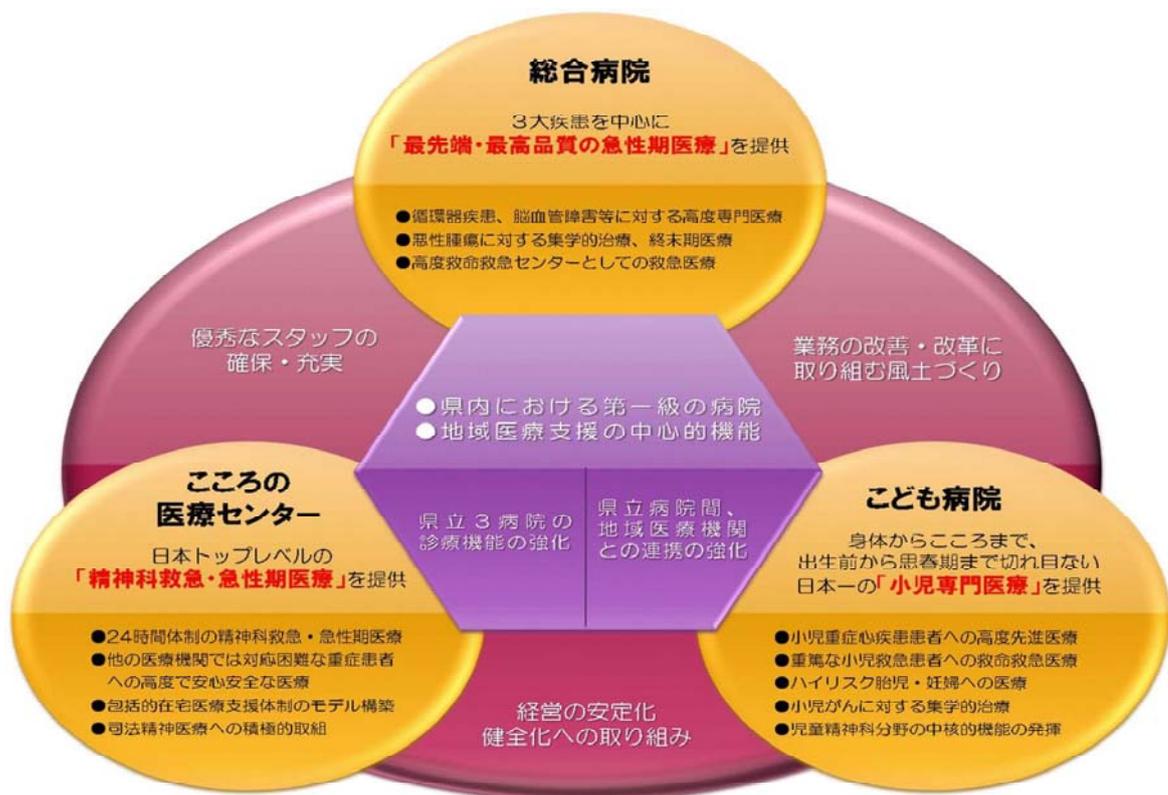
静岡県立病院機構は、高度・専門・特殊医療や救急・急性期医療等の分野において第一級の病院であること及び地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、地方独立行政法人の特徴である機動性や効率性等を發揮した病院経営に取り組んでいる。

法人化 9 年目となる 29 年度の経営状況（3 病院計）は、入院では、延患者数は 3 病院ともに年度計画（以下「計画」）を下回り、単価はこころの医療センターが計画を上回った。また、外来では、延患者数はこころの医療センターが計画を上回り、単価は 3 病院とともに計画を上回った。

収支は、経常利益が 843 百万円（経常収支比率 101.9%）、当期純利益が 934 百万円で、法人化後 9 年連続で経常収支比率 100%を達成した。

引き続き、本機構は、医療の質を高め、高度・専門・特殊医療や救急・急性期医療等に積極的に取り組み、医療面では充実した質の高い医療を提供し、経営面では機能的で効率的な病院経営を推進し、本県の医療の確保と向上に貢献していく。

県立病院機構が目指す病院像



イ 業務実績

(ア) 入院診療

- ・ 総合病院は、年度計画（以下「計画」）を下回る延患者数(▲3,716人)となり、患者1人1日当たり入院単価（以下、入院単価：入院収益÷年延入院患者数）も計画を下回った(▲1,924円)。
- ・ こころの医療センターは、計画を下回る延患者数(▲812人)となったが、入院単価は計画を上回った(+82円)。
- ・ こども病院は、計画を下回る延患者数(▲6,414人)となり、入院単価も計画を下回った(▲164円)。

(イ) 外来診療

- ・ 総合病院は、計画を下回る延患者数(▲10,492人)となったが、患者1人1日当たり外来単価（以下、外来単価：外来収益÷年延外来患者数）は計画を上回った(+75円)。
- ・ こころの医療センターは、計画を上回る延患者数(+2,198人)となり、外来単価も計画を上回った(+277円)。
- ・ こども病院は、計画を下回る延患者数(▲1,237人)となったが、外来単価は計画を上回った(+157円)。

○ 平成29年度 業務量及び単価等（税込）

区 分		総 合	こころ	こども
入 院	入院延患者数(人)	232,585 (236,301)	55,144 (55,956)	75,586 (82,000)
	新入院患者数(人)	17,754	462	5,347
	病床稼働率(%)	一般93.5 (一般95.0)	87.8 (89.1)	76.4 (82.9)
	入院患者1人 1日当たり単価(円)	76,575 (78,499)	25,137 (25,055)	92,256 (92,420)
外 来	外来延患者数(人)	430,118 (440,610)	41,140 (38,942)	105,763 (107,000)
	外来初診患者数(人)	27,226	917	7,925
	外来患者1人 1日当たり単価(円)	19,875 (19,800)	6,149 (5,872)	13,627 (13,470)

※（ ）書きは、計画数値を示す。

※患者1人1日当たり単価は税込金額（調定額ベースで算定）。

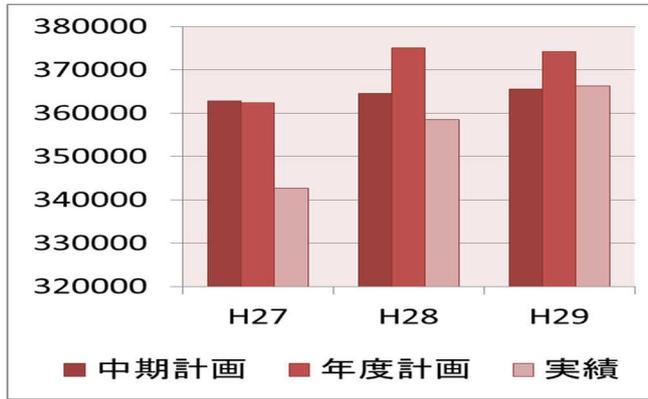
※病床稼働率は、総合662床、こころ172床、こども271床で算定。

<参考資料>

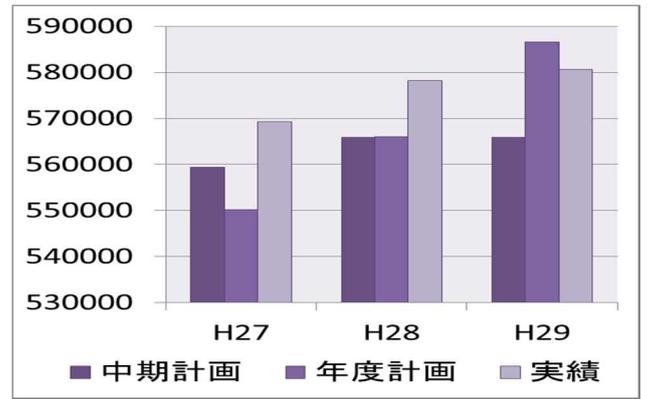
○患者数の推移 (27年度実績～29年度実績)

(単位：人)

入院延患者数 (3病院計)



外来延患者数 (3病院計)



・29年度は入院延患者数及び外来患者数が中期計画を上回ったが、年度計画を下回った。

○市内公的病院患者動向 (月平均延患者数 :H29. 4～H30. 3－H28. 4～H29. 3 比較)

(単位：人、%)

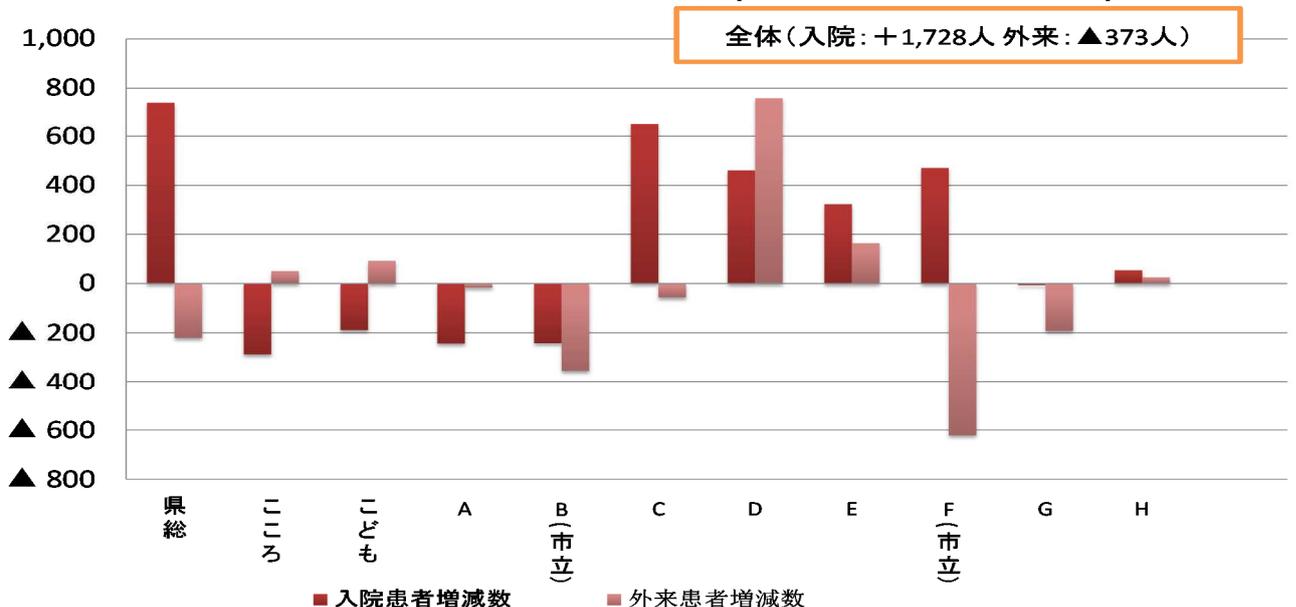
区分	県総 ①	こころ ②	こども ③	A ④	B(市立) ⑤	C ⑥	D ⑦	E ⑧	F(市立) ⑨	G ⑩	H ⑪	⑤～⑪ 小計	①～⑪ 合計	
入院	H29	19,382	4,453	6,299	9,790	13,577	12,886	13,801	5,760	10,864	2,737	3,749	63,374	103,298
	H28	18,642	4,742	6,488	10,034	13,820	12,236	13,340	5,437	10,393	2,743	3,695	61,664	101,570
	差	740	▲289	▲189	▲244	▲243	650	461	323	471	▲6	54	1,710	1,728
外来	H29	35,843	3,447	8,814	2,968	23,151	16,137	20,402	7,692	14,735	6,242	6,932	95,291	146,363
	H28	36,064	3,396	8,722	2,984	23,507	16,193	19,644	7,528	15,357	6,434	6,907	95,570	146,736
	差	▲221	51	92	▲16	▲356	▲56	758	164	▲622	▲192	25	▲279	▲373

・入院延患者は総合病院が増加しており、外来延患者はこころの医療センターとこども病院で増加した。



H29市内公的病院月平均患者数の前年同期比較

市内公的病院月平均患者増減数(H29.4～3－H28.4～3) 単位：人



(ウ) 平成 29 年度収支実績 (税込)

① 収益的収支 (税込)

(単位：千円)

区分	款	項	最終予算額 (計画)	決算額 (実績)	増減額 (達成度)	決算額 (前年度)	増減額 (前年比)
収益	営業 収益	医業収益	38,711,483	37,017,369	▲1,694,114	35,727,133	1,290,236
		運営費負担金収益	6,789,772	6,817,496	27,724	6,807,586	9,910
		その他営業収益	379,009	390,434	11,425	390,453	▲19
		小計	45,880,264	44,225,299	▲1,654,965	42,925,172	1,300,125
	営業外 収益	運営費負担金収益	210,228	182,504	▲27,724	192,414	▲9,910
		その他営業外収益	294,583	287,421	▲7,162	292,416	▲4,995
		小計	504,811	469,925	▲34,886	484,830	▲14,905
	臨時利益	臨時利益	0	276,252	276,252	7,505	268,747
	計		46,385,075	44,971,476	▲1,413,599	43,417,507	1,553,969
費用	営業 費用	医業費用	44,769,550	42,861,993	▲1,907,557	41,368,872	1,493,121
		一般管理費	405,493	341,609	▲63,884	348,040	▲6,431
		小計	45,175,043	43,203,602	▲1,971,441	41,716,912	1,486,690
	営業外 費用	財務費用	346,606	317,824	▲28,782	331,723	▲13,899
		その他営業外費用	339,364	330,319	▲9,045	259,116	71,203
		小計	685,970	648,143	▲37,827	590,839	57,304
	臨時損失	臨時損失	310,757	185,716	▲125,041	30,174	155,542
	計		46,171,770	44,037,461	▲2,134,309	42,337,925	1,699,536
経常利益		524,062	843,479	319,417	1,102,251	▲258,772	
当期純利益		213,305	934,015	720,710	1,079,582	▲145,567	

※単位未満四捨五入のため各項目の和と総計が一致しない場合がある (以下同様)。

- ・ 経常利益は 843,479 千円で、計画を 319,417 千円上回り、経常収支比率 100%以上 (101.9%) を達成した。
- ・ 当期純利益は 934,015 千円で、計画を 720,710 千円上回った。
- ・ 医業収益は、外来は延患者数、単価ともに計画を上回ったが、入院は延患者数、単価ともに計画を下回ったため、計画を 1,694,114 千円下回った。
- ・ 医業費用は、給与費 (計画比▲743,863 千円) 及び経費 (計画比▲911,219 千円) が計画を下回ったため、計画よりも 1,907,557 千円抑えられた。

② 資本的収支 (税込)

(単位：千円)

区分	款	項	最終予算額 (計画)	決算額 (実績)	増減額 (達成度)	決算額 (前年度)	増減額 (前年比)
収入	資本 収入	長期借入金	9,233,000	9,395,000	162,000	6,563,000	2,832,000
		長期貸付金回収額	0	30,700	30,700	19,000	11,700
		補助金・寄附金等	100,000	100,604	604	53,170	47,434
		計	9,333,000	9,526,304	193,304	6,635,170	2,891,134
支出	資本 支出	建設改良費	11,416,904	9,533,935	▲1,882,969	6,673,492	2,860,443
		償還金	3,089,169	3,094,337	5,168	2,683,874	410,463
		長期貸付金	289,950	173,900	▲116,050	189,550	▲15,650
		計	14,796,023	12,802,172	▲1,993,851	9,546,916	3,255,256
総	収	支	▲5,463,023	▲3,275,868	2,187,155	▲2,911,746	▲364,122

(工) 病院別収支実績

① 収益的収支 (税込)

(単位：千円)

款	項	総合	こころ	こども	法人計
営業 収益	医業収益	26,868,903	1,659,053	8,489,413	37,017,369
	運営費負担金収益	2,400,145	1,104,357	3,312,994	6,817,496
	その他営業収益	225,168	51,999	113,267	390,434
	小計	29,494,216	2,815,409	11,915,674	44,225,299
営業 外益	運営費負担金収益	87,384	28,047	67,073	182,504
	その他営業外収益	236,684	7,967	42,770	287,421
	小計	324,068	36,014	109,843	469,925
臨時利益	臨時利益	175,378	20,377	80,497	276,252
収益 計 (予算額※<計画>) (増減額)	収益計	29,993,662	2,871,800	12,106,014	44,971,476
	(予算額※<計画>)	(30,922,641)	(2,825,361)	(12,637,073)	(46,385,075)
	(増減額)	(▲928,979)	(46,439)	(▲531,059)	(▲1,413,599)
営業 費用	医業費用	29,036,239	2,443,926	11,381,828	42,861,993
	一般管理費	228,877	20,497	92,235	341,609
	小計	29,265,116	2,464,423	11,474,063	43,203,602
営業 外用	財務費用	156,023	42,625	119,176	317,824
	その他営業外費用	248,402	11,105	70,812	330,319
	小計	404,425	53,730	189,988	648,143
臨時損失	臨時損失	175,901	257	9,558	185,716
費用 計 (予算額※<計画>) (増減額)	費用計	29,845,442	2,518,410	11,673,609	44,037,461
	(予算額※<計画>)	(31,095,472)	(2,697,896)	(12,378,402)	(46,171,770)
	(増減額)	(▲1,250,030)	(▲179,486)	(▲704,793)	(▲2,134,309)
経常 利益 (予算額※<計画>) (増減額)	経常利益	148,743	333,270	361,466	843,479
	(予算額※<計画>)	(31,796)	(131,365)	(360,901)	(524,062)
	(増減額)	(116,947)	(201,905)	(565)	(319,417)
当期 純損益 (予算額※<計画>) (増減額)	当期純損益	148,220	353,390	432,405	934,015
	(予算額※<計画>)	(▲172,831)	(127,465)	(258,671)	(213,305)
	(増減額)	(321,051)	(225,925)	(173,734)	(720,710)

- 総合病院の経常利益は148,743千円で、計画を116,947千円上回った。これは、先端医学棟の稼働に伴い手術件数が増加したことに加え、一般病棟、重症系病棟（ERHCU、ICU、HCU）の稼働率が向上したことにより医業収益が増加したことが主な要因である。
- こころの医療センターの経常利益は333,270千円で、計画を201,905千円上回った。これは、外来延患者数の増加により医業収益が計画を17,825千円上回ったことに加え、経費の減等により費用が計画を179,486千円下回ったことが主な要因である。
- こども病院の経常利益は361,466千円で、計画を565千円上回った。これは、経費の節減努力等により費用が計画を704,793千円下回ったことが主な要因である。

② 資本的収支（税込）

（単位：千円）

款	項	総合	こころ	こども	法人計
資本 収入	長期借入金	8,942,000	7,000	446,000	9,395,000
	長期貸付金回収額	22,718	2,149	5,833	30,700
	その他収入	100,221	0	383	100,604
	計	9,064,939	9,149	452,216	9,526,304
資本 支出	建設改良費	9,069,346	9,107	455,482	9,533,935
	償還金	1,675,938	468,212	950,187	3,094,337
	長期貸付金	128,738	12,158	33,003	173,900
	計	10,874,021	489,478	1,438,673	12,802,172
総	収 支	▲1,809,082	▲480,329	▲986,457	▲3,275,868

- 29年度の建設改良費は9,533,935千円で、その内訳は、3病院の器械備品等資産購入が3,885,946千円（A）、建設改良工事が5,647,989千円（B）となった。（A）の主なものとしては、総合病院で放射線治療装置CT同室型を整備し、（B）の主なものとしては、総合病院において先端医学棟建築工事を実施したほか、同病院で立体駐車場建築工事等、こども病院で本館リニューアル改修、院内保育所移転新築工事等を実施した。
また、長期貸付金173,900千円は、看護師確保対策として、当機構に就職を希望する看護学生に対して修学資金の貸付を行ったほか、職員の育成及び資質向上等を目的に、職員に対し資格等の取得に必要な資金の貸付を行ったものである。

（オ）決算指標＜3病院計＞（税込）

区分	項目	計画	実績	増減
収 支 構 造	経常収支比率（％）	101.1	101.9	0.8
	医業収支比率（％）	86.5	86.4	▲0.1
収 入 構 造	病床稼働率（％）	88.8	88.4	▲0.4
	入院患者1人1日当たり単価（円）	73,559	72,030	▲1,529
	外来患者1人1日当たり単価（円）	17,721	17,751	30
費 用 構 造	職員給与比率（％）	57.2	57.8	0.6
	材料費比率（％）	30.5	31.8	1.3

※患者1人1日当たり単価は、調定額ベースで算定。病床稼働率は、3病院の稼働病床数で算定。

- 収支構造の各指標は、経常収支比率が第2期中期計画の数値目標である100%を上回る101.9%で、計画を0.8ポイント上回った。また、医業収支比率は計画を0.1ポイント下回った。
- 収入構造では、入院患者1人1日当たり単価は計画を1,529円下回ったが、外来患者1人1日当たり単価は、計画を30円上回った。収益確保の取り組みとしては、総合病院では、先端医学棟の稼働に伴う手術件数の増加や入退院センターによる効率的なベッドコントロールを実施し、こども病院では新生児病棟間（NICU・GCU）における積極的な退院支援と効率的なベッドコントロールを実施している。
- 費用構造では、職員給与比率、材料費比率はそれぞれ計画比0.6ポイント増、1.3ポイント増と悪化した。

【収支構造】

- ・ 経常収支比率 $\text{経常収益} \div \text{経常費用} \times 100$
病院が安定した経営を行うための財政基盤を確保するための指標で、適正な区分負担を前提として100%以上が望ましい。
- ・ 医業収支比率 $\text{医業収益} \div \text{医業費用} \times 100$
医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標で、100%以上が望ましい。

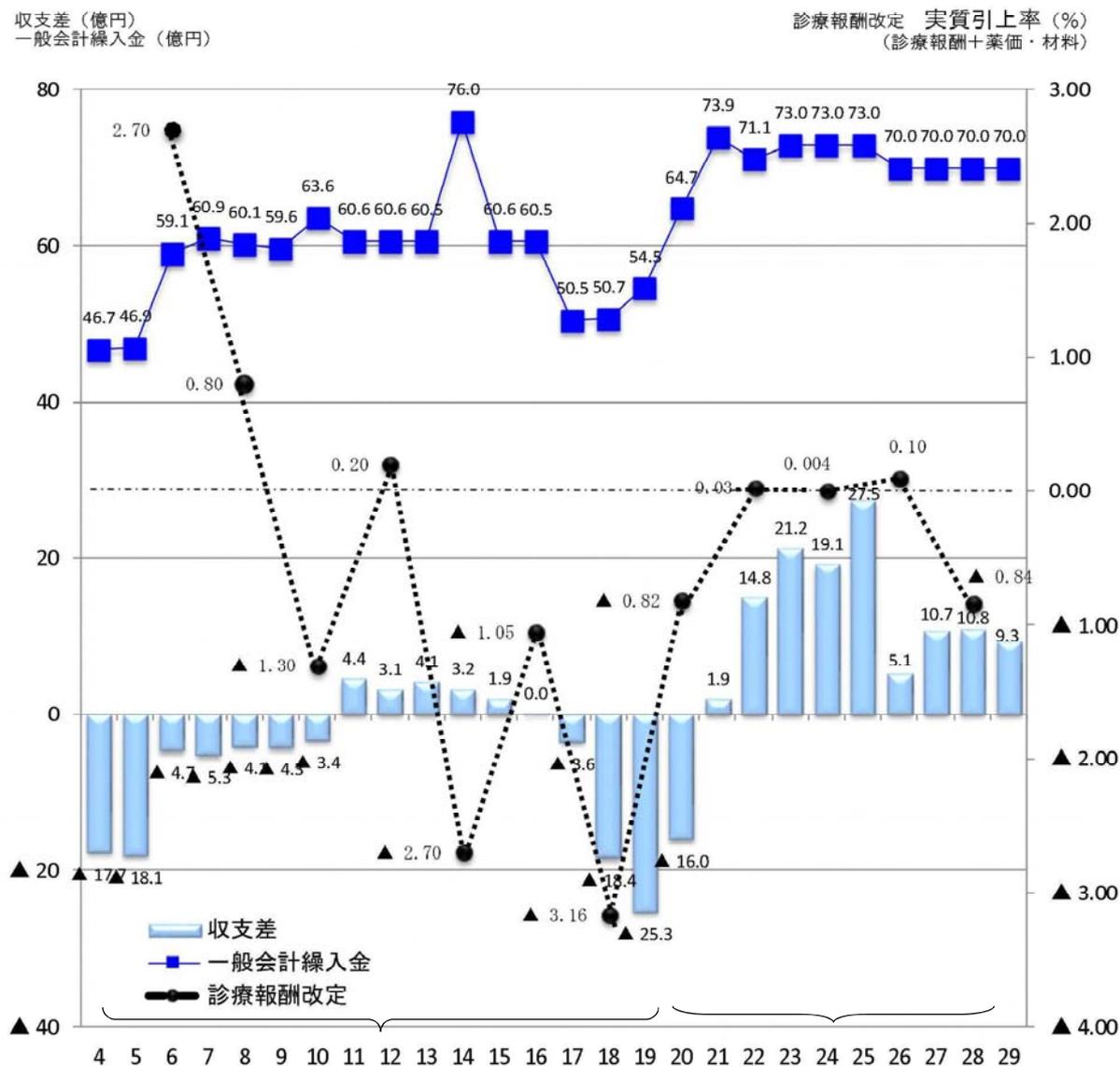
【収入構造】

- ・ 病床稼働率 $\text{年間延入院患者数} \div \text{年延病床数 (稼働病床} \times \text{歴日数)} \times 100$
病院の施設が有効に活用されているか判断する指標である。
- ・ 入院患者1人1日当たり単価 $\text{入院収益} \div \text{年延入院患者数}$
- ・ 外来患者1人1日当たり単価 $\text{外来収益} \div \text{年延外来患者数}$
病院の収入分析をするうえで基本的な指標。収入を増加させるため、患者数(量的要素)と1人当たりの収入(質的要素)が重要となる。

【費用構造】

- ・ 職員給与比率(職員給与費対医業収益比率) $\text{職員給与費} \div \text{医業収益} \times 100$
病院の職員数等が適正であるか判断する指標。職員給与費をいかに適切なものとするかが病院経営の重要なポイントである。
- ・ 材料費比率(材料費対医業収益比率) $\text{材料費} \div \text{医業収益} \times 100$
この比率が高い場合、材料費の購入価格(方法)を見直し、材料費の削減を図る必要がある。(薬品・診療材料・その他)

(カ) 決算状況の推移（収支と繰入金（県負担金）・診療報酬の改定）（3病院計）



地方公営企業

地方独立行政法人

※平成30年度は見込み

- ※ 平成14年度の一般会計繰入金75.98億円には、がんセンター開院準備経費分15.44億円を含む。
- ※ 平成17年度から平成19年度までは繰入金10億円を抑制（県財政事情を勘案）。
- ※ 平成21年度から地方独立行政法人へ移行したため、一般会計繰入金は運営費負担金に名称変更。
- ※ 平成22年度の診療報酬改定率は政府発表の+0.19%の後、薬価部分に追加された後発品のある先発品の価格引下げ分▲0.16%を加味して実質的な改定率を+0.03%とした。
- ※ 平成24年度の診療報酬改定率は薬価部分を市場価格の下落を反映して1.375%引き下げの一方、医師の診療行為や入院料などの本体部分は1.379%引き上げた結果、実質的な改定率は+0.004%となった。
- ※ 平成26年度の診療報酬改定率は、薬価及び材料価格の改定を0.63%引き下げの一方、本体部分を0.73%引き上げた結果、全体改定率は+0.10%となった。（消費税率引上げ対応分を除いた実質改定率は▲1.26%）
- ※ 平成28年度の診療報酬改定率は、薬価及び材料価格の改定をそれぞれ1.22%、0.11%引き下げの一方、本体部分を0.49%引き上げた結果、全体改定率は▲0.84%となった。

(キ) 職員の状況 (各年度4月1日現在)

① 正規職員

(単位：人)

区分	総合		こころ		こども		本部		計	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30
医師	157	165	12	14	91	90	-	-	260	269
歯科医師	3	3	-	-	1	1	-	-	4	4
看護師	804	806	115	118	449	444	2	2	1,370	1,370
看護師	800	802	114	117	449	444	2	2	1,365	1,365
准看護師	4	4	1	1	-	-	-	-	5	5
医療技術	208	214	26	25	81	80	-	-	315	319
事務	52	54	13	13	28	27	25	32	118	126
計	1,224	1,242	166	170	650	642	27	34	2,067	2,088

※アソシエイトを含む。

② 有期職員

(単位：人)

区分	総合		こころ		こども		本部		計	
	H29	H30								
医師	91	90	5	3	47	55	1	1	144	149
歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
看護師	69	68	13	11	12	13	-	-	94	92
看護師	68	67	12	10	11	12	-	-	91	89
准看護師	1	1	1	1	1	1	-	-	3	3
医療技術	31	35	5	4	16	19	-	-	52	58
事務	151	151	14	14	52	54	8	6	225	225
補助職員	93	94	11	11	23	24	1	1	128	130
計	435	438	48	43	150	165	10	8	643	654

※補助職員：看護助手、薬剤助手、放射線助手、検査助手等

※短期間特別研修医は含まない。

(ク) 平成30年度職員の採用状況 (平成29採用試験実施状況) (平成30年3月末現在)

- ・看護師の採用については、定期募集を年間4回、経験者募集を年8回計画し、募集を行った。また、県立総合病院における看護師を確保するため、平成25年10月より看護師の紹介業者を通じた採用をしてきた。
- ・平成29年度においては、平成27年度、平成28年度に引き続き、看護師確保対策の推進を図るため、人材確保対策本部会議を実施した。本会議において、機構幹部職員が直接協議したことで、きめ細やかな対策を迅速に実施することができ、看護師採用数の大幅な増加につながった。(H26 108人⇒ H27 149人、H28 136人(アソシエイト5人を含む)、H29 113人)
- ・人材確保対策会議による対策例としては、修学資金の拡充の継続(貸与時期2期制等)、支度金制度の実施、病院見学会の旅費の拡充(市外 最大5万円)、静鉄電車・バス等へのポスター掲載、JR静岡駅への電照公告掲載等があげられる。
- ・また、看護学生向けに就職情報を提供する民間事業者が開催する合同就職説明会への参加や就職情報サイトへの情報掲載等を積極的に行うと伴に、看護師就職説明会において、看護学生を集めるために看板等の作成やノベルティの配布を行った。

- ・看護師確保対策を積極的に実施した結果、平成 29 年度看護師採用試験における応募が盛況となり、年度途中で採用数が確保できたため、当初計画していた第 4 期試験の実施を見送った。
- ・また、看護師が充足してきたことから、人材確保対策本部会議及び紹介業者を通じた採用を見合わせ、今後は退職補充を中心に採用をしていく。
- ・医療技術については 18 人（薬剤師（一般）3 人、薬剤師（経験者）2 人、診療放射線技師（一般）1 人、診療放射線技師（医学物理士）1 人、臨床検査技師（一般）1 人、臨床検査技師（経験者）1 人、臨床工学技士（経験者）3 人、栄養アソシエイト 1 人、言語聴覚アソシエイト 2 人、臨床検査アソシエイト 3 人）を確保した。
- ・事務については、7 人（医事経験 1 人、情報経験 1 人、アソシエイト 5 人）を確保した。

(単位：人)

区 分	H29 試験実施 【H30 採用】	H28 試験実施 【H29 採用】	差引
看 護 師	113	136	▲23
事 務	6	1	5
医 療 技 術	18	2	16
計	137	139	▲2

※前倒し採用は試験実施年度に集計。

平成 29～30 年度 職員数の推移

(単位：人)

区 分	H29. 4. 1	29 年度中 採用者数 b	29 年度中退職者数		H30. 3. 31 現員数 e=a+b-c+d	H30. 4. 1 採用者数 f	H30. 4. 1 現員数 g=e-d+f	
	現員数 a		C	うち H30. 3. 31 退職者数 d				
医 師	正 規	264	13	36	18	259	32	273
	有 期	144	12	75	69	150	68	149
	計	408	25	111	87	409	100	422
看 護 師	1,370	12	115	55	1,322	103	1,370	
医 療 技 術	315	7	15	7	314	12	319	
事 務	118	4	2	1	121	6	126	
	うちプロパー	64	4	1	1	68	2	70
計	2,211	48	243	150	2,166	221	2,237	

※ アソシエイトを含む(H29 看護 5 人、医療技術 1 人、事務 2 人 H30 看護 6 人、医療技術 6 人、事務 7 人)

※ 正規医師には、歯科医師、自治医初期研修医、へき地代診医師を含む

※ 有期医師の契約は 1 年更新、短期間特別研修医は除く

(2) 総合病院

<理 念>

「信頼し安心できる質の高い全人的医療を行います」

全人的医療：身体、精神、心理、生活様式などを含めた総合的な視点から、患者さん自身の全体的な健康回復を目指す医療

<基本方針>

- 1 医療を受ける人々の立場に立ち、説明に基づく心のこもった医療を行います。
- 2 県内の中核病院として高度医療や先進的医療に取り組み、地域医療を支援します。
- 3 救急医療、災害医療、へき地医療、結核医療などの政策医療を積極的に担います。
- 4 将来の医療を担う質の高い人材を育成します。
- 5 快適な職場環境の整備と透明性の高い健全な病院運営に努めます。

<総 括>

総合病院は、県内医療機関の中核的病院として、各疾患の総合的な医療をはじめ、高度・専門医療や救急・急性期医療を提供している。

平成 29 年度も引き続き、循環器病センター機能を活かした 24 時間 365 日体制での高度な専門的医療の提供、がん疾患患者に高度な集学的治療の提供、高度救命救急センターとして重症な患者への救急医療提供を主要事業の三本柱として取り組んでいる。

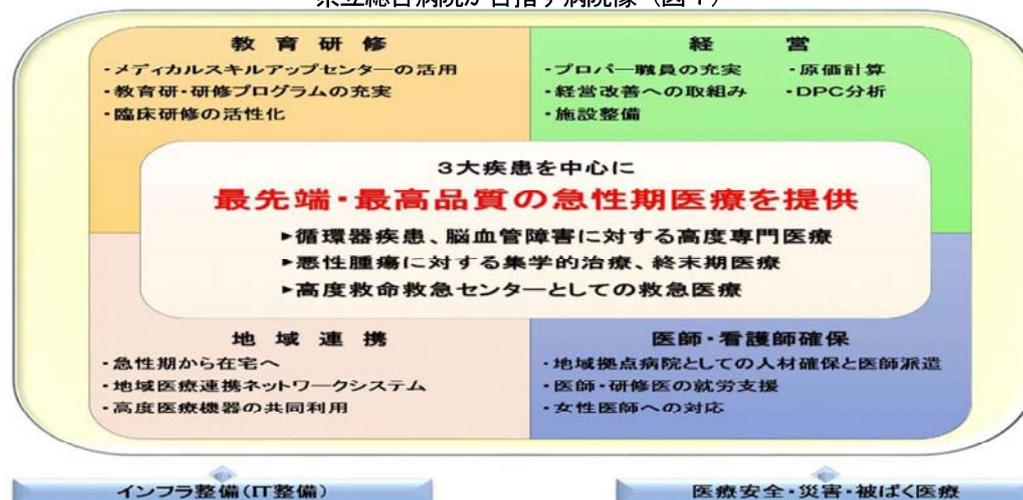
また、地域の中核的病院として、急性期を担当する機能に特化し、機能分担を進めるため、地域の医療機関との連携を強化し、紹介・逆紹介を推進している。さらに高度な医療機器を地域全体で利用できるように、共同利用の取組みを進めた。

平成 29 年 9 月に最先端の治療機器、臨床研究の設備が整った先端医学棟が稼動し、「治療」、「教育」、「研究」の三つの役割・機能を強化している。

医療内容の高度化、手術件数の増加、高額薬剤の使用（がん治療薬：オプジーボ等）に加え、集中治療系病棟（ERHCU、ICU、HCU）の稼働率向上、入院料加算算定延べ件数の増加、施設基準の積極的な取得及び維持、各科の稼働状況にあわせた病床再編などに取り組むことにより、診療単価、入院延患者数、入院収益ともに昨年度を上回った。また、外来延患者数は昨年度を下回ったが、外来収益については昨年度を上回った。

今後、県立総合病院が目指す病院像（図1）のとおりに、病院が所有する各種機能を強化・連携し、県立病院としての機能向上を一層図ることとしている。

県立総合病院が目指す病院像（図1）



(3) こころの医療センター

<理 念>

安全・良質・優しいこころの医療を、いつでもどこでも誰にでも

<基本方針>

- 1 患者さんの人権と尊厳を守ります。
- 2 24時間365日、精神科救急医療を提供します。
- 3 最新の知識と技術を取り入れた高度専門医療を提供します。
- 4 手厚いチーム医療によって早期退院を目指します。
- 5 在宅医療とリハビリテーション、社会参加を支援します。
- 6 社会資源を開拓し、連携を強化します。
- 7 司法精神医療、災害医療などの公益医療に主体的に参加します。
- 8 社会人・組織人・医療人としての人材育成に努めます。
- 9 広い視野に立って研鑽を重ね、積極的に社会へ情報発信します。
- 10 健全で透明性の高い病院経営を目指します。

<総 括>

こころの医療センターでは、日本トップレベルの「精神科救急・急性期医療」を提供するため、「救急・急性期医療の充実」、「在宅医療の拡充」、「高度な医療技術の導入」及び「司法精神医療の充実」を重点的に推進し、目標とする精神科医療の体制整備（将来構想（図2）参照）に取り組んでいる。

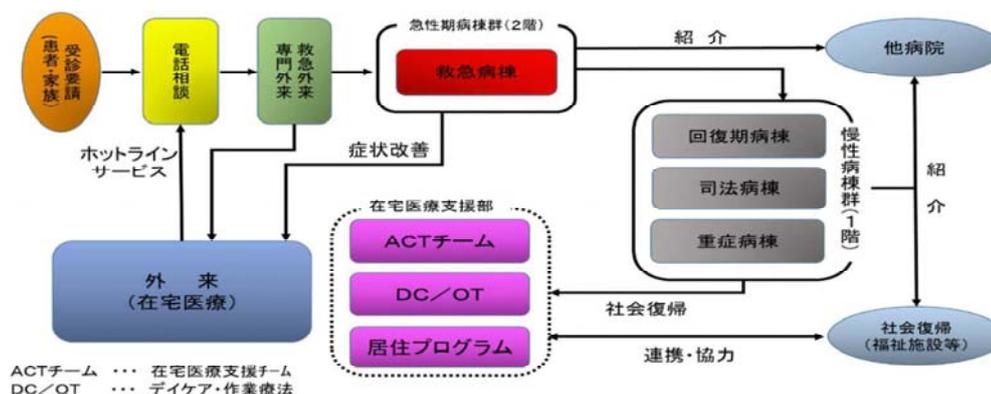
平成22年度より急性期病棟群（救急及び急性期病棟）を中心に救急・急性期患者の受け入れを行い、それを後方的に支援する慢性病棟群（回復期及び慢性重症病棟）との機能分化を進め、平成25年度には急性期病棟を救急病棟に移行する等、診療体制を強化した。平成28年度には、南1病棟の一部個室化運用の開始により、救急病棟、回復期病棟における病棟間の連携強化を図り、今年度も引き続き効率的な病棟運営に努めている。

一方、精神科における医療は、「入院医療中心から地域生活中心へ」という方針が世界的趨勢であることから、在宅医療支援部門を強化し、多職種チームによる地域生活での支援体制の整備と長期入院者の退院促進に取り組んだ。

あわせて、退院後の安定的な生活を維持し、再入院を防止することを目的に、患者に対する心理・社会的治療に積極的に取り組んだ。

また、クロザピンや修正型電気けいれん療法（m-ECT）など、高度な医療の導入に積極的に取り組むとともに、医療観察法指定入院医療機関として安定した運営を継続するなど、県内精神医療の中核病院としての役割を果たすべく取り組んだ。

こころの医療センター診療体制整備の将来構想（図2）



(4) こども病院

<理 念>

「私たちは、すべての子どもと家族のために、安心と信頼の医療を行います。」

<基本方針>

「患者中心の医療サービスの継続」

〔 地域の医療機関と連携し、診断・治療が困難なこどもの患者へ
質の高い効果的な医療を提供 〕

こども病院が目指す方向 (図3)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 専 門 病 院 | 安全を重視した質の高い医療 |
| 2 教 育 | 教育内容の充実が最大目標の一つ |
| 3 地 域 連 携 | 相互支援に基づいた地域医療連携 |
| 4 効率的な病院経営 | 独善に陥らない標準的な経営と改善努力 |
| 5 働きやすい病院 | スタッフの満足度が高い労働環境 |
- *平成24年4月改定



<総 括>

こども病院は、昭和52年度の開院以来、静岡県の地域医療、小児医療に貢献するという設立趣旨に則り、高度かつ先進的な医療を実践している。

現在では、県内小児医療の中核病院として、循環器疾患医療、小児救急医療、周産期医療、小児がん医療、児童精神科医療を中心に、すべての小児の健康問題に対応可能な小児専門総合医療施設として、質の高い医療を県民に提供している。

平成29年度は、当院の多職種で構成される抗菌薬適正使用に特化したチーム(SAT)の抗菌薬処方に介入による抗菌薬処方削減及び耐性菌を抑制する取組みが、「第1回薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰」において表彰された。

また、国際交流において、10月には以前より交流のある中国の浙江大学医学院附属儿童医院から研修医を受け入れ、11月には院長など当院訪問団が児童病院を訪問し、当院と友好協定を締結するなど、積極的な交流を行った。

3 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 医療の提供

ア 総合病院

○ 業務実績を示す各種指標

- 入院延患者数、入院単価ともに、年度計画（以下「計画」）を下回った。外来延患者数は計画を下回ったものの、外来単価は計画を上回った。年間収入は計画額を下回ったが、経常利益は計画を上回った。入院単価の増加要因としては、心臓血管外科や循環器内科を中心に診療内容が高度化したことや、集中治療系病棟（ERHCU、ICU、HCU）の入院料加算算定延べ件数が増加、入退院センターを中心に病床再編を実施、各種施設基準の新規取得、ランクアップの効果等が挙げられる。また、外来単価の増加要因については、外来化学療法の件数が増加、高額薬剤（がん治療薬：オプジーボ等）の使用、高度医療に取り組んだ効果によるものである。

平成 29 年度 業務量及び単価等

区分		年度計画	実績	増減	達成率 (%)	
入院	一般病床	入院延患者数 (人)	229,549	226,005	▲3,544	98.5
		病床稼働率 (%)	95.0	93.5	▲1.5	98.4
		平均在院日数 (日)		11.8		
	結核病床	入院延患者数 (人)	6,752	6,580	▲2,828	97.5
		病床稼働率 (%)	37.0	36.1	▲0.9	97.6
		平均在院日数 (日)		74.6		
患者 1 人 1 日 当 たり 単 価 (円)		78,499	76,575	▲1,934	97.5	
外来	外来延患者数 (人)	440,610	430,118	10,492	97.6	
	患者 1 人 1 日 当 たり 単 価 (円)	19,800	19,875	75	100.4	

※患者 1 人 1 日 当 たり 単 価 は、税 込 金 額 (調 定 額 ベー ス で 算 定)。病 床 稼 働 率 は、一 般 病 床 662 床 で 算 定、結 核 病 床 は 50 床 で 算 定

- 紹介率、逆紹介率ともに計画を大きく上回った。ともに高い水準を実現し、病診・病病連携がいっそう進んでいる。

平成 29 年度 紹介率・逆紹介率

(単位：%)

区 分	年度計画	実績	増 減
紹 介 率	80.0	90.6	+10.6
逆 紹 介 率	90.0	175.5	+85.5

※紹介率・逆紹介率の算定方法は、用語解説を参照。

- ・ 医療の提供については、急性心筋梗塞、脳卒中等の循環器疾患医療、がん医療、救急医療の3本を重点に据えるとともに、地域医療の支援及び医療技術者の研修に重点的に取り組んでいる。平成29年3月の厚生労働省告示により、全国1,668のDPC病院（急性期病院）の中で引き続き全国140病院のⅡ群の一つを維持し、大学病院本院（Ⅰ群）と同等の高密度診療及び医師研修を行っている病院として選ばれた（県内では当院を含めて5病院）。
- ・ 急性心筋梗塞、脳卒中等の循環器疾患医療については、ハイブリッド手術を整備し、平成26年10月より運用を開始した。最新の治療器材と鮮明な画像診断を併用し、ステントグラフト治療やTAVI（経カテーテル大動脈弁治療）など、循環器分野における先進的な治療を行った。
- ・ 重症度の高い患者に対して、集中治療病棟で濃厚治療を行い施設基準のランクアップを図った。ランクアップに伴い、入院診療収益が増加した。

循環器病センター



救命救急センター（1F）



ハイブリッド手術室（2F）



CCU（3F）

- ・ がん医療については、総合相談センターに専従で認定看護師を配置し、相談体制を強化している。放射線治療の充実を目指してリニアックを4台設置し、稼働している。このほか、地域の医療者にも開かれたキャンサーボード及びがん研修会を定期的に開催し、PETセンターの共同利用を進めるなど、地域がん診療連携拠点病院としての機能強化に努めている。
平成29年9月に国立がん研究センターから公表された「がん診療連携拠点病院院内がん登録2015年全国集計報告書」において、当院の登録件数2,906件は全国427施設で46番目に多い登録件数であった。手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入し、平成26年2月から運用を開始した。泌尿器領域の前立腺がん手術、膀胱全摘除手術（全額自費診療）、腎部分切除手術、婦人科領域の子宮頸がん手術、大腸がん（主に直腸がん）の手術を行った。また、平成28年12月には、全国5番目（大学病院以外では全国初）となる、産婦人科領域のダ・ヴィンチを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術の施行が先進医療で承認された。
- ・ 平成27年度より先端医学棟の建設に着手し、平成29年度の7月に竣工を迎え、9月より運用を開始している。先端医学棟では、手術や放射線治療を更に発展させ、高度・先端医療を提供する県内の中核病院として機能の強化、患者サービスの向上を図るため、手術室を県内最多となる22室に拡充し、最新鋭の医療機器を配置してロボット手術やハイブリッド手術などを含む手術件数を伸ばしている。
また、最新鋭の放射線治療機器に対応できる大型の放射線治療室4室を整備し、これまで以上に体への負担が少なく、かつ高精度な放射線治療を実施している。
研究では、医師が診療業務をしながら臨床研究にも取り組むことができる「リサーチサポートセンター」を設置。また、乳幼児期の難聴や、人工内耳の装用による脳の発達メカニズムなどについて研究する「きこえとことばのセンター」（静岡県乳幼児聴覚支援センター）も設けている。



<先端医学棟>



<病院全景>



<先端医学棟1階 放射線治療室>



<先端医学棟1階 放射線治療待合>



<先端医学棟2階教育・研修部門 講義室>



<先端医学棟3階 手術ホール>



<先端医学棟4階 HCU>



<先端医学棟5階 ラウンジ>



<第1立体駐車場完成イメージ図>



<救急車 日産NV400>

- ・ 近年増加する外来患者に対応するため、平成 29 年 3 月に大型立体駐車場の工事発注を行った。平成 29 年 5 月に周辺工事を開始し、平成 30 年の 8 月末のオープンを予定している。
- ・ 救急医療については、平成 27 年 3 月に高度救命救急センターの指定を受けた。広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の特殊疾病患者に対する救命医療を行うために必要な診療機能を備えた。また、平成 26 年 6 月にドクターカーを導入、運用開始し、静岡市と運用に関する協定を結び、救命救急センターのスタッフが搭乗し、災害や事故の現場に急行する、又は搬送途中の救急車とドッキングして治療を開始することにより、救命率向上に努めた。平成 27 年度末には、富士市及び富士宮市とも運用に関する協定を結んだ。加えて平成 28 年に静岡市消防局の管轄区域が 3 市 2 町（静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町）に拡大し、近隣地域にも活動の範囲を広げた。
- ・ 患者の寄付金を活用して 2 台目となる救急車を導入した。主に病院間の患者搬送や災害時の医療支援に使用することとしている。なお、この救急車は英国日産の NV400 で、日本での導入は初となる車両である。

イ こころの医療センター

○ 業務実績を示す各種指標

- ・ 延患者数については、入院は計画を下回る見込みであるが、外来は計画を上回る見込みである。単価については、入院、外来ともに計画を上回る見込みである。

平成 29 年度 業務量及び単価等

区 分		年度計画	実績	増減	達成率(%)
入 院	入 院 延 患 者 数 (人)	55,956	55,144	▲812	98.5
	入院患者 1 人 1 日 当 たり 単 価 (円)	25,055	25,137	+82	100.3
	平 均 在 院 日 数 (日)		108.5		
	病 床 稼 働 率 (%)	89.1	87.8	▲1.3	98.5
外 来	外 来 延 患 者 数 (人)	38,942	41,140	+2,198	105.6
	外来患者 1 人 1 日 当 たり 単 価 (円)	5,872	6,149	+277	104.7

※患者 1 人 1 日 当 たり 単 価 は、税 込 金 額 (調 定 額 ベー ス で 算 定)。平 均 在 院 日 数 は、医 療 観 察 法 病 床 を 除 い て 算 定。病 床 稼 働 率 は、172 床 で 算 定。

- ・ 紹介率は計画値を上回ったが、逆紹介率は計画値を下回った。今後も転院の促進等に努めていく。

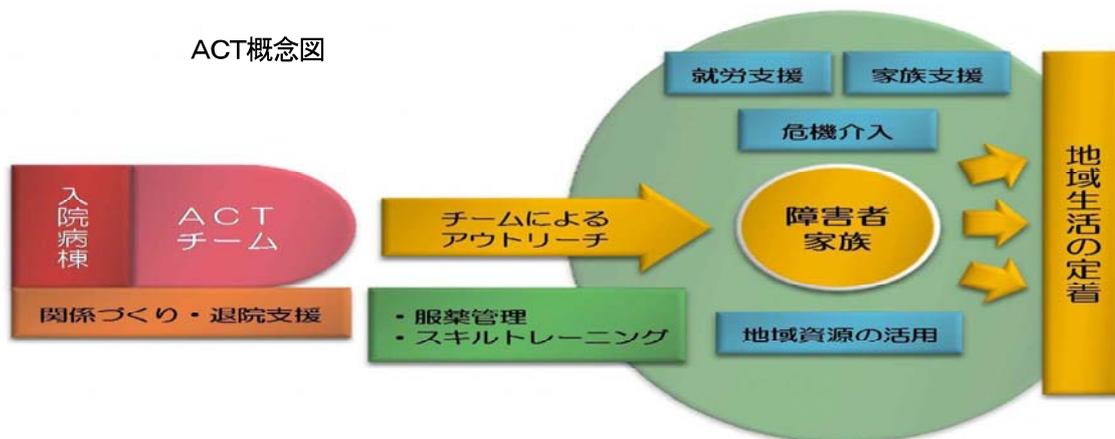
平成 29 年度 紹介率・逆紹介率

(単位：%)

区 分	年度計画	実績	増 減
紹 介 率	56.0	56.3	+0.3
逆 紹 介 率	36.0	28.6	▲7.4

- ・ 救急・急性期を中心とした診療体制の整備を図るとともに、包括的在宅医療支援体制モデルの構築や精神科救急相談体制の整備など、退院後の在宅支援を行うシステムを構築することで、「早期に集中的治療を行い、早期に社会復帰する」という体制づくりを継続して進めた。
- ・ 先端薬物療法（クロザピン）や高度な治療法である修正型電気けいれん療法（m-ECT）の実施など、医療水準の向上と重症患者の病状改善に積極的に取り組んだ。
- ・ 退院後の安定した地域生活の維持、再入院の防止に向け、心理・社会的治療の一環として、患者に対する心理教育・家族教室に積極的に取り組んだ。
- ・ 包括的在宅ケア（ACT）チームによる退院支援と手厚い24時間365日サポート体制による退院後の地域生活支援モデルの構築を進めた。

ACT概念図



- ・ 県内唯一の医療観察法指定入院医療機関として本県関係の入院処遇対象者を受け入れており、機能の充実を図り、地域完結型の医療環境の形成を進めている。

ウ こども病院

○ 業務実績を示す各種指標

- ・ 入院については、延患者数、単価ともに計画を下回った。
- ・ 外来については、延患者数は計画を下回ったが、単価は計画を上回った。

平成29年度 業務量及び単価等

区 分		年度計画	実績	増減	達成率 (%)
入 院	入 院 延 患 者 数 (人)	82,000	75,586	▲6,414	92.2
	入院患者1人1日当たり単価 (円)	92,420	92,256	▲164	99.8
	平 均 在 院 日 数 (日)		10.4		
	病 床 稼 働 率 (%)	82.9	76.4	▲6.5	92.2
外 来	外 来 延 患 者 数 (人)	107,000	105,763	▲1,237	98.8
	外来患者1人1日当たり単価 (円)	13,470	13,627	157	101.2

※患者1人1日当たり単価は、税込金額（調定額ベースで算定）。平均在院日数は、NICU、GCU、MFI CU、PICU、精神科、短期3を除いて算定。病床稼働率は271床で算定。

- ・ 病診連携や病病連携の強化により、紹介率・逆紹介率ともに計画を上回った。

平成 29 年度 紹介率・逆紹介率

(単位：%)

区 分	年度計画	実績	増 減
紹 介 率	92.0	94.1	2.1
逆 紹 介 率	32.0	46.5	14.5

- ・ 全国初の小児循環器集中治療専門医を配置したCCU、カテーテル治療（アンブラッツァー）や遠隔エコー診断等の先進的治療など、循環器疾患に対する高度先進的医療の提供に努めている。
- ・ 循環器病棟に準重症患者を受け入れる病室を活用し、小児重症心疾患患者を受け入れる体制の拡充を図っている。
- ・ 自治体立病院では全国初、小児専門病院では全国2番目となる小児用補助人工心臓を導入しており、心臓移植が必要な小児患者の治療を移植直前まで可能とする体制を整備している。
- ・ 総合周産期母子医療センターの指定を受け周産期医療の中核を担い、ハイリスク胎児・妊婦、新生児に高度な先進的治療を提供している。
- ・ 静岡県小児がん拠点病院として、県内小児がん患者の半数以上に対応し、血液腫瘍の治療法である造血幹細胞移植を継続的に実施したほか、固形腫瘍については関係診療科の協働連携による「腫瘍カンファレンス」を開催して高度な集学的治療に取り組んでいる。
- ・ 小児救命救急センターの指定を受けている小児集中治療センター（PICU）と小児救急センター（ER）を中心に、24時間365日を通して、初期救急を含めた小児救急患者を受け入れている。
- ・ 厚生労働省の「子どもの心の診療ネットワーク事業」に参画し、ネットワーク構築のため学校・地域との連携強化に努めるなど、県内の児童精神科医療における中核的な機能を発揮している。

救急の体制



ドクターヘリ



ドクターカー



小児救急センター

(2) 医療に関する技術者（医師、看護師等医療従事者）の研修を通じた育成と質の向上

ア 総合病院

- ・ 医療技術者の研修については、研修医の海外研修への派遣、看護師の認定看護師研修への派遣、県立大学との共同研究、メディカルスキルアップセンターを利用した研修の実施など、県立病院に相応しい医療技術の育成に努めている。特に医師の臨床研修については、平成27年度に卒後臨床研修評価機構（JCPEP）による臨床研修評価を受審し、当院の臨床研修体制が評価され、引き続き認定証の発行を受けた。また、平成29年度は、医師臨床研修マッチングを経て、募集定員24名中22名を確保した。

イ こころの医療センター

医療技術者の研修については、認定看護師研修の派遣等、精神医療の向上に資する人材の育成に努めている。特に認定看護師については、7名の精神科認定看護師と1名の感染管理認定看護師が在籍し、医療の質の向上に貢献している。

ウ こども病院

- ・ 専門家を招聘してセミナーや研修会を定期的で開催するとともに、海外研修や認定看護師研修等に職員を積極的に派遣するなど、院内外の研修会等を通じて病院全体の医療技術の向上に努めている。
- ・ シドニー・ウエストメッド小児病院へ当院研修医を派遣するなど、国際交流を通じて最先端の医療技術の習得を図っている。
- ・ かねてから交流のある中国の浙江大学医学院附属児童医院から、10月には研修医の受け入れを行い、11月には院長を始めとした訪問団が児童医院を訪問し、当院との友好協定を締結するなど、積極的な交流を行っている。
- ・ 地域の医療機関等の看護師や看護学生等への継続的な実習研修や、医療関係者を対象とした講演会等を定期的に開催し、職員だけでなく院外の医療従事者にも教育研修機能を開放している。

(3) 医療に関する調査及び研究

- ・ 総合病院では、臨床医学研究センターを平成25年12月24日に立ち上げた。また、平成26年8月9日に設立記念研究発表会を開催し、地域の医療関係者に臨床医学研究センター設立をPRした。また、H27.6月に客員研究員制度を創設し、平成27年度は4名、平成28年度は3名、平成29年度は3名の客員研究員を新たに選任した。
- ・ 先端医学棟5階に、医師が診療業務をしながら臨床研究にも取り組むことができる「リサーチサポートセンター」を設置。この中には乳幼児期の難聴や、人工内耳の装用による脳の発達のメカニズムなどについて研究する「きこえとことばのセンター」（静岡県乳幼児聴覚支援センター）も設けている。
- ・ 医療機能の向上のため、医師の通常の診断治療業務との関連の中で確立された治療方法の導入や、実施に当たっての研究、各種疾患の追跡調査を行い、個々の技術の向上を図っている。
また、全職員に対して、新技術、知識習得のため各種研修会・講習会への参加、情報収集のための各種雑誌、図書の購入等を推進している。

【医学奨励研究の内訳】平成29年度

病 院	研 究 課 題	部 署	構 成 人 数
総 合	基礎疾患のない食欲不振高齢者の診断と予後に関する研究	救急科	3
	心臓血管血流解析シミュレーションを用いた慢性B型大動脈解離症例における偽腔血流の検討	心臓血管外科	2
	オフポンプ冠動脈バイパス術における術中コンバージョンのリスク解析	心臓血管外科	1
	院内での遺伝学的検査の導入による診療の質の向上	遺伝診療科	1
	周術期口腔機能管理の効果に関する臨床統計学的検討	歯科口腔外科	4
	原発性アルドステロン症における遺伝子変異の検討	高血圧研究部	4
	慢性閉塞性肺疾患に対する高吸収クルクミンの抗炎症効果に関する研究	臨床研究センター	2
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌における TSST-1 産生制御機構の解明	消化器外科	2
維持透析患者を対象とした妊娠および出産の全国調査	腎臓内科	11	

病 院	研 究 課 題	部 署	構成人数
総 合	腎部分切除術における腎障害の定量的評価および腎予後予測	泌尿器科	5
	糖尿病神経障害における理学所見およびDPN チェックの有 用性について	糖尿病・内分泌内 科	11
	「抗菌薬 TDM ガイドラインにおける VCM 腎機能別投与設計 ノモグラムの評価および初回トラフ値に影響を及ぼす因子 の検討」	薬剤部	7
	アルツハイマー病患者の認知機能低下度とリンパ球ビタミン C濃度の関連に関する検討	神経内科	8
	周術期ランジオロール投与による食道癌手術における心房 細動予防効果の検討	麻酔科・集中治療 科	11
	散乱線補正処理および周波数処理を用いた腰椎手術におけ る穿刺針の視認性向上に関する評価	放射線技術室	6
	遺伝子異常検出方法Fluorescent in situ hybridization (FISH) の恒常化に向けた研究、乳癌と胃癌を対象とし て、	病理学部	9
	非アルコール性脂肪肝炎 (Non-alcoholic steatohepatitis, NASH) における類洞壁細胞の免疫組織 化学的研究	病理学部	8
	新規尿中バイオマーカーを用いた緊急血液浄化療法を要す る症例の腎予後および生命予後の予測	腎臓研究科	8
	Calcineurin 阻害薬減量による腎機能改善は減量前の腎機 能の影響を受けるか	腎臓内科	7
計	19	110	
こ ころ	クライシスプランの活用に関する研究	医療部	3
	心理教育プログラム受講者のデイケア移行ならびに社会復 帰について	医療部	6
	当院におけるシクレスト舌下錠の使用状況について	薬剤室	4
	入院患者の精神科薬へ対する認識について	医療部	8
計	4	21	
こ ども	流体力学シミュレーションを用いた水痘症の病態解明	脳神経外科	1
	院内嘔吐下痢症における感染性腸炎ウイルス感染症の疫学調 査	ICT/小児感染症科	5
	高頻度振動換気 (HFO) 中における呼気CO2濃度測定	新生児科	2

病 院	研 究 課 題	部 署	構成人数
こども	血液浄化を行う症例のサイトカインプロファイルに関わる研究	腎臓内科	7
	全自動核酸抽出増幅検査システムを用いたマクロライド耐性 M. pneumoniae の検出系の構築とその有用性	検査技術室	6
	当院における嚥下食分類の作成	栄養管理室	9
	新生児における抗MRSA薬バンコマイシンの薬物治療モニタリング (TDM)	薬剤室	4
	重症心身障がい児の耐糖能障害の追跡調査	神経内科	7
	Eosin-5-maleimide (EMA) による遺伝性球状赤血球の測定法の確立	血液腫瘍科	8
	PCRによる小児化膿性関節炎の起因为菌同定	整形外科	2
	MicroRNA in situ hybridization による胚細胞腫瘍の組織学的検討	病理診断科	4
	医療機関における高校生に対する就学支援の現状に関する研究	地域連携室	6
	医師・看護師の合意形成に基づく新生児の予後改善のためのケアマニュアル改訂<第3版>	北2病棟	8
	網羅的遺伝子検査法を用いた重症下気道炎における呼吸器ウイルスの同定	総合診療科	5
	二分脊椎においての日帰りMRIから超音波検査への移行の研究	脳神経外科	4
	妊娠期から産褥期にかけての血液凝固制御因子（プロテインC及びプロテインS）の変動	産科	4
	先天性サイトメガロウイルス感染症と自閉スペクトラム症の関連性に関する研究	発達小児科	1
計	17	83	

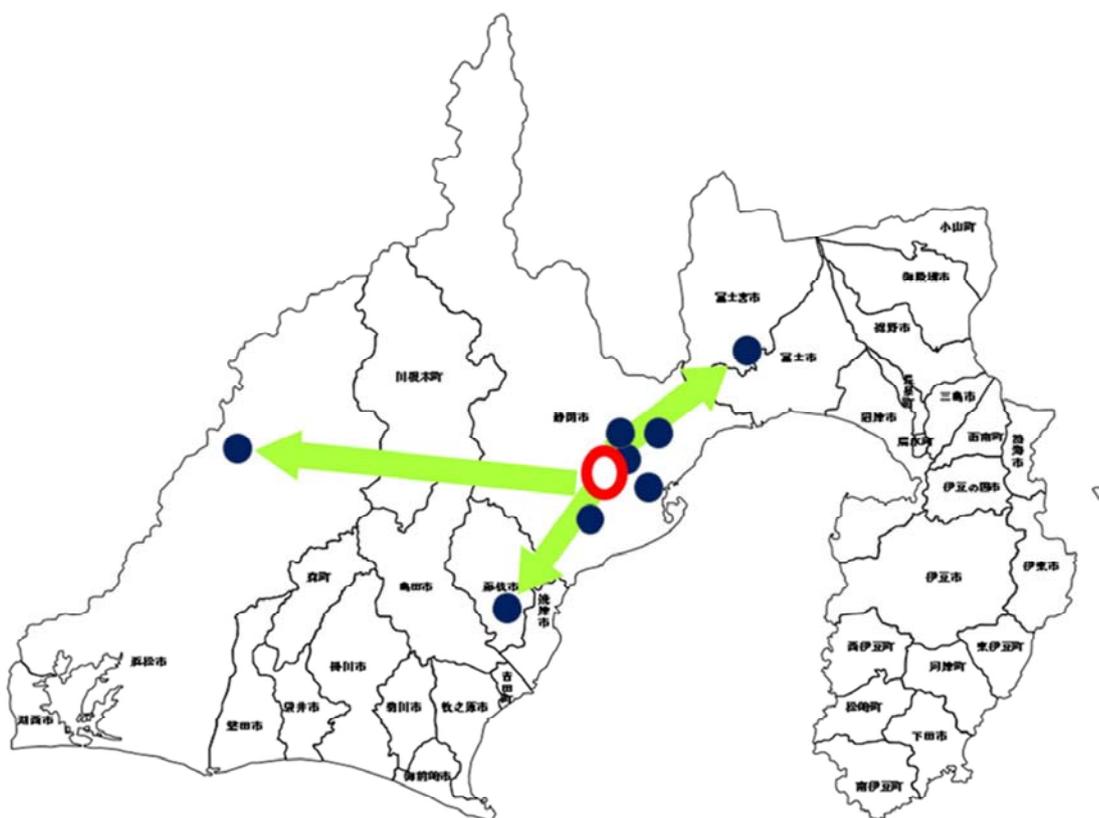
(4) 医療に関する地域への支援

ア 総合病院

地域医療の支援については、平成 29 年度は、県立病院医師交流制度に基づき 8 医療機関（前年同期 9）に対して延べ 577 人（前年同期 570 人）の医師の派遣を行うとともに、PET や CT・MRI の高度医療機器の共同利用を推進した。

また、平成 22 年度総務省委託事業である「地域 ICT 利活用広域連携事業」により始めた「ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル」は順調に拡大し、平成 30 年 3 月末現在、開示施設は 18 病院、参照施設は 134 施設となっている。各地域の医師会とともに、診療情報共有のためのネットワークを推進している。

平成 29 年度 県立総合病院の医師派遣



イ こころの医療センター

地域医療の支援については、医師、看護師の講演会等への講師派遣等に取り組んだほか、医療観察法における鑑定の要請に協力する等、県内精神医療の中核病院としての役割を果たしている。

ウ こども病院

- ・ 小児科の基幹施設として、新専門医制度に対応した研修を行い適切に対応した。
- ・ 地域医療支援病院としての役割を果たすため、医師不足が顕著な公的病院や急病センター等計 9 の医療機関に対して、延べ 1,097 人の医師を派遣した。
- ・ 映像通信システムを通じて、浜松医科大学やマレーシア国立循環器病センターと定期的に症例検討会を実施している。また、県内 4 病院と連携して心エコー画像の遠隔診断を行うなど、映像情報を活用した地域医療機関等との連携及び支援を行っている。

- ・ 児童精神科医療におけるネットワーク構築のため、小中学校教諭を対象とした精神保健講座や児童養護施設の巡回相談を実施するなど、学校・地域との連携強化に努めている。
- ・ 県内の医師や看護師を対象とした症例検討会を開催するなど、地域の周産期医療の質向上と他医療機関との連携体制を強化している。
- ・ 地域の救急医療機関や消防機関を対象とした研究会を開催するなど、小児救急医療の体制強化を図っている。

(5) 災害等における医療救護

- ・ 災害拠点病院は、災害時に多発する重篤救急患者を受け入れ、自己完結型の医療救護チームを被災地に派遣し、地域医療機関への応急用資器材の貸し出し機能を有する病院であり、県下 21 病院が指定されている。
- ・ 総合病院は、基幹災害拠点病院に指定されており、災害拠点病院の機能をさらに強化した、要員の訓練や研修機能を有し、災害医療に関して県の中心的役割を果たす病院であることが求められている。
- ・ 総合病院とこども病院は、静岡市長から「静岡県医療救護計画」に基づき、救護病院（重症患者及び中等症患者の処置及び収容を行う病院）に指定されているほか、総合病院は、被ばく医療について、二次被ばく医療機関に指定されている。
- ・ 防災計画等の取組については、災害対応マニュアルの見直しを進め、東日本大震災以降の国の施策の見直しなどを反映した改訂を行うとともに、総合病院では、災害発生時の断水に備えるため、地下水を上水として活用できるような対策を実施した。改訂したマニュアルに基づき訓練を実施した。
- ・ 総合病院における被ばく医療については、福島第一原発の事故を受けて、平成 27 年度に国が原子力災害体制の見直しを行い、県が原子力災害拠点病院の指定に向けて整備を進めている。総合病院は指定に向けて関係機関が主催する講習会等を受講するなど、施設要件を満たす取り組みを行っている。
- ・ こころの医療センターは、地震や台風等による災害が発生した際、被災した病院独自では患者の身体、生命の安全確保が困難な場合に被災病院に対する人的支援を行うため、平成 26 年 8 月 28 日、宮城県立精神医療センター、千葉県精神医療センター、大阪府立精神医療センター、岡山県精神医療センター、島根県立こころの医療センター、山口県立こころの医療センター、計 7 病院と災害時における自治体精神科病院の相互支援に関する協定を締結している。また、平成 28 年 4 月に発生した熊本での地震の際には、県立こども病院との混成チームを含む計 2 チームの「心のケアチーム」を現地に派遣し、精神科医療における支援を行った。

4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 簡素で効率的な組織づくり

理事会、運営会議、総務・経営担当課長会議を、8 月を除く毎月開催し、意思決定の迅速化に努めている。

(2) 効率的な業務運営の実現

ア 機構全体

- ・ 法人化による雇用の柔軟性・機動性を発揮して、人物重視の採用試験を実施し、平成 28 年度事務職員として 1 名を採用した。
- ・ 未収金の圧縮を図るため、医療費に係る相談体制の充実、未収金回収業務を弁護士法人に委託するなどし、効率的な未収金対策を講じている。
- ・ 薬品費や診療材料費については、同種同効品の絞込みや、安価な材料への切替え、価格交渉の更なる拡充等の見直しを進め、経費節減・業務効率化に取り組んだ。

- ・ 地方独立行政法人制度のメリットを活かして契約の複数病院一括化及び複数年契約化を進める一方で、契約によっては分割して発注することによって競争性を高めるなど、柔軟に契約方法を変更することで経営改善を推進した。
- ・ 経費の節減のみならず、モニタリング制度（インセンティブ（契約期間の延長）の付与や業務内容が適切ではない場合の減額等が課せられている。）の適用などにより、業務の質の向上も図った。

イ 総合病院

- ・ 先端医学棟の開棟により、増設された手術室の効率的な運用に努めている
- ・ 平成 28 年 4 月に入退院センターを開設した。入退院センターでは、患者個々の社会的背景を捉え、入院前から退院後を見据え、一貫したサポート（入院前問診・オリエンテーション等）を行うことで、患者満足度向上と病棟看護師の業務量軽減を図った。また、空床情報の一元管理と、適切なベッドコントロールを行い、病床の再編や病床利用率の向上を図った。
- ・ 重症系病棟の算定率向上に向けて、医師を中心に効率的な病棟運用に努めている。
- ・ SPDで血管造影室「準備キット」の運用を開始し、看護師が物品を取り揃える手間を削減した。
- ・ 自治体共済会MRPベンチマークシステムを用いて、卸・メーカーに対して診療材料の価格交渉や品目の切替えを行った。
- ・ 平成 29 年 9 月より、共同購入組織である「一般社団法人日本ホスピタルアライアンス（略称：NHA）」に加盟し、より一層の診療材料費の低減を行った。

ウ こころの医療センター

- ・ 平成 28 年 2 月に導入した電子カルテの活用により、情報の共有によるチーム医療及び療育の推進、並びに業務の効率化・省力化を進めた。

エ こども病院

- ・ 医事委託業者と共同で定期的に勉強会等を実施し、各診療科との連携を密にして確実に診療報酬請求を行うなど、診療収益の増加に努めた。
- ・ 診療材料の単価、品目、業者等の見直し、消耗品の節約、委託契約の業務内容の見直し、職員の時間外勤務の適正化等により、経費削減に努めた。
- ・ 毎月の管理会議において病院の経営状況を報告するなど、院内で経営に関する情報を共有することにより、職員全体の経営意識の向上を図った。

(3) 事務部門の専門性の向上

- ・ 事務職員基礎研修、会計研修等を実施し、業務関連知識の向上を図った。
- ・ 診療情報管理士資格の取得支援制度を設け、資格者の増員を図った。
- ・ 業務の標準化を図るため、事務部門の業務マニュアル整備・活用に向けた取り組みを実施し、あわせて、院内コミュニケーションシステム上に集約したマニュアルを公開し、情報の共有化を図った。

(4) 業務改善に不断に取り組む組織風土の醸成

業務改善の推進として、機構の業務改善運動推進制度を設置しており、業務改善に積極的に取り組む組織風土の醸成に努めた。

5 項目別業務実績

<評価凡例>

- A 計画に対し十分に取組み、成果も得られている。 A- 計画に対し十分に取組み、一定の成果が得られている。
- B 計画に対し十分に取組んでいる。
- C 計画に対し十分に取組んでいない。

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組むべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																																										
<p>第2 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療の提供</p> <p>医療機関として求められる基本的な診療理念や県立病院が担う医療を明確にし、他の医療機関との機能分担や連携のもと、医療の質の向上に努め、患者や家族、地域から信頼される医療を提供すること。</p>	<p>第2 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組むべき措置</p> <p>1 医療の提供</p> <p>県立病院機構の全職員は、県立病院が担う役割と責任を認識するとともに、医療機関に求められる基本的な診療理念を理解し、医療の提供に当たってはそれぞれ実践する。</p>	<p>I</p> <p>1</p> <p>(1)</p>	<p>1</p>	<p>各県立病院は、患者が選択し納得できる最良の医療を提供するため、次の事項等に取り組む。</p> <p>① 患者への十分な説明と同意の徹底</p> <p>② 医療技術の向上</p> <p>③ チーム医療の推進</p> <p>④ 医療安全対策の充実</p> <p>⑤ 患者満足の向上</p>	<p>セカンドオピニオン数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>98</td> <td>107</td> <td>112</td> <td>114</td> <td>115</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>ところ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ことも</td> <td>44</td> <td>45</td> <td>63</td> <td>39</td> <td>46</td> <td>47</td> </tr> </table> <p>セカンドオピニオン情報提供件数 (総合) (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>診療情報提供料 (H)</td> <td>125</td> <td>104</td> <td>125</td> <td>121</td> <td>145</td> <td>130</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	総合	98	107	112	114	115	120	ところ	-	-	-	-	-	-	ことも	44	45	63	39	46	47	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	診療情報提供料 (H)	125	104	125	121	145	130	<p>A-</p> <p>患者の適切な医療が受けられる権利を尊重し、セカンドオピニオンを実施した。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																										
総合	98	107	112	114	115	120																																										
ところ	-	-	-	-	-	-																																										
ことも	44	45	63	39	46	47																																										
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																										
診療情報提供料 (H)	125	104	125	121	145	130																																										
<p>(1) 基本的な診療理念</p> <p>診療に当たっては、患者が最良の治療効果を得られるよう、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づき最適な医療を患者への十分な説明と同意のもとに安全に提供すること。</p>	<p>(1) 基本的な診療理念</p> <p>診療に当たっては、患者が最良の治療効果を得られるよう、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づき最適な医療を患者への十分な説明と同意のもとに安全に提供すること。</p>	<p>I</p> <p>1</p> <p>(1)</p>	<p>1</p>	<p>各県立病院は、患者が選択し納得できる最良の医療を提供するため、次の事項等に取り組む。</p> <p>① 患者への十分な説明と同意の徹底</p> <p>② 医療技術の向上</p> <p>③ チーム医療の推進</p> <p>④ 医療安全対策の充実</p> <p>⑤ 患者満足の向上</p>	<p>セカンドオピニオン数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>98</td> <td>107</td> <td>112</td> <td>114</td> <td>115</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>ところ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ことも</td> <td>44</td> <td>45</td> <td>63</td> <td>39</td> <td>46</td> <td>47</td> </tr> </table> <p>セカンドオピニオン情報提供件数 (総合) (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>診療情報提供料 (H)</td> <td>125</td> <td>104</td> <td>125</td> <td>121</td> <td>145</td> <td>130</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	総合	98	107	112	114	115	120	ところ	-	-	-	-	-	-	ことも	44	45	63	39	46	47	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	診療情報提供料 (H)	125	104	125	121	145	130	<p>A-</p> <p>患者の適切な医療が受けられる権利を尊重し、セカンドオピニオンを実施した。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																										
総合	98	107	112	114	115	120																																										
ところ	-	-	-	-	-	-																																										
ことも	44	45	63	39	46	47																																										
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																										
診療情報提供料 (H)	125	104	125	121	145	130																																										
					<p>•H29</p> <p>クリニカルパス管理委員会を毎月1回開催し、以下の新規作成、修正の審議・承認を行った。</p> <p>・第2期中期目標期間 (H26~30)</p> <p>クリニカルパス管理委員会を毎月1回開催し、以下の新規作成、修正の審議・承認を行った。</p> <p>・H28年度</p> <p>電子カルテシステムの變更に伴う、クリニカルパスの修正を実施した。</p> <p>クリニカルパスの新規作成、源田等医師</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>新規作成 (件)</td> <td>23</td> <td>34</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>修正 (件)</td> <td>71</td> <td>98</td> <td>51</td> <td>224</td> <td>120</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>適用率 (%)</td> <td>68.2</td> <td>73.8</td> <td>75.8</td> <td>66.3</td> <td>62.6</td> <td>62.6</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	新規作成 (件)	23	34	18	16	15	15	修正 (件)	71	98	51	224	120	130	適用率 (%)	68.2	73.8	75.8	66.3	62.6	62.6	<p>A-</p> <p>クリニカルパスについては、常に内容を見直す体制を維持しており、患者に対してより良い医療を提供している。</p> <p>HCU病棟の先端医学棟4階移転に伴うクリニカルパスの見直し、修正を重点的に実施した。</p> <p>今後も引き続き新編クリニカルパス作成、既存クリニカルパスの見直しを行い、より良い医療を提供していく。</p>														
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																										
新規作成 (件)	23	34	18	16	15	15																																										
修正 (件)	71	98	51	224	120	130																																										
適用率 (%)	68.2	73.8	75.8	66.3	62.6	62.6																																										
				<p>運用実績などのエビデンスに基づきクリニカルパスの新規作成や見直しを行い、クリニカルパスの適用率を高める。</p>	<p>総合</p>																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																																			
			3	看護提供方式見直し(固定チームナーシングの導入)により、安心を高める看護の提供に努める。	<p>「患者様の声」の推移 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>意見</td> <td>117</td> <td>82</td> <td>72</td> <td>57</td> <td>92</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>感謝</td> <td>60</td> <td>49</td> <td>32</td> <td>37</td> <td>28</td> <td>30</td> </tr> </table> <p>患者満足度調査 (単位:%)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>96.4</td> <td>95.8</td> <td>95.6</td> <td>97.8</td> <td>98.2</td> <td>98.2</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	意見	117	82	72	57	92	90	感謝	60	49	32	37	28	30	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	入院	96.4	95.8	95.6	97.8	98.2	98.2	<p>A</p> <p>患者満足度については、H28年度以降、患者満足度が増加し、看護提供方式の見直し効果と言える。それに伴い、患者から看護師に対する要求が高くなり、ご意見が増加し、感謝が減少した。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																			
意見	117	82	72	57	92	90																																			
感謝	60	49	32	37	28	30																																			
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																			
入院	96.4	95.8	95.6	97.8	98.2	98.2																																			
			4	先端医学棟建設の工事進捗管理を徹底する。先端医学棟の円滑な運用を行うための体制を整備する。	<p>・H29 ・6月末に先端医学棟の建設工事が完了した。 ・7月以降、機器・什器等の購入手続や既存棟からの移転作業を進めた。 ・8月中旬以降、一部の部門で運用を開始し、9月から本格運用を開始した。</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30) 建設工事は概ね順調に進み、先端医学棟は当初計画どおり、H29年6月末に建設工事が完了した。</p> <p>手術件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>7,409</td> <td>7,860</td> <td>8,375</td> <td>8,536</td> <td>9,115</td> <td>10,000</td> </tr> </table> <p>HCUI延患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>入数</td> <td>2,847</td> <td>2,927</td> <td>3,208</td> <td>3,872</td> <td>5,575</td> <td>7,008</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	手術件数	7,409	7,860	8,375	8,536	9,115	10,000	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	入数	2,847	2,927	3,208	3,872	5,575	7,008	<p>A</p> <p>機器、什器等の購入や既存棟からの移転作業についても、遅滞なく作業を進め、当初計画どおり9月から運用を開始することができた。 ・移転、運用が円滑に行えるよう、各部門に対し、移転に係る説明会、機器等の動作説明会等を実施した結果、大きな問題なく、移転が完了し、運用を開始することができた。 ・手術件数も順調に増加し、先端医学棟を円滑に運用できた。 ・医師、看護師の増員等により、先端医学棟の運用体制の整備を図った。</p>							
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																			
手術件数	7,409	7,860	8,375	8,536	9,115	10,000																																			
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																			
入数	2,847	2,927	3,208	3,872	5,575	7,008																																			
			5	立体駐車場建設の工事進捗管理を徹底する。	<p>・H29 ・着工前に近隣住民向け工事説明会を開催(4/6)した。 ・周辺整備工事(北側退場路及び重荷子利用者用駐車場の整備)を先行して実施した。</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30) H28年度 市、警察等の関係機関と協議し、建築許可に向けた各種手続きを進め、H28年12月28日付で静岡市より建築許可を受けた。 設計完了後に速やかに工事発注手続きを進め、3月上旬に施工業者を決定した。 H29年度 ・着工前に近隣住民向け工事説明会を開催(4/6)した。 ・周辺整備工事(北側退場路及び重荷子利用者用駐車場の整備)を4月から先行して実施した。</p>	<p>A</p> <p>・工事説明会において、工事に伴う近隣への影響等を周知できた。 ・周辺整備工事はスケジュールどおり完了した。 本工事事は順調に進捗し、本年度の進捗目標(40%)を達成した。</p>																																			

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																																																																																																																																												
			6	入院における患者の負担軽減及び計画的にわかりやすい医療を提供するため、精神科に適したクリニカルパスを作成し導入する。	<p>H29 H30.3末現在稼働クリニカルパス 4件 (m-ECT、転倒転落、鑑定入院、クロナジン)</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30)</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>稼働クリニカルパス</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table>	区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	稼働クリニカルパス	4	4	4	4	4	4	A																																																																																																																														
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																												
稼働クリニカルパス	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																												
			7	入院における患者の負担軽減及び計画的にわかりやすい医療を提供するため、小児科に適したクリニカルパスを作成し導入する。	<table border="1"> <tr> <td>稼働クリニカルパス件数</td> <td colspan="6">(単位：件)</td> </tr> <tr> <td>区 分</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度見込</td> </tr> <tr> <td>稼働クリニカルパス</td> <td>40</td> <td>44</td> <td>46</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> </table>	稼働クリニカルパス件数	(単位：件)						区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	稼働クリニカルパス	40	44	46	48	48	48	A																																																																																																																							
稼働クリニカルパス件数	(単位：件)																																																																																																																																																	
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																												
稼働クリニカルパス	40	44	46	48	48	48																																																																																																																																												
			I 1 (1)	各県立病院は、患者が選択し納得できる最良の医療を提供するため、次の事項等に取り組み。 ① 患者への十分な説明と同意の徹底 ② 医療技術の向上 ③ チーム医療の推進 ④ 医療安全対策の充実 ⑤ 患者満足の上	<p>・H29 チーム医療に対する診療報酬 87,349千円</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30)</p> <p>チーム医療は、病院全体での取組が不可欠であり、診療科の枠を越え医療に従事する多様な医療スタッフが情報を共有し、業務連携することで患者の状況に的確に対応した質の高い医療の提供を行った。</p> <p>また、チーム医療に対する診療報酬上の評価が加算されている。</p> <table border="1"> <tr> <td>チーム医療の推進(カンファレンスの開催)</td> <td colspan="6">主要メンバー</td> </tr> <tr> <td>区 分</td> <td>チーム名</td> <td>開催頻度</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総 合</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>2回/週</td> <td>医師・看護・薬剤</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>感染防止対策チーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護・薬剤</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1回/月</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師・看護・理学療法士</td> <td>理学療法士</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>認知症ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>感染防止対策チーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>認知症ケアチーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>緩和ケアチーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>感染防止対策チーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>認知症ケアチーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>緩和ケアチーム</td> <td>隔日回/週</td> <td>医師・看護</td> <td>薬剤</td> <td>臨床検査</td> <td></td> </tr> </table>	チーム医療の推進(カンファレンスの開催)	主要メンバー						区 分	チーム名	開催頻度	医師・看護	薬剤	臨床検査		総 合	栄養サポートチーム	2回/週	医師・看護・薬剤	薬剤	臨床検査			感染防止対策チーム	隔日回/週	医師・看護・薬剤	薬剤	臨床検査			褥瘡対策チーム	1回/月	医師・看護	薬剤				呼吸ケアチーム	1回/週	医師・看護・理学療法士	理学療法士				認知症ケアチーム	1回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			緩和ケアチーム	1回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			栄養サポートチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			感染防止対策チーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			褥瘡対策チーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			呼吸ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			認知症ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			緩和ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査		こども	栄養サポートチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			感染防止対策チーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			褥瘡対策チーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			呼吸ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			認知症ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査			緩和ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査		A
チーム医療の推進(カンファレンスの開催)	主要メンバー																																																																																																																																																	
区 分	チーム名	開催頻度	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
総 合	栄養サポートチーム	2回/週	医師・看護・薬剤	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	感染防止対策チーム	隔日回/週	医師・看護・薬剤	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	褥瘡対策チーム	1回/月	医師・看護	薬剤																																																																																																																																														
	呼吸ケアチーム	1回/週	医師・看護・理学療法士	理学療法士																																																																																																																																														
	認知症ケアチーム	1回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	緩和ケアチーム	1回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	栄養サポートチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	感染防止対策チーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	褥瘡対策チーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	呼吸ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	認知症ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	緩和ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
こども	栄養サポートチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	感染防止対策チーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	褥瘡対策チーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	呼吸ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	認知症ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													
	緩和ケアチーム	隔日回/週	医師・看護	薬剤	臨床検査																																																																																																																																													

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績自己評価																																																																																																																																																						
			9	医療安全室及び感染対策委員会等を中心に、マニュアルの見直しや研修会を通じて院内感染防止対策・医療安全対策を実施する。	<p>・H29 3病院で、29回の院内感染対策研修、42回の医療安全対策研修を行い、安全・安心な医療の提供に対する職員への意識づけと、体制整備を行っている。</p> <p>・医療安全全国共同行動の参加登録病院としてレベルの向上を目指す。</p> <table border="1"> <caption>医療安全対策 院内感染対策研修修</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">集団感染数(件)</th> <th colspan="3">院内感染対策研修</th> </tr> <tr> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>※院内感染対策研修・医療安全対策研修ともに法定研修は未実施</p>	区分	集団感染数(件)			院内感染対策研修			25年度	26年度	27年度	25年度	26年度	27年度	総合	4	1	0	2	0	4	区	2	0	0	0	0	1	分	2	1	0	2	0	3	総合	0	0	0	0	0	3	区	0	0	0	0	0	3	分	0	0	0	0	0	0	総合	0	0	3	0	0	9	区	0	0	3	0	0	9	分	0	0	0	0	0	0	合計	4	1	3	2	0	14	A-																																																																			
区分	集団感染数(件)			院内感染対策研修																																																																																																																																																								
	25年度	26年度	27年度	25年度	26年度	27年度																																																																																																																																																						
総合	4	1	0	2	0	4																																																																																																																																																						
区	2	0	0	0	0	1																																																																																																																																																						
分	2	1	0	2	0	3																																																																																																																																																						
総合	0	0	0	0	0	3																																																																																																																																																						
区	0	0	0	0	0	3																																																																																																																																																						
分	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																						
総合	0	0	3	0	0	9																																																																																																																																																						
区	0	0	3	0	0	9																																																																																																																																																						
分	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																						
合計	4	1	3	2	0	14																																																																																																																																																						
			10	患者の視点に立った質の高い医療の提供を目指し、患者満足度の向上を図る。	<p>H25から調査実施時期を統一し、実施している。</p> <p>患者満足度調査 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">25年度</th> <th colspan="4">26年度</th> <th colspan="4">27年度</th> <th colspan="4">28年度</th> <th colspan="4">29年度</th> </tr> <tr> <th>総合</th> <th>区</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>96.4</td> <td>91.9</td> <td>95.8</td> <td>88.2</td> <td>89.6</td> <td>93.2</td> <td>94.0</td> <td>95.6</td> <td>97.8</td> <td>98.2</td> <td>98.2</td> <td>98.2</td> <td>98.2</td> <td>98.2</td> <td>98.2</td> <td>98.2</td> <td>98.2</td> <td>98.2</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>88.8</td> <td>88.8</td> <td>88.2</td> <td>89.8</td> <td>88.5</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>92.5</td> <td>91.3</td> <td>91.3</td> <td>91.9</td> <td>98.4</td> <td>97.5</td> <td>97.5</td> <td>98.4</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>89.4</td> <td>91.2</td> <td>90.9</td> <td>98.1</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度				26年度				27年度				28年度				29年度				総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	96.4	91.9	95.8	88.2	89.6	93.2	94.0	95.6	97.8	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	総合	88.8	88.8	88.2	89.8	88.5	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	区	92.5	91.3	91.3	91.9	98.4	97.5	97.5	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	分	89.4	91.2	90.9	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	A									
区分	25年度				26年度				27年度				28年度				29年度																																																																																																																																											
	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分																																																																																																																																										
総合	96.4	91.9	95.8	88.2	89.6	93.2	94.0	95.6	97.8	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2																																																																																																																																										
区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																										
分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																										
総合	88.8	88.8	88.2	89.8	88.5	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4																																																																																																																																											
区	92.5	91.3	91.3	91.9	98.4	97.5	97.5	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4																																																																																																																																											
分	89.4	91.2	90.9	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1																																																																																																																																											
			11	県内の中核的病院として高度・専門・特殊医療を提供するため、地域の医療機関との連携を強化する。	<p>かかりつけ医との連携により、機能分担体制を推進する。</p> <p>紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">25年度</th> <th colspan="4">26年度</th> <th colspan="4">27年度</th> <th colspan="4">28年度</th> <th colspan="4">29年度</th> </tr> <tr> <th>総合</th> <th>区</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>82.1</td> <td>82.1</td> <td>82.1</td> <td>83.0</td> <td>83.1</td> <td>83.0</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>100.1</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>100.1</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度				26年度				27年度				28年度				29年度				総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	82.1	82.1	82.1	83.0	83.1	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	区	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	総合	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A												
区分	25年度				26年度				27年度				28年度				29年度																																																																																																																																											
	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分																																																																																																																																										
総合	82.1	82.1	82.1	83.0	83.1	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0																																																																																																																																											
区	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1																																																																																																																																											
分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																											
総合	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1																																																																																																																																											
区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																											
分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																											
			12	地域の医療機関との連携を強化し、医療支援体制や救急・連携・機能分担体制を推進する。	<p>地域の医療機関との連携を強化し、医療支援体制や救急・連携・機能分担体制を推進する。</p> <p>紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">25年度</th> <th colspan="4">26年度</th> <th colspan="4">27年度</th> <th colspan="4">28年度</th> <th colspan="4">29年度</th> </tr> <tr> <th>総合</th> <th>区</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度				26年度				27年度				28年度				29年度				総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	区	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	総合	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B												
区分	25年度				26年度				27年度				28年度				29年度																																																																																																																																											
	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分																																																																																																																																										
総合	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6																																																																																																																																											
区	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6																																																																																																																																											
分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																											
総合	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6																																																																																																																																											
区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																											
分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																											
			13	地域の医療機関との機能分担を推進するため、紹介予約制に逆紹介を行う。	<p>地域の医療機関との機能分担を推進するため、紹介予約制に逆紹介を行う。</p> <p>紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">25年度</th> <th colspan="4">26年度</th> <th colspan="4">27年度</th> <th colspan="4">28年度</th> <th colspan="4">29年度</th> </tr> <tr> <th>総合</th> <th>区</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>49.9</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>49.9</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>49.9</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度				26年度				27年度				28年度				29年度				総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	区	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	総合	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A												
区分	25年度				26年度				27年度				28年度				29年度																																																																																																																																											
	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分	総合	区	分																																																																																																																																										
総合	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9																																																																																																																																											
区	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9																																																																																																																																											
分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																											
総合	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9																																																																																																																																											
区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																											
分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																											

第1 県民に対して提供するサービスの他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績 自己評価																																																																													
			14	心疾患、脳卒中、がん、慢性腎臓病、大腿骨・頸部骨折等の地域連携クリニックパスを活用し、かかりつけ医やリハビリテーション病院との機能分担を推進する。	<p>地域連携クリニックパス 区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>46</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>大</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>82</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>胃</td> <td>94</td> <td>77</td> <td>80</td> <td>86</td> <td>81</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>大</td> <td>135</td> <td>133</td> <td>151</td> <td>114</td> <td>109</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>乳</td> <td>102</td> <td>95</td> <td>118</td> <td>131</td> <td>191</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>前</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>立</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>186</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>性</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>37</td> <td>25</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>526</td> <td>441</td> <td>632</td> <td>709</td> <td>681</td> <td>730</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	中	38	42	46	52	52	50	大	110	110	103	103	82	90	胃	94	77	80	86	81	90	大	135	133	151	114	109	110	乳	102	95	118	131	191	200	前	7	2	0	0	9	10	立	0	0	0	0	186	142	性	40	33	34	37	25	30	後	0	0	0	0	0	0	計	526	441	632	709	681	730	29実績 自己評価
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																													
中	38	42	46	52	52	50																																																																													
大	110	110	103	103	82	90																																																																													
胃	94	77	80	86	81	90																																																																													
大	135	133	151	114	109	110																																																																													
乳	102	95	118	131	191	200																																																																													
前	7	2	0	0	9	10																																																																													
立	0	0	0	0	186	142																																																																													
性	40	33	34	37	25	30																																																																													
後	0	0	0	0	0	0																																																																													
計	526	441	632	709	681	730																																																																													
			15	地域医療ネットワークシステムを整備・活用する。	<p>ネットワーク実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開示施設数</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>開示件数(累計)</td> <td>9,848</td> <td>12,424</td> <td>15,814</td> <td>19,155</td> <td>23,818</td> <td>23,818</td> </tr> <tr> <td>参照施設数</td> <td>175</td> <td>208</td> <td>194</td> <td>141</td> <td>134</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>病院</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>診療所</td> <td>99</td> <td>122</td> <td>104</td> <td>76</td> <td>78</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>保健薬局</td> <td>53</td> <td>57</td> <td>59</td> <td>40</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>訪問看護ステーション</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>介護福祉施設</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>「ふじのくに」パーチャル・メガ・ホスピタル」について、情報開示施設である各地域の中核病院、自治体病院、診療所・医師会とともに「ふじのくに」パーチャル・メガ・ホスピタル協議会」を運営し、複数医療機関相互の診療情報共有のため広域ネットワーク基盤を構築して運用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期中期期間 (H26～30) ・ 情報の開示施設を、H27年度に1診療所、H28年度に3病院増やすことができた。 ・ H27年度末の理事会において利用料規程を決定し、ネットワークシステムの運営経費の適正な負担を図った。 ・ H28年度においては、地域医療連携推進事業補助金を活用し、静岡県立こども病院、静岡県立こころの医療センター、医療法人社団アール・アランド・オーのシステム整備を行った。 ・ H29年度には、地域医療連携推進事業補助金を活用し、藤枝市立総合病院のシステム更新を実施した。 	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	開示施設数	14	14	15	18	18	18	開示件数(累計)	9,848	12,424	15,814	19,155	23,818	23,818	参照施設数	175	208	194	141	134	134	病院	14	17	17	13	14	14	診療所	99	122	104	76	78	78	保健薬局	53	57	59	40	31	31	訪問看護ステーション	8	11	12	10	9	9	介護福祉施設	1	1	2	2	2	2	29実績 自己評価														
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																													
開示施設数	14	14	15	18	18	18																																																																													
開示件数(累計)	9,848	12,424	15,814	19,155	23,818	23,818																																																																													
参照施設数	175	208	194	141	134	134																																																																													
病院	14	17	17	13	14	14																																																																													
診療所	99	122	104	76	78	78																																																																													
保健薬局	53	57	59	40	31	31																																																																													
訪問看護ステーション	8	11	12	10	9	9																																																																													
介護福祉施設	1	1	2	2	2	2																																																																													

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明																																									
<p>(3) 県立病院が重点的に取り組む医療 県立総合病院においては、3大疾患(がん、脳血管疾患、心疾患)を中心に高度・専門医療や急性期医療等を提供するほか、救命救急センターにおいては、広域的な救急医療への対応を図るとともに、広範囲熱傷等の特殊疾病患者に対する高度救命医療を提供する高度救命救急センターの指定を目指し、救急医療体制の充実・強化を図ること、県立総合病院・急性期医療において、精神科救急・急性期医療の提供や他の医療機関では対応困難な治療の実施及び司法精神医療の充実を図ること、県立総合病院において、小児重症心疾患患者やハザード児・妊婦、新生児に対する高度・先進的医療の提供や小児がん拠点病院としての機能強化、高度な小児救急医療の充実及び児童精神分野の医療の充実を図ることなど、小児全般の高度医療を推進することと、</p>	<p>(3) 県立病院が重点的に取り組む医療 県が掲げる7疾病の事業を念頭に、各県立病院が専門性を活かしつつ、県立病院間や地域の医療機関との連携を強化して、病態に即した的確な医療を提供している救急医療や急性期医療の充実に重点的に取り組む。</p>	<p>I I (3)</p>	<p>各県立病院は、県が求める政策医療を念頭に、それぞれの医療に重点的に取り組む。</p>	<p>I I (3)</p>	<p>—</p>	<p>—</p>																																									
<p>ア</p>	<p>循環器疾患・がん疾患については、小児は県立総合病院が、成人は県内の中核病院の機能を果たしていく。</p>	<p>I I (3) ア</p>	<p>循環器疾患・がん疾患については、小児は県立総合病院が、成人は県内の中核病院の機能を果たしていく。</p>	<p>県立総合病院について24〜32に記載 県立子ども病院について42及び44に記載</p>	<p>—</p>	<p>—</p>																																									
<p>イ</p>	<p>周産期医療における産科合併症及び胎産中等産科以外の疾患による合併症や精神科患者の身体合併症などについては、各県立病院が連携して取り組む。</p>	<p>I I (3) イ</p>	<p>周産期医療における産科合併症及び胎産中等産科以外の疾患による合併症や精神科患者の身体合併症などについては、各県立病院が連携して取り組む。</p>	<p>16</p>	<p>周産期医療における連携実績(単位:件) <table border="1" data-bbox="710 1612 869 1881"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>子ども-総合</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>総合-子ども</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </table> </p>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	子ども-総合	10	8	8	14	11	15	総合-子ども	4	9	8	3	7	7	<p>児童の措置入院等、子ども病院での受入れが困難な場合はこのころの医療センターにて受入れている。 A</p>																				
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																									
子ども-総合	10	8	8	14	11	15																																									
総合-子ども	4	9	8	3	7	7																																									
<p>ウ</p>	<p>結核指定医療機関、エイズ拠点病院及び難病医療協力病院等として感染症医療や難病医療に普及に取り組む。</p>	<p>I I (3) ウ</p>	<p>結核指定医療機関、エイズ拠点病院及び難病医療協力病院等として感染症医療や難病医療に普及に取り組む。</p>	<p>総合</p>	<p>結核病棟50床について運用している。 エイズ拠点病院としてエイズ患者の受入体制を整えている。 難病医療の法律改正にあわせて、難病指定医療機関の申請を行い、H27年5月に指定を受けた。 難病指定医についても、これまでに21診療科80名の医師が申請を行い、順次指定を受けた。 A</p> <table border="1" data-bbox="893 1612 1053 1881"> <caption>入院患者数(単位:人)</caption> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>エイズ</td> <td>134</td> <td>14</td> <td>48</td> <td>119</td> <td>108</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>結核</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	エイズ	134	14	48	119	108	108	結核							<p>県内最大の結核病棟の医療機関として、広範囲の地域から結核患者の受入れた。 エイズ拠点病院として、エイズ患者の受入体制を整えている。 難病指定医療機関として、難病患者の受入体制を整えている。</p>																				
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																									
エイズ	134	14	48	119	108	108																																									
結核																																															
<p>エ</p>	<p>先進的医療である移植医療に取り組む。</p>	<p>I I (3) エ</p>	<p>先進的医療である移植医療に取り組む。</p>	<p>総合</p>	<p>腎臓移植:H29年度は18例の腎移植を達成し、増加傾向にある。 造血幹細胞移植:順調に推移している。 強靭臓片:過去に比べ、若干減少している。</p> <table border="1" data-bbox="1085 1612 1181 1881"> <caption>移植実績(単位:件)</caption> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>腎臓移植</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>造血幹細胞移植</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>強靭臓片</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	腎臓移植	12	13	11	14	18	18	造血幹細胞移植	10	8	8	11	8	8	強靭臓片	9	6	7	3	4	4	計	31	27	26	28	30	30	<p>腎臓移植:H29年度は18例の腎移植を達成し、増加傾向にある。 造血幹細胞移植:順調に推移している。 強靭臓片:過去に比べ、若干減少している。</p>						
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																									
腎臓移植	12	13	11	14	18	18																																									
造血幹細胞移植	10	8	8	11	8	8																																									
強靭臓片	9	6	7	3	4	4																																									
計	31	27	26	28	30	30																																									
<p>こども</p>	<p>腎臓移植、造血幹細胞移植、強靭臓片作成(総合病院のみ)等への取組みを継続する。</p>	<p>こども</p>	<p>腎臓移植は、H25年度に1件、H27年度に3件、H28年度に2件を行った。 造血幹細胞移植実績</p> <table border="1" data-bbox="1212 1612 1340 1881"> <caption>(単位:件)</caption> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>腎臓移植</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>造血幹細胞移植</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自家末梢血</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>回輸末梢血</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	腎臓移植	9	9	4	4	2	6	造血幹細胞移植	1	0	2	1	1	1	自家末梢血	2	2	8	5	7	5	回輸末梢血	1	1	0	0	0	1	計	13	13	13	11	10	13	<p>適用患者の数に変動はあるため、実績値は減少したが先進的医療である造血幹細胞移植に継続して取り組んでいる。</p>	<p>適用患者の数に変動はあるため、実績値は減少したが先進的医療である造血幹細胞移植に継続して取り組んでいる。 A</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																									
腎臓移植	9	9	4	4	2	6																																									
造血幹細胞移植	1	0	2	1	1	1																																									
自家末梢血	2	2	8	5	7	5																																									
回輸末梢血	1	1	0	0	0	1																																									
計	13	13	13	11	10	13																																									

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績 自己評価																																																																																				
	オ リハビリテーションや相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。	リハビリテーションや相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。	19	リハビリテーション、相談援助・支援を強化し、退院調整を積極的に行う。	<p>・H29 リハビリテーション、相談援助・支援を強化し、退院調整を積極的に支援した。</p> <p>・第2期中期期間(H26～30) 地域医療ネットワークセンター看護師、MSW、理学療法士等が積極的に支援している。</p> <table border="1"> <caption>地域医療ネットワークセンター退院調整件数 (単位：件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区</td> <td>1,377</td> <td>1,554</td> <td>1,754</td> <td>2,204</td> <td>3,217</td> <td>3,300</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,377</td> <td>1,554</td> <td>1,754</td> <td>2,204</td> <td>3,217</td> <td>3,300</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>退院調整受診者数(単位：件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区</td> <td>603</td> <td>710</td> <td>770</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>603</td> <td>710</td> <td>770</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>退院調整費(単位：千円)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区</td> <td>1,879</td> <td>1,054</td> <td>1,879</td> <td>601</td> <td>705</td> <td>705</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,879</td> <td>1,054</td> <td>1,879</td> <td>601</td> <td>705</td> <td>705</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	区	1,377	1,554	1,754	2,204	3,217	3,300	分							計	1,377	1,554	1,754	2,204	3,217	3,300	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	区	603	710	770	—	—	—	分							計	603	710	770	—	—	—	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	区	1,879	1,054	1,879	601	705	705	分							計	1,879	1,054	1,879	601	705	705	<p>・H29 リハビリテーション活動及び訪問看護を通じて、患者の社会復帰を支援した。</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30) 早期退院の促進と退院後も安定的な生活を維持するためには、入院中から地域生活を見据えた支援が必要とされることから、29年度から取組を始めた「精神科急性期ケアマネジメント」を本年度も継続実施している。</p> <p>また、在宅において、より的確な支援を行うため、訪問看護の充実を図り、看護師に加えて精神保健福祉士や作業療法士などを含めた複数訪問を積極的に実施した。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																				
区	1,377	1,554	1,754	2,204	3,217	3,300																																																																																				
分																																																																																										
計	1,377	1,554	1,754	2,204	3,217	3,300																																																																																				
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																				
区	603	710	770	—	—	—																																																																																				
分																																																																																										
計	603	710	770	—	—	—																																																																																				
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																				
区	1,879	1,054	1,879	601	705	705																																																																																				
分																																																																																										
計	1,879	1,054	1,879	601	705	705																																																																																				
	カ 遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	20	言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォロー、作業療法における急性期作業療法他	<p>・H29 リハビリテーション活動及び訪問看護を通じて、患者の社会復帰を支援した。</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30) 早期退院の促進と退院後も安定的な生活を維持するためには、入院中から地域生活を見据えた支援が必要とされることから、29年度から取組を始めた「精神科急性期ケアマネジメント」を本年度も継続実施している。</p> <p>また、在宅において、より的確な支援を行うため、訪問看護の充実を図り、看護師に加えて精神保健福祉士や作業療法士などを含めた複数訪問を積極的に実施した。</p>	<p>リハビリテーション、相談援助・支援を強化し、退院調整を積極的に支援した。</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30) 早期退院の促進と退院後も安定的な生活を維持するためには、入院中から地域生活を見据えた支援が必要とされることから、29年度から取組を始めた「精神科急性期ケアマネジメント」を本年度も継続実施している。</p> <p>また、在宅において、より的確な支援を行うため、訪問看護の充実を図り、看護師に加えて精神保健福祉士や作業療法士などを含めた複数訪問を積極的に実施した。</p>																																																																																				
	カ 遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	21	言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォロー、作業療法における急性期作業療法他	<p>・H29 遺伝診療科の受診患者数は順調に増加している。</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30) H27年度に院内の関係する部署間の調整を経て遺伝診療科を立ち上げた。当該科の存在を県民や診療所等の医師等に広報するため、ホームページへの掲載や講演会の開催等を行った。</p>	<p>リハビリテーション、相談援助・支援を強化し、退院調整を積極的に支援した。</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30) H27年度に院内の関係する部署間の調整を経て遺伝診療科を立ち上げた。当該科の存在を県民や診療所等の医師等に広報するため、ホームページへの掲載や講演会の開催等を行った。</p>																																																																																				
	カ 遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	22	遺伝子診療に関する、体制の整備・充実を図る。	<p>・H29 遺伝診療科の受診患者数は順調に増加している。</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30) H27年度に院内の関係する部署間の調整を経て遺伝診療科を立ち上げた。当該科の存在を県民や診療所等の医師等に広報するため、ホームページへの掲載や講演会の開催等を行った。</p>	<p>リハビリテーション、相談援助・支援を強化し、退院調整を積極的に支援した。</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30) H27年度に院内の関係する部署間の調整を経て遺伝診療科を立ち上げた。当該科の存在を県民や診療所等の医師等に広報するため、ホームページへの掲載や講演会の開催等を行った。</p>																																																																																				

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																																																								
	<p>キ 認知症については、鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等の実施に取り組む。また、発達障害については、鑑別診断や治療を実施するとともに、地域の保健福祉関係者への助言等の医学的支援や、医療従事者や教育関係者に対する研修の実施に取り組む。</p>	<p>I I (3) キ</p>	23	<p>鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、認知症ケアチームの介入、専門医療相談等を推進する。</p>	<p>鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等の実施については現状では困難な状況にある。</p> <table border="1"> <caption>鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等の実施状況</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区</td> <td>137</td> <td>144</td> <td>131</td> <td>135</td> <td>147</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施件数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施設定員加算</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>803</td> <td>10,494</td> <td>10,494</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>算定件数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)	区	137	144	131	135	147	147	分							実施件数							区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)	区	—	—	—	803	10,494	10,494	分							算定件数							<p>29実績 自己評価</p> <p>説明</p> <p>H30年3月末時点の脳FDG-PETの件数は前年度に比べ増加しており、過去最高の実施件数となっている。H29年1月に認知症ケア加算の施設基準を取得し、算定件数は順調に増加している。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)																																																								
区	137	144	131	135	147	147																																																								
分																																																														
実施件数																																																														
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)																																																								
区	—	—	—	803	10,494	10,494																																																								
分																																																														
算定件数																																																														
			24	<p>・症状が重篤な認知症患者を受入れるための、精神科救急・急性期医療体制を確保する。</p> <p>・老年期特有の専門外来（老年期こころと物忘れ外来）により専門的な医療相談を実施する。</p>	<p>精神科救急・急性期医療体制を確保して症状が重篤な認知症患者を受け入れられるとともに、老年期特有の専門外来（老年期こころと物忘れ外来）により専門的な医療相談を実施した。</p>																																																									
			25	<p>発達障害については、従来からの新生児退院診察や、新生児原居外来における低体重出生児の発達フォローを継続し、保護者向けのペアレントトレーニングについては継続して取り組む。</p>	<p>発達障害児を待つ保護者を対象に、H29年6月～11月の間、計10回、医師や保育士を中心にペアレントトレーニングを行った。</p> <p>・発達障害児を待つ保護者を対象に、H29年6月～11月の間、計10回、医師や保育士を中心にペアレントトレーニングを行った。</p> <p>・中期計画期間中、新生児退院診察を週1回実施した。また、新生児原居外来における低出生体重児の発達フォローを隔週1回実施した。</p>	<p>ペアレント・トレーニング、新生児退院診察、低出生体重児の発達フォローを継続的に実施した。</p>																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明
	ク 高度・専門・特殊医療を県民に提供する第一級の病院であり続けるために、低侵襲治療や高度な治療への対応の強化(ハイブリッド手術室の整備、ロボット支援手術・放射線治療の拡充)など、医療を取り巻く環境変化に応じて、先進的な施設及び機器等の充実に取り組む。	高度・専門・特殊医療を県民に提供する第一級の病院であり続けるために、低侵襲治療や高度な治療への対応の強化(ロボット支援手術・放射線治療等)の拡充など、医療を取り巻く環境変化に応じて、先進的な施設及び機器等の充実に取り組む。	26	<p>中期計画に記載した施設及び機器等の整備を計画的に実施する。</p>	<p>第2期中期計画期間に合わせて策定された施設整備計画に基づいて施設及び機器等の整備を実施した。</p> <p>・計画的に実施する一方で、策定時から情勢の変化があった場合には計画の見直しを図った。</p> <p>・総合病院本館の既存不適合に対応するため、防排煙設備の一部について、H28年度からH29年度にかけて改修を行った。</p> <p>・H27から進めていた先端医学棟(5階建、延床面積約20,569.6㎡)の建設工事が、H29年6月末に完了した。H29年7月に竣工式を挙げて、H29年9月に稼働した。</p> <p>・第1立体駐車場がH29年3月に着工し、H30年10月末の工事完了に向けて施工中である。</p> <p>・こども病院本館の老朽化に対応するため、本館リニューアル工事を実施設計を行っている。H30年度末の工事完了を目指して、今後速やかに着工する予定。</p> <p>・院内保育所の建替えは、平成30年度上半期に建設を着工し、平成30年度末に竣工予定である。</p> <p>・先端医学棟の増築に伴い、必要な機器等を整備した。</p> <p>・第1期リニューアル工事の施工業者が決定し、準備期間を経て工事を開始した。年度末に工事課の稼働が完了し、その他の工事も施工中、又は順次施工予定である。</p> <p>・北安事2丁目の医師宿舎建設工事に係る設計作業が完了し、工事を発注した。H29年10月に着工し、H30年10月の工事完了に向けて施工中である。</p>	<p>・先端医学棟は、建設工事が見直し後の計画どおりのH29年6月末に完成し、機器類も9月初めの稼働開始に合わせて必要ない機器の購入手続を進めることができた。</p> <p>・先端医学棟以外の施設・機器等についても、各病院において情勢に応じた必要な整備を行い、全体として、計画の適切な見直しを図りつつ、着実に施設及び機器等の整備を行うことができた。</p>

施設及び機器等の整備状況 (単位：百万円)

区分	施設整備				
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
計画	16,479	31,141	1,883	5,136	5,783
実績	1,265	22,119	623	491	231
残高	2,260	923	458	491	265
合計	19,944	188	1,785	2,922	5,821

区分	医療機器等			
	25年度	26年度	27年度	28年度
計画	10,101	1,292	859	587
実績	179	21	71	46
残高	2,098	289	439	314
合計	12,378	1,602	1,009	947

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画		29実績 自己評価																																
中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	説明																												
	ケ 各県立病院は医療の提供に当たり、次のとおり重点的に取り組む。	ケ 各県立病院は医療の提供に当たり、次のとおり重点的に取り組む。	-	-	-	-																												
	(ア)県立総合病院	<p>県立総合病院診療事業 県内医療機関の中核的病院として、各疾患に対する総合的な医療をはじめ、3大疾患（心疾患、脳血管疾患、がん）に対する高度・専門医療や救急・急性期医療等を提供する。各診療事業を推進するため、医師・看護師確保に取組み、県民に提供する医療<業務の予定量></p> <p>病床数 720床 (670床) 一般病床 620床 結核病床 100床 (50床) 外来患者 440,640人 入院患者 236,301人</p>	-	-	-	-																												
	<p>・急性心筋梗塞、脳卒中等の循環器疾患において、24時間を通して高度な専門的治療を提供する体制の充実を図る。加えて、生活習慣病としての危険因子を管理するため、地域の医療機関との連携を強化する。</p>	<p>循環器疾患患者に対して循環器病センター機能を生かした24時間的治療を提供する体制の充実</p> <p>①重症心不全疾患の患者に 対して冠状動脈疾患集中治療室 (CCU/ICU) 機能を最大限に生かした高度な専門的治療の提供</p> <p>②急性心筋梗塞、脳卒中発症患者に対応する24時間救急受入体制の強化</p> <p>③循環器関連診療科の有機的な連携によるチーム医療の推進</p> <p>④ハイブリッド手術室の使用によるステントグラフト治療等の高度専門医療の提供</p>	27	<p>冠状動脈疾患集中治療室 (CCU/ICU) を中心に24時間診療を提供する。</p> <p>総合</p>	<p>・H29 ・6月に特定集中治療室管理料2の施設基準を取得しランクアップを実現した。(75,790円/日→118,680円/日等) 増収額：128百万円</p> <p>・第2期中期期間 (H26～30)</p> <p>・H27 ・循環器病センター3階のCCU/ICUを24時間体制 (看護配置2：1) で10床稼働している。</p> <p>・心臓リハビリについても充実を図り、施設基準においてもⅡからⅠへのランクアップを実現した (増収額480万円/年)</p> <p>・H28 循環器病センター3階のCCU/ICUを2床増床して12床へ拡大</p>	<p>冠状動脈疾患集中治療室 (CCU/ICU) を中心に24時間365日体制を構築し、高度専門診療を提供している。</p> <p>H29年6月に特定集中治療室管理料2の施設基準を取得しランクアップを実現し、128百万円の増収となった。</p>																												
						<p>CCU/ICU稼働率 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>96.1</td> <td>100.5</td> <td>102.6</td> <td>100.0</td> <td>113.1</td> <td>113.1</td> </tr> <tr> <td>入院患者数(人)</td> <td>717</td> <td>738</td> <td>771</td> <td>722</td> <td>780</td> <td>780</td> </tr> <tr> <td>1日平均(人)</td> <td>10.1</td> <td>10.1</td> <td>10.3</td> <td>11.5</td> <td>13.6</td> <td>13.6</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	稼働率(%)	96.1	100.5	102.6	100.0	113.1	113.1	入院患者数(人)	717	738	771	722	780	780	1日平均(人)	10.1	10.1	10.3	11.5	13.6	13.6
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																												
稼働率(%)	96.1	100.5	102.6	100.0	113.1	113.1																												
入院患者数(人)	717	738	771	722	780	780																												
1日平均(人)	10.1	10.1	10.3	11.5	13.6	13.6																												

第1 県民に対して提供するサービスの他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明																																																																							
			28	脳卒中発症患者に対する急性期医療の提供体制を整備するとともに、在宅医療への情報提供等、在宅復帰に向けた取り組みを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 ・ 先端医学棟にMRI、CT、血管造影の3種類のハイブリッド手術室を整備し、急性期医療に対応する体制を整備された。 ・ 超急性期脳卒中加算は前年度比1.8倍に増加している。 ・ 第2期中期目標期間 (H26～30) ・ 脳卒中の地域連携クリニカルパスを運用している。 ・ 脳血管内治療のできる医師を確保した。(脳神経外科) <table border="1"> <caption>脳卒中地域連携クリニカルパス適用患者数 (単位:件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>68</td> <td>52</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>超急性期脳卒中加算 (単位:件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>27</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	算定件数	38	42	42	68	52	50	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	算定件数	11	11	15	15	27	30	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 ・ 糖尿病透析予防指管理料については、専門外来を開設し活動している。件数増加を目指し、新たに糖尿病透析予防指導を行う「そらまめ外来」の今後の診療件を追加する予定である。 ・ 指導に必要な検査(尿アルブミン値)の実施率が低いため、検査実施率の向上を検討する。 ・ 末梢動脈疾患検査は着実に件数が増加している。 ・ 第2期中期目標期間 (H26～30) ・ 関係科の医師及びびコメディカルによる合同検討会(下肢救済チーム)を開催し、スタッフが協力して患者の治療にあたるチーム医療の重務を推進している。 <table border="1"> <caption>糖尿病透析予防指管理料 (単位:件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>44</td> <td>24</td> <td>37</td> <td>132</td> <td>75</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>末梢動脈疾患 (PAD) 検査 (単位:件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ABI</td> <td>1,123</td> <td>1,446</td> <td>1,725</td> <td>1,831</td> <td>2,086</td> <td>2,100</td> </tr> <tr> <td>SPP</td> <td>171</td> <td>143</td> <td>258</td> <td>220</td> <td>230</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>下肢動脈超音波</td> <td>73</td> <td>111</td> <td>188</td> <td>195</td> <td>288</td> <td>270</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	算定件数	44	24	37	132	75	100	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	ABI	1,123	1,446	1,725	1,831	2,086	2,100	SPP	171	143	258	220	230	240	下肢動脈超音波	73	111	188	195	288	270	<p>先端医学棟にMRI、CT、血管造影の3種類のハイブリッド手術室を整備し、急性期医療に対応する体制が大幅に充実した。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																							
算定件数	38	42	42	68	52	50																																																																							
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																							
算定件数	11	11	15	15	27	30																																																																							
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																							
算定件数	44	24	37	132	75	100																																																																							
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																							
ABI	1,123	1,446	1,725	1,831	2,086	2,100																																																																							
SPP	171	143	258	220	230	240																																																																							
下肢動脈超音波	73	111	188	195	288	270																																																																							
			29	生活習慣病を心血管疾患の発症危険因子としてとらえ、循環器内科、神経内科、腎臓内科、心臓血管外科等が有機的に連携して、チーム医療の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 ・ 循環器内科、神経内科、腎臓内科、心臓血管外科等が有機的に連携して、チーム医療を推進している。末梢動脈疾患検査は着実に件数が増加している。糖尿病透析予防指管理料については、30年度に向けて他科や「そらまめ外来」などでも指導できるように体制整備を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 ・ 循環器内科、神経内科、腎臓内科、心臓血管外科等が有機的に連携して、チーム医療を推進している。末梢動脈疾患検査は着実に件数が増加している。糖尿病透析予防指管理料については、30年度に向けて他科や「そらまめ外来」などでも指導できるように体制整備を行った。 																																																																							

第1 県民に対して提供するサービスの他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明																																																	
			30	<p>総合</p> <p>ハイブリッド手術室を運用する体制を整備し、高度専門医療を提供する。</p>	<p>業務の実績 (H29・中期期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H29 ・ 先端医学棟にMRI、CT、血管造影の3種類のハイブリッド手術室を整備し、稼動を開始した。 ・ TAVI (経カテーター大動脈弁置換術) 67件/年 ・ 第2期中期期間 (H26～30) ・ H26年10月からハイブリッド手術室の稼動を開始した。 ・ TAVI (経カテーター大動脈弁置換術) の施設基準を取得し、H27年度は4例実施した。H28年度は28例実施した。 <table border="1" data-bbox="475 533 587 949"> <caption>ハイブリッド手術室稼働状況 (単位:件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハイブリッド手術室稼働時間</td> <td>-</td> <td>11</td> <td>217</td> <td>163</td> <td>175</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>TAVI 稼働時間 (全工) の件数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>28</td> <td>67</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術室稼働時間 (全工) の件数</td> <td>70</td> <td>80</td> <td>81</td> <td>107</td> <td>91</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="587 510 639 949"> <caption>参考 (単位:件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCI</td> <td>322</td> <td>506</td> <td>515</td> <td>517</td> <td>447</td> <td>447</td> </tr> <tr> <td>アブレーション</td> <td>94</td> <td>43</td> <td>189</td> <td>229</td> <td>256</td> <td>256</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	ハイブリッド手術室稼働時間	-	11	217	163	175	175	TAVI 稼働時間 (全工) の件数	-	-	4	28	67	67	ハイブリッド手術室稼働時間 (全工) の件数	70	80	81	107	91	91	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	PCI	322	506	515	517	447	447	アブレーション	94	43	189	229	256	256	<p>先端医学棟に同一手術室内での画像診断に基づき、精密で正確な手術が可能となるMRI、CT、血管造影の3種類のハイブリッド手術室を整備し、高度専門医療の提供体制を充実した。ハイブリッド手術件数も順調に増加している。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																	
ハイブリッド手術室稼働時間	-	11	217	163	175	175																																																	
TAVI 稼働時間 (全工) の件数	-	-	4	28	67	67																																																	
ハイブリッド手術室稼働時間 (全工) の件数	70	80	81	107	91	91																																																	
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																	
PCI	322	506	515	517	447	447																																																	
アブレーション	94	43	189	229	256	256																																																	

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明																																																																																																											
	<p>・がん患者に対し、地域がん診療連携拠点病院として、最新・最良の診断、ロボット支援手術などの先進的治療及び化学療法、放射線治療を組み合わせた高度な集学的治療や予防医療を提供するとともに、地域の医療機関等と連携した緩和ケアや終末期医療を提供していく。</p>	<p>がん患者者に対して地域がん診療連携拠点病院としての高度な集学的治療を提供する体制の充実及び地域の医療機関等と連携した緩和ケアや終末期医療の提供</p> <p>①先端医学棟を設置し、手術、放射線治療、化学療法に係るがん診療体制の充実</p> <p>②地域の医療機関等との連携による緩和ケアや終末期ケアの推進</p> <p>③がん相談及び情報提供機能の強化</p> <p>④ロボット支援手術の活用</p>	31	<p>がん患者が速やかに検査や治療を受けられる体制を構築し、手術件数の増加に努める。</p>	<p>・H29</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃がんにロボット支援手術の適用を拡大した。 10月から先端医学棟手術室にダヴィンチを1台追加し、2台体制となり並行稼働が可能で運用体制を整備した。 麻酔科医5名の増員が実現できた。 <p>・第2期中期目標期間 (H26～30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術支援ロボット(ダヴィンチ)を導入し、泌尿器科領域、産婦人科領域、消化器外科領域において運用している。 H26 前立腺がん、子宮頸がんにダヴィンチを用いた手術を開始 H27 膀胱がんにダヴィンチの適用を拡大した。 H28 大腸がんにダヴィンチの適用を拡大した。 H28.10 ダヴィンチを用いた腹腔鏡下膀胱全摘術の自由診療開始 H28.12 ダヴィンチを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術の先進医療開始 (全国5番目、大学病院以外では全国初、県内初) 	<p>先端医学棟1階に最新鋭の大型放射線機器に対処できる放射線治療室4室を整備した。加えて先端医学棟手術室にロボット支援手術室や内視鏡手術室を整備するなど高度な手術が安全に行われている。10月からはダヴィンチを1台追加し、2台体制となり並行稼働が可能となり、手術、放射線治療とも十分に提供できている。</p>																																																																																																											
				<p>総合</p>	<p>がん手術件数 がん手術と関連の病名ICDコードにて手術患者を抽出 (単位: 件、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>153</td> <td>149</td> <td>135</td> <td>136</td> <td>163</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>246</td> <td>262</td> <td>210</td> <td>264</td> <td>267</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td>87</td> <td>131</td> <td>132</td> <td>135</td> <td>115</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>110</td> <td>114</td> <td>138</td> <td>159</td> <td>149</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>385</td> <td>370</td> <td>324</td> <td>343</td> <td>352</td> <td>369</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,028</td> <td>1,107</td> <td>994</td> <td>1,131</td> <td>1,210</td> <td>1,220</td> </tr> <tr> <td>がん手術会社</td> <td>1,906</td> <td>2,105</td> <td>2,011</td> <td>2,155</td> <td>2,225</td> <td>2,240</td> </tr> <tr> <td>手術会社</td> <td>6,867</td> <td>7,290</td> <td>7,753</td> <td>7,764</td> <td>8,406</td> <td>8,410</td> </tr> <tr> <td>がん手術割合</td> <td>27.8</td> <td>28.7</td> <td>25.9</td> <td>27.5</td> <td>26.6</td> <td>26.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度別各種がん手術は1患者が複数手術をした場合は、それぞれ計上 ※がん手術合計、手術全体は複数手術をした場合は、並たる手術に計上</p> <p>内訳別患者数・率 (29年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>胃がん</th> <th>肝がん</th> <th>肺がん</th> <th>乳がん</th> <th>その他</th> <th>がん総数</th> <th>がん総割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>301</td> <td>101</td> <td>40</td> <td>75</td> <td>0</td> <td>575</td> <td>1,092</td> </tr> <tr> <td>率 (%)</td> <td>52.3</td> <td>17.6</td> <td>6.8</td> <td>12.7</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>23.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>放射線治療 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>15,077</td> <td>15,515</td> <td>16,384</td> <td>16,330</td> <td>15,795</td> <td>16,000</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	10年度	胃がん	153	149	135	136	163	170	大腸がん	246	262	210	264	267	290	肝がん	87	131	132	135	115	120	肺がん	110	114	138	159	149	150	その他	385	370	324	343	352	369	その他	1,028	1,107	994	1,131	1,210	1,220	がん手術会社	1,906	2,105	2,011	2,155	2,225	2,240	手術会社	6,867	7,290	7,753	7,764	8,406	8,410	がん手術割合	27.8	28.7	25.9	27.5	26.6	26.6		胃がん	肝がん	肺がん	乳がん	その他	がん総数	がん総割合	人数	301	101	40	75	0	575	1,092	率 (%)	52.3	17.6	6.8	12.7	0	100	23.7	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	10年度	件数	15,077	15,515	16,384	16,330	15,795	16,000
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	10年度																																																																																																											
胃がん	153	149	135	136	163	170																																																																																																											
大腸がん	246	262	210	264	267	290																																																																																																											
肝がん	87	131	132	135	115	120																																																																																																											
肺がん	110	114	138	159	149	150																																																																																																											
その他	385	370	324	343	352	369																																																																																																											
その他	1,028	1,107	994	1,131	1,210	1,220																																																																																																											
がん手術会社	1,906	2,105	2,011	2,155	2,225	2,240																																																																																																											
手術会社	6,867	7,290	7,753	7,764	8,406	8,410																																																																																																											
がん手術割合	27.8	28.7	25.9	27.5	26.6	26.6																																																																																																											
	胃がん	肝がん	肺がん	乳がん	その他	がん総数	がん総割合																																																																																																										
人数	301	101	40	75	0	575	1,092																																																																																																										
率 (%)	52.3	17.6	6.8	12.7	0	100	23.7																																																																																																										
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	10年度																																																																																																											
件数	15,077	15,515	16,384	16,330	15,795	16,000																																																																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績 自己評価														
			32	<p>外来化学療法センターの環境整備を行い、化学療法の充実を図る。</p>	<p>総合</p> <p>・ H29 ・ 外来化学療法センターは、専門の認定看護師1名と認定薬剤師6名を配置し、40床のベッドを活用し、安心・安全な治療に貢献している。 ・ 第2期中期期間(H26～30) ・ 外来化学療法センターは、専門の認定看護師1名と認定薬剤師6名を配置し、40床のベッドを活用し、安心・安全な治療に貢献している。 ・ H26年5月厚生労働省より抗がん剤より抗がん剤に関する課長通知が出され、現在の抗がん剤調製室の設備改善が必要となった。 ・ 先端医学棟建設後の跡地利用の中で中央滅菌材料室跡地に移転する設計を完了した。</p> <table border="1"> <caption>外来化学療法加算 (単位:件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>9,733</td> <td>9,963</td> <td>10,509</td> <td>11,171</td> <td>11,880</td> <td>11,700</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	件数	9,733	9,963	10,509	11,171	11,880	11,700	<p>29実績 自己評価</p> <p>外来化学療法が順調に伸びている。オブジェボ等の先進的な化学療法も順調に増加している。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込														
件数	9,733	9,963	10,509	11,171	11,880	11,700														
			33	<p>地域の医療機関等と連携し、緩和ケアや終末期ケアを推進する。</p>	<p>総合</p> <p>・ H29 ・ 緩和ケアチーム介入症例数 H29年度実績：389件（5 E 病棟がん患者260件、5 E 病棟非がん患者1件、5 E 病棟外がん患者114件、5 E 病棟外非がん患者14件） ・ 第2期中期目標期間(H26～30) 緩和ケアチーム介入症例数</p> <table border="1"> <caption>(単位:件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>症例数</td> <td>426</td> <td>381</td> <td>403</td> <td>372</td> <td>389</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	症例数	426	381	403	372	389	400	<p>がん疾患患者に対して、緩和ケアチームが積極的に介入して、介入症例数を維持している。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込														
症例数	426	381	403	372	389	400														
			34	<p>がん相談支援センターの機能を増強し、がんに関する相談支援、情報の提供に努める。</p>	<p>総合</p> <p>がん相談件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談</td> <td>2,457</td> <td>3,734</td> <td>3,065</td> <td>4,537</td> <td>5,386</td> <td>5,900</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	がん相談	2,457	3,734	3,065	4,537	5,386	5,900	<p>H28年度からがん相談体制を強化し、がん関連の各種認定看護師、がん看護専門看護師が相談に当たっていることに加えて、入院センター、地域連携室の看護師もがん相談に対応していることから相談件数が増加している。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込														
がん相談	2,457	3,734	3,065	4,537	5,386	5,900														

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明																																																	
			35	<p>ロボット支援手術の件数増加に努める</p> <p>総合</p>	<p>・ H29 ・臨床研究 ・胃がんロボット支援手術の適用を拡大した。 ・胃がんロボット支援手術（消化器外科領域、大腸・胃）30件 ・10月から先端医学棟手術室にダヴィンチを1台追加し、2 台体制となり並行稼動が可能な運用体制を整備した。 ・第2期中期期間（H26～30） ・手術支援ロボット(ダヴィンチ)を導入し、泌尿器科領 域、産婦人科領域、消化器外科領域において運用してい る。 ・臨床研究 H28 ロボット支援手術（消化器外科領域）9 件実施 H29 ロボット支援手術（消化器外科領域）30件実施 ・適応疾患の拡大 ・H26 前立腺がん、子宮頸がんにダヴィンチを用いた手術 を開始 ・H27 膀胱がんに適用を拡大した。 ・H28 大腸がんに適用を拡大した。 H28、10 ダヴィンチを用いた腹腔鏡下膀胱全摘術の自由 診療開始 H28、12 ダヴィンチを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術の 先進医療開始（全国5番目、大学病院以外では全国初、県 内初）</p> <p>ダヴィンチ使用手術件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>-</td> <td>31</td> <td>77</td> <td>102</td> <td>122</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>大腸外科</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>消化器外科</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>36</td> <td>81</td> <td>112</td> <td>152</td> <td>152</td> </tr> </tbody> </table> <p>ダヴィンチ稼働稼働者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	泌尿器科	-	31	77	102	122	122	大腸外科	-	-	5	4	1	-	消化器外科	-	-	-	9	30	30	計	0	36	81	112	152	152	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	人数	-	5	6	6	6	6	<p>10月よりダヴィンチの運用が2台と なり、2件の手術を並行して2件実施 できるようになった。術式は泌尿器科 の前立腺や腎臓の腫瘍摘出手術に加え 消化器領域の胃、大腸に実施してい る。件数、適用疾患ともに増加してい る。</p>
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																	
泌尿器科	-	31	77	102	122	122																																																	
大腸外科	-	-	5	4	1	-																																																	
消化器外科	-	-	-	9	30	30																																																	
計	0	36	81	112	152	152																																																	
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																	
人数	-	5	6	6	6	6																																																	
			36	<p>医師の増員を図るとともに、働きやすさに配慮した変則勤務が可能な体制を維持する。</p> <p>総合</p>	<p>・ H29 ・ H29年度は救急科医師7名体制で稼働 ・ 第2期中期目標期間（H26～30） ・ 医師の変則勤務の試行を継続し、当直明けに休める制度 を整えた ・ H25年7月から、救急科医師5名体制（うち専門医2名） により、救命救急センターが稼働した。 ・ H27年3月から高度救命救急センターに指定 ・ H28年度は救急科医師8名、H29年度は救急科医師7名 体制で稼働</p> <p>医師の変則勤務試行状況 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当者(人)</td> <td>1,553</td> <td>1,547</td> <td>1,444</td> <td>1,634</td> <td>1,722</td> <td>1,722</td> </tr> <tr> <td>利用者(人)</td> <td>858</td> <td>924</td> <td>935</td> <td>961</td> <td>889</td> <td>889</td> </tr> <tr> <td>利用率(%)</td> <td>55.2</td> <td>59.7</td> <td>64.7</td> <td>58.8</td> <td>51.6</td> <td>51.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用者：変則勤務を行うことが可能な並べ医師数</p>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	該当者(人)	1,553	1,547	1,444	1,634	1,722	1,722	利用者(人)	858	924	935	961	889	889	利用率(%)	55.2	59.7	64.7	58.8	51.6	51.6	<p>救急委員会を中心として効果的な制 度設計を検討し救急患者の受入体制を 維持している</p>																					
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																	
該当者(人)	1,553	1,547	1,444	1,634	1,722	1,722																																																	
利用者(人)	858	924	935	961	889	889																																																	
利用率(%)	55.2	59.7	64.7	58.8	51.6	51.6																																																	

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績自己評価																																																																													
					<p>救急車受入率 (単位:%)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>当県</td> <td>97.4</td> <td>94.2</td> <td>97.1</td> <td>96.5</td> <td>94.6</td> <td>94.8</td> </tr> <tr> <td>全日</td> <td>91.9</td> <td>83.3</td> <td>93.0</td> <td>93.1</td> <td>91.9</td> <td>91.9</td> </tr> </table> <p>特別病院受入率 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr> <th>表病名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>車座熱傷</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>車座外傷</td> <td>249</td> <td>293</td> <td>358</td> <td>446</td> <td>539</td> <td>539</td> </tr> <tr> <td>急性心停止</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>病院内心停止</td> <td>177</td> <td>202</td> <td>210</td> <td>207</td> <td>207</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>382</td> <td>307</td> <td>610</td> <td>683</td> <td>776</td> <td>776</td> </tr> </table> <p>ドクターカー出動状況 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ドクターカー協定書締結状況 H26 静岡市 H27 富士市、富士吉田市 H28 静岡市消防局の管轄区域が3市2町に拡大 静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町 H29 志太消防本部と協議中(焼津市、藤枝市) 	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	当県	97.4	94.2	97.1	96.5	94.6	94.8	全日	91.9	83.3	93.0	93.1	91.9	91.9	表病名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	車座熱傷	4	7	14	12	12	12	車座外傷	249	293	358	446	539	539	急性心停止	2	5	18	18	18	18	病院内心停止	177	202	210	207	207	207	計	382	307	610	683	776	776	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	件数	2	4	4	7	10	10	<p>29実績自己評価</p> <p>説明</p> <p>救急車の受入率が微減しているが、引続き救急車の受入を断らない体制が維持されている。 ドクターカーの出動件数は、順調に増加している。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																													
当県	97.4	94.2	97.1	96.5	94.6	94.8																																																																													
全日	91.9	83.3	93.0	93.1	91.9	91.9																																																																													
表病名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																													
車座熱傷	4	7	14	12	12	12																																																																													
車座外傷	249	293	358	446	539	539																																																																													
急性心停止	2	5	18	18	18	18																																																																													
病院内心停止	177	202	210	207	207	207																																																																													
計	382	307	610	683	776	776																																																																													
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																													
件数	2	4	4	7	10	10																																																																													
			37	<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急車の受入を確保にできる診療体制を維持する。 ドクターカーの運用に関し、出動可能な市町の拡大に努める。 																																																																															
	(イ)県立こころの医療センター	<p>県立こころの医療センター 診療事業 県内精神医療の中核病院として、総合的・専門的な精神科医療を提供するとともに、精神科救急・急性期医療や、他の医療機関では対応困難な治療の実施及び司法精神医療の充実を図る。 県民に提供する医療<業務の予定量> 病床数 280床 精神科病棟 280床 外来患者 38,942人 入院患者 55,956人</p>		<p>精神科救急・急性期医療の提供体制の充実 ①救急患者が常時受け入れ可能な体制の整備及び新たな入院患者の早期退院を支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の整備 ②24時間365日精神科救急医療相談に対応可能な体制の整備</p>	<p>県内全域を対象とする「精神科救急ダイヤル」を敷設し、24時間体制で救急医療相談に対応した。 ・当センター広報誌「ぬくもり」への掲載頻度を増やし、広報に努めた。 ・当センターホームページに「精神科救急ダイヤル」に関する情報を掲載し周知を図った。</p> <p>精神科救急ダイヤル件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>全県患者</td> <td>2,467</td> <td>2,465</td> <td>4,174</td> <td>3,569</td> <td>3,401</td> <td>3,404</td> </tr> <tr> <td>うち県民</td> <td>1,367</td> <td>2,439</td> <td>3,174</td> <td>2,082</td> <td>2,385</td> <td>2,385</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	全県患者	2,467	2,465	4,174	3,569	3,401	3,404	うち県民	1,367	2,439	3,174	2,082	2,385	2,385																																																									
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																													
全県患者	2,467	2,465	4,174	3,569	3,401	3,404																																																																													
うち県民	1,367	2,439	3,174	2,082	2,385	2,385																																																																													
	<p>24時間を通して精神科救急医療相談に応じるとともに、救急患者を受け入れ、新たな入院患者が早期に退院し社会復帰できるよう支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の整備を図る。</p>	<p>24時間体制で精神科救急医療相談に応じ患者を受け入れるとともに、新たな入院患者が90日以内に退院し社会復帰できるよう支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の整備を図る。</p>		<p>こころ</p>		<p>24時間体制で精神科救急医療相談に心じ、新たな入院患者が早期退院し社会復帰できるよう精神科救急・急性期医療の提供体制の整備に努めたが、救急ダイヤル件数は、前年に比べて、減少した。</p>																																																																													

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績自己評価																																																
			39	新たな入院患者が90日以内に退院できるように促進し、精神科救急入院料の施設基準を維持する。	<p>早期治療、早期退院の実践により、救急病棟（南2）急性期治療病棟（北2）における「新規患者率」、「新規患者3ヶ月以内在院移行率」はそれぞれの施設基準を満たしている。</p> <table border="1"> <caption>（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東 京</td> <td>400</td> <td>411</td> <td>423</td> <td>414</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td>東 海</td> <td>400</td> <td>411</td> <td>423</td> <td>414</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td>東 北</td> <td>400</td> <td>411</td> <td>423</td> <td>414</td> <td>424</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東 京</td> <td>77.3</td> <td>78.1</td> <td>77.3</td> <td>78.1</td> <td>77.9</td> </tr> <tr> <td>東 海</td> <td>77.3</td> <td>78.1</td> <td>77.3</td> <td>78.1</td> <td>77.9</td> </tr> <tr> <td>東 北</td> <td>77.3</td> <td>78.1</td> <td>77.3</td> <td>78.1</td> <td>77.9</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	東 京	400	411	423	414	424	東 海	400	411	423	414	424	東 北	400	411	423	414	424	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	東 京	77.3	78.1	77.3	78.1	77.9	東 海	77.3	78.1	77.3	78.1	77.9	東 北	77.3	78.1	77.3	78.1	77.9	<p>A</p> <p>精神科救急入院料の施設基準を維持するため、新規入院患者が90日以内に退院できよう早期退院を促進した。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																																	
東 京	400	411	423	414	424																																																	
東 海	400	411	423	414	424																																																	
東 北	400	411	423	414	424																																																	
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																																	
東 京	77.3	78.1	77.3	78.1	77.9																																																	
東 海	77.3	78.1	77.3	78.1	77.9																																																	
東 北	77.3	78.1	77.3	78.1	77.9																																																	
			40	薬物療法による治療効果が低い重症患者に対する治療法として、m-ECT（修正型電気けいれん療法）を積極的に実施する。	<p>・H29 H21年7月から開始したm-ECTの治療を本年度も継続して積極的に実施している。</p> <p>・第2期中期目標期間（H26～30）</p> <table border="1"> <caption>m-ECT実施数（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延床数(件)</td> <td>578</td> <td>608</td> <td>598</td> <td>605</td> <td>609</td> </tr> <tr> <td>実施患者数</td> <td>56</td> <td>68</td> <td>63</td> <td>54</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>平均年齢</td> <td>53</td> <td>51</td> <td>47</td> <td>51</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>性別</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>43</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>重症地区</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>重症地区</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	延床数(件)	578	608	598	605	609	実施患者数	56	68	63	54	60	平均年齢	53	51	47	51	51	性別	36	30	32	43	40	重症地区	1	3	4	2	3	重症地区	1	3	4	1	3	その他	1	1	1	0	0	<p>A</p> <p>薬物療法による治療効果が低い重症患者に対する治療法として、精神科医療では高度医療とされるm-ECT（修正型電気けいれん療法）を積極的に実施し、前年度と比べて実施件数が増加した。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																																	
延床数(件)	578	608	598	605	609																																																	
実施患者数	56	68	63	54	60																																																	
平均年齢	53	51	47	51	51																																																	
性別	36	30	32	43	40																																																	
重症地区	1	3	4	2	3																																																	
重症地区	1	3	4	1	3																																																	
その他	1	1	1	0	0																																																	
			41	先端薬物療法（クロザピドンなど）を積極的に実施する。	<p>・クロザピドンによる治療効果が悪い、H22年4月27日、クロザピドン適正使用委員会において、CPMIS（クロザピドン患者モニタリングサービス）登録機関として承認された。</p> <p>・静岡県内では、浜松医科大学医学部付属病院、聖隷三方原病院に次いで3番目の登録である。</p> <p>・H23年度に作成したクリニックパスに基づき治療を開始し、これまでに44名の患者に殺与している。現在35名に対して継続殺与中である。</p> <table border="1"> <caption>クロザピドン登録患者数 ※3月31日現在患者数（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規登録患者数</td> <td>9</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>9</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	項目	25年度	27年度	28年度	29年度	新規登録患者数	9	19	20	35	患者数	9	29	30	55	<p>A</p> <p>他の医療機関では対応困難な難治性の統合失調症に高い効果を示す先端薬物療法を積極的に実施した。</p>																																	
項目	25年度	27年度	28年度	29年度																																																		
新規登録患者数	9	19	20	35																																																		
患者数	9	29	30	55																																																		

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明																																																																						
	(ウ)県立こども病院	<p>県立こども病院診療事業 県内小児医療の中核病院と して、一般医療機関では対 応困難な小児患者に対す る高度・専門医療やハイリス ク妊婦に対する周産期医療 を提供する。 県民に提供する医療<業務 の予定量> 病床数 279床 一般病床 243床 精神病床 36床 外来患者 105,234人 入院患者 81,038人</p>	-	-	-	-																																																																						
	<p>・小児重症心疾患患者に対 し、24時間を通して高度な 専門的治療を提供するた め、ハイブリッド手術室等の 先進設備を整備する。加え て、小児心疾患治療のリー ディング施設として専門医等 の育成に努める。</p>	<p>小児重症心疾患患者に対 し、24時間を通して高度な 専門的治療を提供する体制 の充実及び小児心疾患治療 の先進的な施設としての専 門医等の育成 ①小児重症心疾患患者へ24 時間対応による専門的治療 の提供体制の充実 ②小児循環器疾患治療ス タッフに対する教育体制の 充実や小児集中治療室 (PICU)、新生児集中治療 室(NICU)及び循環器集 療室(CCU)の相互研修の実 施を通して治療レベルの向 上による循環器センターの 機能を強化 ③小児用補助人工心臓装置 の活用 ④心エコー画像のリアルタ イム遠隔診断の実施 ⑤ハイブリッド手術の通用 拡大</p>	45	<p>①心臓血管外科、循環器科の 連携による専門治療と、術後 の集中治療を行うCCUを加 えた循環器センターの体制を 維持・充実させる。 ②新生児科(NICU)・小 児集中治療科(PICU)と 共同でカンファレンスを実施 し、より研修効果をあげ、治 療レベルの向上を図る。 ③補助人工心臓装置の活用を 図る。 ④心エコー画像の遠隔診断を 継続実施する。 ⑤ハイブリッド手術の小児へ の適用症例拡大を検討する。</p>	<p>・ H28年に循環器病棟に準重症患者対応病室を設置し、順 調に運用されている。 ・ H29年1月に自治体立病院では全国初、小児専門病院では 全国2番目となる小児用補助人工心臓を導入し、現在稼働 中である。</p> <table border="1" data-bbox="718 492 798 929"> <caption>CCU稼働率</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院症患者数</td> <td>3,307</td> <td>3,553</td> <td>3,745</td> <td>3,297</td> <td>2,939</td> <td>3,368</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>90.6</td> <td>87.2</td> <td>85.3</td> <td>87.4</td> <td>80.5</td> <td>86.2</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="805 492 853 929"> <caption>心臓カテーテル治療実績</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数</td> <td>121</td> <td>133</td> <td>156</td> <td>170</td> <td>200</td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="861 492 909 929"> <caption>ハイブリッド手術実績</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>-</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="917 492 965 929"> <caption>心エコー画像遠隔診断実績</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>症例数</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)	入院症患者数	3,307	3,553	3,745	3,297	2,939	3,368	病床稼働率	90.6	87.2	85.3	87.4	80.5	86.2	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)	実施件数	121	133	156	170	200	230	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)	件数	-	6	12	12	6	9	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)	実施数	4	4	4	4	4	4	症例数	15	9	7	5	7	9	<p>・ 心臓血管外科、循環器科の連携によ る専門治療と、術後の集中治療を行う CCUを充実させた循環器センターの体制 を維持・充実により、多くの小児重症 心疾患患者を受け入れられている。 ・ 準重症心疾患患者対応病室を設け、小児 重症心疾患患者を受け入れる体制の拡 充を図った。 ・ H28年度に導入した小児用補助人工 心臓は稼働中である。 ・ ハイブリッド手術室では手術を行い 実績を重ねるとともに、心臓カテー テル治療件数も順調に推移している。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)																																																																						
入院症患者数	3,307	3,553	3,745	3,297	2,939	3,368																																																																						
病床稼働率	90.6	87.2	85.3	87.4	80.5	86.2																																																																						
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)																																																																						
実施件数	121	133	156	170	200	230																																																																						
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)																																																																						
件数	-	6	12	12	6	9																																																																						
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)																																																																						
実施数	4	4	4	4	4	4																																																																						
症例数	15	9	7	5	7	9																																																																						

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明																																																																																																									
	<p>・地域の医療機関と連携して、ハイリスク胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの構築に努めるとともに、新生児に対して、高度な先進的治療を提供するための体制を拡充する。</p>	<p>地域の医療機関と連携したハイリスク胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの維持・充実と新生児に対しての高度な専門的治療を提供する体制の拡充</p> <p>①すべてのハイリスク出産に対応できるシステム作り ②先天異常の出生前超音波診断や、出生後の管理・処置のための機器整備 ③新生児集中治療室(NICU)における低侵襲手術の実施</p>	<p>46</p>	<p>子ども</p> <p>①地域の産科医療機関との前方・後方連携を更に強化、症例検討会・研修会を通じ産科医の診断能力向上を図る ②最新式の超音波診断装置を導入する。 ③必要に応じてNICU内の手術を継続実施する。</p>	<p>NICU診療実績 (単位：人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>331</td> <td>961</td> <td>743</td> <td>637</td> <td>439</td> <td>622</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>3,444</td> <td>5,410</td> <td>5,927</td> <td>6,411</td> <td>6,311</td> <td>5,901</td> </tr> </tbody> </table> <p>NICU診療率 (単位：人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>5,014</td> <td>4,883</td> <td>4,679</td> <td>4,555</td> <td>4,536</td> <td>4,789</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>76.3</td> <td>74.0</td> <td>71.0</td> <td>73.9</td> <td>69.0</td> <td>72.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>NICU入院患者数 (単位：人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,095</td> <td>2,087</td> <td>2,098</td> <td>2,007</td> <td>2,068</td> <td>2,071</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>95.7</td> <td>95.3</td> <td>95.5</td> <td>91.6</td> <td>94.4</td> <td>94.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>新生児出生体重別入院患者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体重(g)</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500未満</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>500~1,000</td> <td>33</td> <td>48</td> <td>26</td> <td>36</td> <td>28</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>1,000~1,500</td> <td>48</td> <td>41</td> <td>38</td> <td>22</td> <td>28</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>1,500以上</td> <td>166</td> <td>148</td> <td>160</td> <td>141</td> <td>143</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>250</td> <td>242</td> <td>225</td> <td>209</td> <td>202</td> <td>226</td> </tr> </tbody> </table> <p>・NICU内の手術は、H25年度に3件、H26年度に3件を行った。</p>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	入院患者数	331	961	743	637	439	622	入院患者数	3,444	5,410	5,927	6,411	6,311	5,901	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	入院患者数	5,014	4,883	4,679	4,555	4,536	4,789	入院患者数	76.3	74.0	71.0	73.9	69.0	72.3	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	入院患者数	2,095	2,087	2,098	2,007	2,068	2,071	入院患者数	95.7	95.3	95.5	91.6	94.4	94.5	体重(g)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	500未満	3	2	3	7	3	4	500~1,000	33	48	26	36	28	32	1,000~1,500	48	41	38	22	28	36	1,500以上	166	148	160	141	143	152	合計	250	242	225	209	202	226	<p>・地域医療機関を対象とした研修会、検討会を定期的に開催し、地域の産科医療のレベルアップを図っている。 ・NICUの入院患者数は一定の水準にある。 ・他の医療機関では対応が困難な超低出生体重児、極低出生体重児を多く受け入れられている。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																									
入院患者数	331	961	743	637	439	622																																																																																																									
入院患者数	3,444	5,410	5,927	6,411	6,311	5,901																																																																																																									
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																									
入院患者数	5,014	4,883	4,679	4,555	4,536	4,789																																																																																																									
入院患者数	76.3	74.0	71.0	73.9	69.0	72.3																																																																																																									
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																									
入院患者数	2,095	2,087	2,098	2,007	2,068	2,071																																																																																																									
入院患者数	95.7	95.3	95.5	91.6	94.4	94.5																																																																																																									
体重(g)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																									
500未満	3	2	3	7	3	4																																																																																																									
500~1,000	33	48	26	36	28	32																																																																																																									
1,000~1,500	48	41	38	22	28	36																																																																																																									
1,500以上	166	148	160	141	143	152																																																																																																									
合計	250	242	225	209	202	226																																																																																																									
	<p>・本県における小児がんの拠点機能を有する病院として、高度な集学的治療に積極的に取り組む。</p>	<p>小児がん診療の連携拠点病院として、高度な集学的治療への積極的な取組 ①小児がんの集学的治療推進、セカンドオピニオンを受入れるなど、静岡小児がん拠点病院としての機能強化 ②院内がん登録の推進 ③県立静岡がんセンターとの連携強化</p>	<p>47</p>	<p>子ども</p> <p>①②静岡小児がん拠点病院として血液腫瘍に対しては、骨髄・末梢血幹細胞・脐帯血移植などの治療法を利用して対応する。 ①②小児がん連携拠点病院の指定を念頭に置き、診療の更なる充実を図る。 ③県立静岡がんセンターとの共同カンファレンスを実施する。</p>	<p>血液腫瘍科患者数実績 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>7,032</td> <td>6,947</td> <td>8,301</td> <td>7,877</td> <td>8,539</td> <td>8,539</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>3,645</td> <td>3,396</td> <td>3,633</td> <td>3,691</td> <td>3,711</td> <td>3,676</td> </tr> </tbody> </table> <p>造血幹細胞移植実績 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>骨髄移植</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>脐帯血</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>自家末梢血</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>同種末梢血</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>小児がん登録件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録件数</td> <td>12</td> <td>57</td> <td>46</td> <td>61</td> <td>58</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <p>・H28年度から、概ね2ヶ月に1回、県立静岡がんセンターとの共同カンファレンスを実施している。</p>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	入院	7,032	6,947	8,301	7,877	8,539	8,539	外来	3,645	3,396	3,633	3,691	3,711	3,676	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	骨髄移植	9	9	4	4	2	6	脐帯血	1	1	0	2	7	5	自家末梢血	2	2	5	5	7	5	同種末梢血	1	1	1	0	0	3	計	13	13	13	11	10	13	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	登録件数	12	57	46	61	58	58	<p>・静岡小児がん拠点病院として、県内小児がん患者の半数以上を受入れ、固形がんについても脳神経外科等との連携のもと対応している。 ・県立静岡がんセンターとの共同カンファレンスを行い、連携を図っている。</p>																												
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																									
入院	7,032	6,947	8,301	7,877	8,539	8,539																																																																																																									
外来	3,645	3,396	3,633	3,691	3,711	3,676																																																																																																									
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																									
骨髄移植	9	9	4	4	2	6																																																																																																									
脐帯血	1	1	0	2	7	5																																																																																																									
自家末梢血	2	2	5	5	7	5																																																																																																									
同種末梢血	1	1	1	0	0	3																																																																																																									
計	13	13	13	11	10	13																																																																																																									
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																									
登録件数	12	57	46	61	58	58																																																																																																									

第1 県民に対して提供するサービスの他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績自己評価																																																																																																																																																		
・24時間を通して重篤な小児救命救急患者の受入体制を整備し、強化すること。また、救急医療全般にわたって地域の医療機関と分担して受け入れられる体制を整備する。	・24時間を通して重篤な小児救命救急患者の受入体制を整備し、強化すること。また、救急医療全般にわたって地域の医療機関と分担して受け入れられる体制を整備する。	24時間を通して重篤な小児救命救急患者の受入体制の維持及び地域で不足する小児救急医療体制の構築等、小児救急医療のモデルとなる体制整備 ①院内各専門領域のバックアップによる、小児救急センター・小児集中治療センターを中心とした小児救急医療全般にわたる受入体制の強化、拡充 ②小児救命救急センターとしてメデイカルコントロール体制整備への協力 ③小児救急専門スタッフの教育の充実	48	①PICU(小児集中治療センター)・救急総合診療科を中心として小児救急医療体制の強化を図る。 ①小児救急センター・小児集中治療センターを中心とし、365日24時間小児救急患者の受入可能な体制を維持、充実させる。 ③院内の小児救急専門スタッフ(医師、看護師)育成に努める。	<p>PICU診療実績 (単位:人、%)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,568</td> <td>2,502</td> <td>2,555</td> <td>2,462</td> <td>2,390</td> <td>2,497</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>84.9</td> <td>85.4</td> <td>87.6</td> <td>84.3</td> <td>81.8</td> <td>84.8</td> </tr> </table> <p>ER診療実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>1,124</td> <td>1,374</td> <td>1,316</td> <td>1,338</td> <td>1,299</td> <td>1,402</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>3,493</td> <td>4,792</td> <td>4,948</td> <td>4,170</td> <td>4,110</td> <td>4,402</td> </tr> </table> <p>ドクター・ナース派遣実績 (単位:回)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>56</td> <td>70</td> <td>45</td> <td>35</td> <td>34</td> <td>48</td> </tr> </table> <p>ドクターカー出動実績 (単位:回)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>369</td> <td>313</td> <td>291</td> <td>298</td> <td>308</td> </tr> </table> <p>PICU臨床医師・看護師 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>医師(当直含む)</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>31</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>32</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	入院患者数	2,568	2,502	2,555	2,462	2,390	2,497	病床稼働率	84.9	85.4	87.6	84.3	81.8	84.8	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	入院患者数	1,124	1,374	1,316	1,338	1,299	1,402	外来患者数	3,493	4,792	4,948	4,170	4,110	4,402	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	回数	56	70	45	35	34	48	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	回数	369	313	291	298	308	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	医師(当直含む)	14	14	12	9	11	11	看護師	32	34	31	30	32	32	<p>各地域の医療機関、消防機関が参加するメデイカルコントロール協議会に当該も参加した。</p> <p>救急隊員研修開催実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> </table> <p>小児救急研修会 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> </table> <p>救急隊員研修開催実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	対象	12	12	9	2	6	10	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	開催回数	1	1	1	1	1	1	参加者数	15	15	15	15	15	17	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	開催回数	1	1	1	1	1	1	参加者数	15	15	15	15	15	17	<p>小児救命救急センターの指定を受け、軽症から重症まで小児救急患者を多く受け入れられている。PICUと小児救急センターを中心に、24時間365日を通して、軽症から重症まで小児救急患者を多く受け入れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ER開設以降、富士富士宮、志太原等の救急患者が増加しており、地域で不足する小児救急体制を構築している。 ・PICU病棟に専門スタッフを配置し、小児救急体制の充実を図っている。
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																																		
入院患者数	2,568	2,502	2,555	2,462	2,390	2,497																																																																																																																																																		
病床稼働率	84.9	85.4	87.6	84.3	81.8	84.8																																																																																																																																																		
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																																		
入院患者数	1,124	1,374	1,316	1,338	1,299	1,402																																																																																																																																																		
外来患者数	3,493	4,792	4,948	4,170	4,110	4,402																																																																																																																																																		
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																																		
回数	56	70	45	35	34	48																																																																																																																																																		
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																																			
回数	369	313	291	298	308																																																																																																																																																			
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																																		
医師(当直含む)	14	14	12	9	11	11																																																																																																																																																		
看護師	32	34	31	30	32	32																																																																																																																																																		
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																																		
対象	12	12	9	2	6	10																																																																																																																																																		
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																																		
開催回数	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																		
参加者数	15	15	15	15	15	17																																																																																																																																																		
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																																		
開催回数	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																		
参加者数	15	15	15	15	15	17																																																																																																																																																		
・精神疾患を持つ小児患者やその家族に対して、児童精神科分野における中核的機能の発揮に努める。	子どものこのころの診療分野の県内における中核的機能の発揮 ①子ども精神科専門病棟を有することをも病棟としての強みを発揮 ②「子どもの心の診療ネットワーク事業」の拠点病院として、教育・福祉・医療機関の連携ネットワークの更なる拡大、充実 ③臨床研修の充実による児童精神科医の継続的育成	②地域の医療・消防機関で構成されるメデイカルコントロール協議会に参加するとともに、PICUの主権により、救急医療・救急(消防)業務従事者向けの研究会、実習講習を行う。	49	②地域の医療・消防機関で構成されるメデイカルコントロール協議会に参加するとともに、PICUの主権により、救急医療・救急(消防)業務従事者向けの研究会、実習講習を行う。	<p>このころの診療科診療実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>10,658</td> <td>10,546</td> <td>9,455</td> <td>10,086</td> <td>10,864</td> <td>11,308</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>54</td> <td>44</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>58</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>12,488</td> <td>12,331</td> <td>12,532</td> <td>12,311</td> <td>12,607</td> <td>12,600</td> </tr> <tr> <td>外来診患者数</td> <td>521</td> <td>540</td> <td>492</td> <td>477</td> <td>502</td> <td>506</td> </tr> </table> <p>このころの診療科別別患者数実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>東部</td> <td>671</td> <td>715</td> <td>732</td> <td>755</td> <td>766</td> <td>766</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>1,010</td> <td>1,034</td> <td>1,094</td> <td>1,077</td> <td>1,157</td> <td>1,157</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>52</td> <td>54</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,744</td> <td>1,813</td> <td>1,885</td> <td>1,896</td> <td>1,997</td> <td>1,997</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	入院患者数	10,658	10,546	9,455	10,086	10,864	11,308	入院患者数	54	44	54	54	58	53	外来患者数	12,488	12,331	12,532	12,311	12,607	12,600	外来診患者数	521	540	492	477	502	506	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	東部	671	715	732	755	766	766	中部	1,010	1,034	1,094	1,077	1,157	1,157	西部	52	53	52	54	59	59	県外	11	11	7	10	15	15	合計	1,744	1,813	1,885	1,896	1,997	1,997	<p>救急隊員を対象とした研修会等を定期的に開催し、県下の小児救急医療の質の向上を図っている。</p> <p>中野地域だけでなく、児童精神科の医療機関が少ない東部地域からも多くの患者を受け入れた。</p>																																																																					
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																																		
入院患者数	10,658	10,546	9,455	10,086	10,864	11,308																																																																																																																																																		
入院患者数	54	44	54	54	58	53																																																																																																																																																		
外来患者数	12,488	12,331	12,532	12,311	12,607	12,600																																																																																																																																																		
外来診患者数	521	540	492	477	502	506																																																																																																																																																		
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																																																		
東部	671	715	732	755	766	766																																																																																																																																																		
中部	1,010	1,034	1,094	1,077	1,157	1,157																																																																																																																																																		
西部	52	53	52	54	59	59																																																																																																																																																		
県外	11	11	7	10	15	15																																																																																																																																																		
合計	1,744	1,813	1,885	1,896	1,997	1,997																																																																																																																																																		

中期計画	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績自己評価																																														
<p>第2</p> <p>2 医療に関する技術者(医師、看護師及びその他の医療従事者)の研修を通じた育成と質の向上</p> <p>優秀な医師、看護師等医療従事者を確保し、育成するため、魅力あふれる病院として、これら医療従事者から評価され、選ばれるよう、研修機能の充実・強化を図ること。また、国内外との交流による研修の充実を図ること。</p>	<p>第2</p> <p>2 医療に関する技術者(医師、看護師及びその他の医療従事者)の研修を通じた育成と質の向上</p> <p>県立病院が提供する医療の質の向上を図り、最適な医療を安全に提供するため、医療従事者が専門業務に専念できる体制の整備や就業環境の向上などを図ることにより、優秀な人材の確保に努めるとともに、教育研修機能の充実や国内外の医療従事者との交流に積極的に取り組む。</p>	<p>1</p> <p>2</p>	51	<p>厚生労働省の「子ども心の診療ネットワーク事業」に静岡県内の拠点病院として参加する。</p>	<p>事業を行っている全国18都府県23拠点病院の一つとして参加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>19 (2)</td> <td>22 (2)</td> <td>30 (2)</td> <td>21 (2)</td> <td>22 (2)</td> <td>24 (3)</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>18 (3)</td> <td>18 (2)</td> <td>22 (2)</td> <td>19 (2)</td> <td>21 (2)</td> <td>20 (2)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37 (5)</td> <td>40 (4)</td> <td>52 (4)</td> <td>40 (4)</td> <td>43 (4)</td> <td>44 (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () うち自治医科大学出身者</p>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定	医師	19 (2)	22 (2)	30 (2)	21 (2)	22 (2)	24 (3)	看護師	18 (3)	18 (2)	22 (2)	19 (2)	21 (2)	20 (2)	計	37 (5)	40 (4)	52 (4)	40 (4)	43 (4)	44 (5)	<p>急増する子ども心の心の問題に関するネットワーク構築のため、学校・地域との連携強化を図り、県内の小児精神科との連携強化を図り、中核的な役割を果たしている。</p>																		
				区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定																																										
				医師	19 (2)	22 (2)	30 (2)	21 (2)	22 (2)	24 (3)																																										
看護師	18 (3)	18 (2)	22 (2)	19 (2)	21 (2)	20 (2)																																														
計	37 (5)	40 (4)	52 (4)	40 (4)	43 (4)	44 (5)																																														
<p>52</p>	<p>児童精神科医の育成に努める</p>	<p>有期職員医師を1名採用し (H25年度から延べ5名)、専門的な児童精神科医を育成している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採用人数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定	採用人数	1	1	1	1	1	1	<p>児童精神科臨床研修として有期職員医師を採用し、児童精神科医の育成を行った。</p>																																			
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定																																														
採用人数	1	1	1	1	1	1																																														
<p>53</p>	<p>業務運営に必要な人材の確保に努める。</p>	<p>総合病院で職数(医師) 各年度4月1日時点(単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>646</td> <td>654</td> <td>678</td> <td>748</td> <td>804</td> <td>806</td> </tr> <tr> <td>医療技術者</td> <td>184</td> <td>196</td> <td>215</td> <td>211</td> <td>208</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>38</td> <td>41</td> <td>49</td> <td>51</td> <td>52</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定	看護師	646	654	678	748	804	806	医療技術者	184	196	215	211	208	214	事務	38	41	49	51	52	53	<p>人材確保対策本部を設置し、キャリアパス隊による県外業成校の訪問や広報活動の強化、看護師就学奨励金制度の拡充等の多岐におよぶ新たな取組を導入し、積極的な人材確保に努めた結果、29年度臨時採用を含め79名(H30年3月31日現在採用予定応募者)の看護師を確保した。</p>																					
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定																																														
看護師	646	654	678	748	804	806																																														
医療技術者	184	196	215	211	208	214																																														
事務	38	41	49	51	52	53																																														
<p>54</p>	<p>研修医の確保に努める。</p>	<p>総合病院で研修医数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期臨床研修医</td> <td>42</td> <td>50</td> <td>54</td> <td>58</td> <td>50</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td>19 (2)</td> <td>22 (2)</td> <td>30 (2)</td> <td>21 (2)</td> <td>22 (2)</td> <td>24 (3)</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>18 (3)</td> <td>18 (2)</td> <td>22 (2)</td> <td>19 (2)</td> <td>21 (2)</td> <td>20 (2)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37 (5)</td> <td>40 (4)</td> <td>52 (4)</td> <td>40 (4)</td> <td>43 (4)</td> <td>44 (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () うち自治医科大学出身者</p> <p>後期臨床研修医数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定	初期臨床研修医	42	50	54	58	50	45	1年生	19 (2)	22 (2)	30 (2)	21 (2)	22 (2)	24 (3)	2年生	18 (3)	18 (2)	22 (2)	19 (2)	21 (2)	20 (2)	計	37 (5)	40 (4)	52 (4)	40 (4)	43 (4)	44 (5)	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定	人数	3	2	2	1	1	3	<p>H30年度に向けて、初期臨床研修医1年生24名、2年生20名の合計44名を確保した。後期研修医は45名の確保と例年より5名弱少なくなっている。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定																																														
初期臨床研修医	42	50	54	58	50	45																																														
1年生	19 (2)	22 (2)	30 (2)	21 (2)	22 (2)	24 (3)																																														
2年生	18 (3)	18 (2)	22 (2)	19 (2)	21 (2)	20 (2)																																														
計	37 (5)	40 (4)	52 (4)	40 (4)	43 (4)	44 (5)																																														
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定																																														
人数	3	2	2	1	1	3																																														
						<p>研修医の確保については、計画どおりとなっている。</p>																																														

第1 県民に対して提供するサービスの他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績自己評価																																																																																																																																																																																																										
					<p>後期研修医数 (単位：人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度予定</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>14</td> </tr> </table> <p>ことば</p>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定	人数	14	15	15	16	16	14	<p>29実績自己評価</p> <p>説明</p> <p>後期研修医は定員どおり受け入れている。新専門医制度へも対応し、今年度から新プログラムで研修を行っている。</p>																																																																																																																																																																																												
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定																																																																																																																																																																																																										
人数	14	15	15	16	16	14																																																																																																																																																																																																										
			55	<p>即時的で効果的な人材を確保するため、採用試験を適宜実施する。</p>	<p>•H29 看護師については、定時募集に加えて随時募集を実施し、切れ目のない採用試験を実施している。また、総合病院においては紹介業者を通じた採用も合わせて行った。さらに優秀な人材確保のためコマディカルにおいてアソシエイトの公募試験を開始した。</p> <p>•第2期中期目標期間(H26～30) 正規雇員の確保状況 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>226</td> <td>230</td> <td>241</td> <td>245</td> <td>260</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1,179</td> <td>1,221</td> <td>1,251</td> <td>1,317</td> <td>1,370</td> <td>1,370</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>289</td> <td>304</td> <td>327</td> <td>320</td> <td>315</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>105</td> <td>109</td> <td>118</td> <td>119</td> <td>118</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,801</td> <td>1,869</td> <td>1,941</td> <td>2,006</td> <td>2,067</td> <td>2,088</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>27</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>123</td> <td>127</td> <td>135</td> <td>144</td> <td>157</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>646</td> <td>654</td> <td>678</td> <td>748</td> <td>804</td> <td>806</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>154</td> <td>196</td> <td>215</td> <td>211</td> <td>208</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>38</td> <td>41</td> <td>49</td> <td>51</td> <td>52</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>982</td> <td>1,021</td> <td>1,080</td> <td>1,158</td> <td>1,224</td> <td>1,242</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>113</td> <td>114</td> <td>110</td> <td>114</td> <td>115</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>162</td> <td>167</td> <td>161</td> <td>165</td> <td>166</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>91</td> <td>90</td> <td>94</td> <td>89</td> <td>91</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>419</td> <td>452</td> <td>461</td> <td>453</td> <td>449</td> <td>444</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>80</td> <td>81</td> <td>85</td> <td>83</td> <td>81</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>619</td> <td>652</td> <td>669</td> <td>654</td> <td>650</td> <td>642</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護師試験については、年3回の定時募集に加えて、経験者随時募集を年8回実施し、年間で切れ目のない募集を実施した。なお、看護師確保のため、就職説明会への参加や各種広報(WEB、情報誌等)、修学資金貸与制度の拡充、養成校訪問など様々な確保対策を進め、採用数の増加に繋がっている。</p> <p>コマディカルについては、必要な職種について随時募集を実施しており、栄養士、言語聴覚士についてアソシエイトの公募試験を開始し優秀な人材の確保に努めた。</p>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定	医師	226	230	241	245	260	269	歯科医師	2	5	4	4	5	4	看護師	1,179	1,221	1,251	1,317	1,370	1,370	医療技術	289	304	327	320	315	319	事務	105	109	118	119	118	126	計	1,801	1,869	1,941	2,006	2,067	2,088	看護師	1	1	2	2	2	2	医療技術	1	1	1	1	1	1	事務	26	27	28	28	27	32	計	28	29	31	29	27	34	医師	123	127	135	144	157	165	歯科医師	1	3	3	4	3	3	看護師	646	654	678	748	804	806	医療技術	154	196	215	211	208	214	事務	38	41	49	51	52	54	計	982	1,021	1,080	1,158	1,224	1,242	医師	12	13	12	12	12	14	歯科医師	1	1	1	1	1	1	看護師	113	114	110	114	115	118	医療技術	24	26	26	26	26	25	事務	13	13	13	13	13	13	計	162	167	161	165	166	170	医師	91	90	94	89	91	90	歯科医師	1	1	1	1	1	1	看護師	419	452	461	453	449	444	医療技術	80	81	85	83	81	80	事務	28	28	28	28	28	27	計	619	652	669	654	650	642
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度予定																																																																																																																																																																																																										
医師	226	230	241	245	260	269																																																																																																																																																																																																										
歯科医師	2	5	4	4	5	4																																																																																																																																																																																																										
看護師	1,179	1,221	1,251	1,317	1,370	1,370																																																																																																																																																																																																										
医療技術	289	304	327	320	315	319																																																																																																																																																																																																										
事務	105	109	118	119	118	126																																																																																																																																																																																																										
計	1,801	1,869	1,941	2,006	2,067	2,088																																																																																																																																																																																																										
看護師	1	1	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																										
医療技術	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																										
事務	26	27	28	28	27	32																																																																																																																																																																																																										
計	28	29	31	29	27	34																																																																																																																																																																																																										
医師	123	127	135	144	157	165																																																																																																																																																																																																										
歯科医師	1	3	3	4	3	3																																																																																																																																																																																																										
看護師	646	654	678	748	804	806																																																																																																																																																																																																										
医療技術	154	196	215	211	208	214																																																																																																																																																																																																										
事務	38	41	49	51	52	54																																																																																																																																																																																																										
計	982	1,021	1,080	1,158	1,224	1,242																																																																																																																																																																																																										
医師	12	13	12	12	12	14																																																																																																																																																																																																										
歯科医師	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																										
看護師	113	114	110	114	115	118																																																																																																																																																																																																										
医療技術	24	26	26	26	26	25																																																																																																																																																																																																										
事務	13	13	13	13	13	13																																																																																																																																																																																																										
計	162	167	161	165	166	170																																																																																																																																																																																																										
医師	91	90	94	89	91	90																																																																																																																																																																																																										
歯科医師	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																										
看護師	419	452	461	453	449	444																																																																																																																																																																																																										
医療技術	80	81	85	83	81	80																																																																																																																																																																																																										
事務	28	28	28	28	28	27																																																																																																																																																																																																										
計	619	652	669	654	650	642																																																																																																																																																																																																										

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明																																																																																																																		
			56	就職説明会への参加や多角的な広報の実施などにより、必要な職員の確保を目指す。	<p>・H29 合同就職説明会に参加し、機構受験者の確保に努めた。 新卒看護師向け求人誌への看護師募集記事の掲載を行った。</p> <p>看護生向け就職説明会 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>来場者数</th> <th>訪問者数</th> <th>受験者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ナース専科 (静岡)</td> <td>200</td> <td>157</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>ナースナビ (浜松)</td> <td>204</td> <td>45</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(新島)</td> <td>296</td> <td>29</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(徳島)</td> <td>272</td> <td>18</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>キャリアパス研修 (東京)</td> <td>319</td> <td>32</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>マイナビ (浜松)</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>(沼津)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>業者計</td> <td>40</td> <td>32</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>静岡国立大学</td> <td>1,378</td> <td>360</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>常葉大学</td> <td>132</td> <td>83</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>聖隷クリストファー大学</td> <td>266</td> <td>78</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>順天聖大学</td> <td>50</td> <td>16</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>静岡市立看護専門学校</td> <td>120</td> <td>46</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>東部看護専門学校</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>養成校計</td> <td>210</td> <td>109</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>842</td> <td>366</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,220</td> <td>726</td> <td>144</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護生向け就職説明会 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>970</td> <td>810</td> <td>919</td> <td>1,012</td> <td>1,378</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>574</td> <td>679</td> <td>671</td> <td>872</td> <td>970</td> </tr> <tr> <td>訪問者数</td> <td>236</td> <td>243</td> <td>253</td> <td>260</td> <td>369</td> </tr> <tr> <td>養成校</td> <td>198</td> <td>198</td> <td>233</td> <td>286</td> <td>366</td> </tr> <tr> <td>業者数</td> <td>不明</td> <td>不明</td> <td>不明</td> <td>3</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>養成校</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>48</td> <td>86</td> </tr> </tbody> </table> <p>・第2期中期目標期間(H26～30)</p>	区分	来場者数	訪問者数	受験者数	ナース専科 (静岡)	200	157	47	ナースナビ (浜松)	204	45	0	(新島)	296	29	0	(徳島)	272	18	0	キャリアパス研修 (東京)	319	32	0	マイナビ (浜松)	22	22	7	(沼津)	25	25	1	業者計	40	32	3	静岡国立大学	1,378	360	58	常葉大学	132	83	41	聖隷クリストファー大学	266	78	22	順天聖大学	50	16	10	静岡市立看護専門学校	120	46	2	東部看護専門学校	34	34	0	養成校計	210	109	11	計	842	366	86		2,220	726	144	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	来場者数	970	810	919	1,012	1,378	来場者数	574	679	671	872	970	訪問者数	236	243	253	260	369	養成校	198	198	233	286	366	業者数	不明	不明	不明	3	38	養成校	16	17	17	48	86	<p>企業主催の説明会については、県内・県外会場等、参加回数を増やし、より多くの看護学生と面談し、病院機構をPRすることができた。</p> <p>A</p> <p>また、養成校主催の説明会へも昨年に引き続き参加し、現在の学生の動向等をつかむことができた。</p>
区分	来場者数	訪問者数	受験者数																																																																																																																					
ナース専科 (静岡)	200	157	47																																																																																																																					
ナースナビ (浜松)	204	45	0																																																																																																																					
(新島)	296	29	0																																																																																																																					
(徳島)	272	18	0																																																																																																																					
キャリアパス研修 (東京)	319	32	0																																																																																																																					
マイナビ (浜松)	22	22	7																																																																																																																					
(沼津)	25	25	1																																																																																																																					
業者計	40	32	3																																																																																																																					
静岡国立大学	1,378	360	58																																																																																																																					
常葉大学	132	83	41																																																																																																																					
聖隷クリストファー大学	266	78	22																																																																																																																					
順天聖大学	50	16	10																																																																																																																					
静岡市立看護専門学校	120	46	2																																																																																																																					
東部看護専門学校	34	34	0																																																																																																																					
養成校計	210	109	11																																																																																																																					
計	842	366	86																																																																																																																					
	2,220	726	144																																																																																																																					
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																																																																																																			
来場者数	970	810	919	1,012	1,378																																																																																																																			
来場者数	574	679	671	872	970																																																																																																																			
訪問者数	236	243	253	260	369																																																																																																																			
養成校	198	198	233	286	366																																																																																																																			
業者数	不明	不明	不明	3	38																																																																																																																			
養成校	16	17	17	48	86																																																																																																																			
			57	看護師修学資金制度の積極的な広報をし、活用推進により、更なる看護師確保を目指す。	<p>看護師修学資金の状況 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>前年度比</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決定</td> <td>73</td> <td>74</td> <td>123</td> <td>88</td> <td>114</td> <td>▲60</td> <td>522</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>52</td> <td>80</td> <td>99</td> <td>126</td> <td>163</td> <td>▲178</td> <td>698</td> </tr> <tr> <td>取消</td> <td>▲6</td> <td>▲12</td> <td>▲11</td> <td>▲5</td> <td>▲9</td> <td>▲8</td> <td>▲51</td> </tr> <tr> <td>貸付計</td> <td>119</td> <td>142</td> <td>211</td> <td>209</td> <td>268</td> <td>▲230</td> <td>1,179</td> </tr> <tr> <td>残高</td> <td>38</td> <td>33</td> <td>76</td> <td>40</td> <td>63</td> <td>-</td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	前年度比	計	決定	73	74	123	88	114	▲60	522	継続	52	80	99	126	163	▲178	698	取消	▲6	▲12	▲11	▲5	▲9	▲8	▲51	貸付計	119	142	211	209	268	▲230	1,179	残高	38	33	76	40	63	-	250	<p>一定数の募集が集まり、今後安定的な看護師確保が期待される。 効果的・効果的な周知等を行い、看護師の確保につながった。</p> <p>A</p>																																																																		
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	前年度比	計																																																																																																																	
決定	73	74	123	88	114	▲60	522																																																																																																																	
継続	52	80	99	126	163	▲178	698																																																																																																																	
取消	▲6	▲12	▲11	▲5	▲9	▲8	▲51																																																																																																																	
貸付計	119	142	211	209	268	▲230	1,179																																																																																																																	
残高	38	33	76	40	63	-	250																																																																																																																	

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明																																																																						
			58	看護部幹部や事務部幹部による養成校の訪問を実施する。	<p>・ H29 看護師確保キャラバン隊が県外42校を訪問した。 看護師確保担当を本部事務部に設置し、H26年度県内19校、県外93校、27年度県内21校、県外220校の看護師養成校の訪問を行い、募集活動を行うとともに、情報収集を行った。 H27年度からは、看護師人材確保会議において、看護師確保キャラバンを創設し、機構幹部（院長代理、副院長兼看護部長、副看護部長等）が、県外養成校を訪問した。</p> <p>看護師確保キャラバン隊の状況 (単位：校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>山形県</td><td>10</td><td>0</td><td>0</td><td>10</td></tr> <tr><td>新潟県</td><td>0</td><td>10</td><td>0</td><td>10</td></tr> <tr><td>石川県</td><td>11</td><td>0</td><td>8</td><td>19</td></tr> <tr><td>福井県</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>山梨県</td><td>4</td><td>2</td><td>5</td><td>11</td></tr> <tr><td>長野県</td><td>6</td><td>4</td><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>岐阜県</td><td>10</td><td>7</td><td>9</td><td>26</td></tr> <tr><td>三重県</td><td>10</td><td>5</td><td>4</td><td>19</td></tr> <tr><td>徳島県</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td><td>7</td></tr> <tr><td>佐賀県</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td></tr> <tr><td>鹿児島県</td><td>0</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>沖縄県</td><td>5</td><td>8</td><td>7</td><td>20</td></tr> <tr><td>計</td><td>63</td><td>47</td><td>42</td><td>152</td></tr> </tbody> </table>		27年度	28年度	29年度	計	山形県	10	0	0	10	新潟県	0	10	0	10	石川県	11	0	8	19	福井県	0	0	1	1	山梨県	4	2	5	11	長野県	6	4	1	11	岐阜県	10	7	9	26	三重県	10	5	4	19	徳島県	0	0	7	7	佐賀県	7	0	0	7	鹿児島県	0	11	0	11	沖縄県	5	8	7	20	計	63	47	42	152	看護師確保キャラバン隊が県内外の看護師養成校を訪問し、県立3病院等の特色や強み等をPRするとともに、各養成校の学生の就職状況等について情報を収集し、採用活動に活かすことができた。
	27年度	28年度	29年度	計																																																																								
山形県	10	0	0	10																																																																								
新潟県	0	10	0	10																																																																								
石川県	11	0	8	19																																																																								
福井県	0	0	1	1																																																																								
山梨県	4	2	5	11																																																																								
長野県	6	4	1	11																																																																								
岐阜県	10	7	9	26																																																																								
三重県	10	5	4	19																																																																								
徳島県	0	0	7	7																																																																								
佐賀県	7	0	0	7																																																																								
鹿児島県	0	11	0	11																																																																								
沖縄県	5	8	7	20																																																																								
計	63	47	42	152																																																																								
			59	看護師・その他医療従事者等の実習・アルバイト研修等の受入れを推進する。	<p>実習・アルバイト研修等の受入れ(平成29年度) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>医師</th> <th>医学生</th> <th>看護師</th> <th>看護学生</th> <th>看護学生</th> <th>コメディカル</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>総合</td><td>18</td><td>218</td><td>20</td><td>498</td><td>229</td><td></td><td>983</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>14</td><td>3</td><td>4</td><td>230</td><td>18</td><td></td><td>269</td></tr> <tr><td>こども</td><td>44</td><td>17</td><td>156</td><td>102</td><td>40</td><td></td><td>359</td></tr> <tr><td>計</td><td>76</td><td>238</td><td>180</td><td>830</td><td>287</td><td></td><td>1,611</td></tr> </tbody> </table> <p>・ H29 総合では、学生用電子カルテ、デスク等実習環境を整備し、「急性期だからこそ」の看護、実習を通して、学生が魅力を感じる医療現場となるよう対応した。 ・ こころでは、昨年度に引き続き、多くの実習生を受け入れ、精神科病院における看護のやりがい等を伝えた。 ・ こども病院では、看護師確保DVDをリニューアルした。</p>	区分	医師	医学生	看護師	看護学生	看護学生	コメディカル	計	総合	18	218	20	498	229		983	こころ	14	3	4	230	18		269	こども	44	17	156	102	40		359	計	76	238	180	830	287		1,611	<p>研修の受入に関しては、実習生の要請に応じた魅力的な研修体制を構築した。</p>																														
区分	医師	医学生	看護師	看護学生	看護学生	コメディカル	計																																																																					
総合	18	218	20	498	229		983																																																																					
こころ	14	3	4	230	18		269																																																																					
こども	44	17	156	102	40		359																																																																					
計	76	238	180	830	287		1,611																																																																					

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																																	
			62	ラーニングセンターの活用 の促進を図る。	<p>後期研修医を募集するセミナー、新生児の産生講習会及び新人看護師を対象とした点検ルート確保の実習等を利用して</p> <p>ことも</p>	B 医師や看護師を対象とした研修で活用している。																																	
			63	海外との視察者等の受け入れ や派遣など、国際交流の推進 を図る。	<p>海外視察・講演等の派遣・受入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位:人)</th> </tr> <tr> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視察・研修等派遣</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>視察・研修等受入</td> <td>65</td> <td>36</td> <td>39</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <p>・シドニー・ウエストメッド小児病院から医師を招聘することともに、H29年度には当院の医師2名をウエストメッド小児病院に派遣している。</p> <p>・H29年10月に浙江大學医学院附属兒童医院から研修医を受け入れ、11月には兒童医院へ訪問し友好協力協定を締結した。</p>	(単位:人)					25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	視察・研修等派遣	16	9	13	54	視察・研修等受入	65	36	39	58	A 先端医学棟の開棟に伴い、海外からの視察等の受入れ体制を強化し、中国を始めとした海外との国際交流を積極的に実施し、国際交流の推進を図った。													
(単位:人)																																							
25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																			
視察・研修等派遣	16	9	13	54																																			
視察・研修等受入	65	36	39	58																																			
			64	<p>看護師及びその他の医療従事者のスキルアップを図るため、認定看護師の養成のほか、医療従事者等の研修等を推進する。</p> <p>・看護師及びその他の医療従事者のスキルアップを図るため、認定看護師の養成のほか、医療従事者等の研修等を推進する。</p> <p>・認定看護師等病院運営に寄与する資格について、取得支援制度を拡充すること、資格取得者の増員を図る。</p>	<p>以上医療種の認定取得者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>3</td> <td>がん看護、認知症看護、重症患者看護、慢性疾患看護</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>13</td> <td>救命救急、救急・救命ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、透析看護、がん化学療法、感染管理、集中集中ケア、材料看護</td> </tr> <tr> <td>業務師</td> <td>41</td> <td>認定看護師認定、日本検定協会認定、がん検診認定、がん専門認定、認定看護師養成、認定CRC、医師・看護師研修法、集約チーム専門看護師養成認定、熱線認定、緊急認定、小児検診認定</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>7</td> <td>専門認定看護師(運動療、呼吸器、脳血管)、日本アビリティアソシエーション</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>15</td> <td>放射線管理部門、放射線安全管理、PET/CT、緊急搬送</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9</td> <td>認定看護師養成、がん検診認定、がん検診認定</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>92</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>認定看護師取得者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>7</td> <td>精神科</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>1</td> <td>感染管理</td> </tr> </tbody> </table> <p>認定看護師等病院運営に寄与する資格について、取得支援制度を拡充すること、資格取得者の増員を図る。</p>	職種	人数	専門・認定領域	認定看護師	3	がん看護、認知症看護、重症患者看護、慢性疾患看護	認定看護師	13	救命救急、救急・救命ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、透析看護、がん化学療法、感染管理、集中集中ケア、材料看護	業務師	41	認定看護師認定、日本検定協会認定、がん検診認定、がん専門認定、認定看護師養成、認定CRC、医師・看護師研修法、集約チーム専門看護師養成認定、熱線認定、緊急認定、小児検診認定	理学療法士	7	専門認定看護師(運動療、呼吸器、脳血管)、日本アビリティアソシエーション	放射線技師	15	放射線管理部門、放射線安全管理、PET/CT、緊急搬送	その他	9	認定看護師養成、がん検診認定、がん検診認定	計	92		区分	人数	専門・認定領域	認定看護師	7	精神科	認定看護師	1	感染管理	A 感染管理、集中ケア等、病院全体の質の向上に資する分野の資格者を各病院に配置し、組織を横断的に活動することができた。また、認定看護師等病院運営に寄与する資格について、取得支援制度を拡充すること、資格取得者の増員を図った。
職種	人数	専門・認定領域																																					
認定看護師	3	がん看護、認知症看護、重症患者看護、慢性疾患看護																																					
認定看護師	13	救命救急、救急・救命ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、透析看護、がん化学療法、感染管理、集中集中ケア、材料看護																																					
業務師	41	認定看護師認定、日本検定協会認定、がん検診認定、がん専門認定、認定看護師養成、認定CRC、医師・看護師研修法、集約チーム専門看護師養成認定、熱線認定、緊急認定、小児検診認定																																					
理学療法士	7	専門認定看護師(運動療、呼吸器、脳血管)、日本アビリティアソシエーション																																					
放射線技師	15	放射線管理部門、放射線安全管理、PET/CT、緊急搬送																																					
その他	9	認定看護師養成、がん検診認定、がん検診認定																																					
計	92																																						
区分	人数	専門・認定領域																																					
認定看護師	7	精神科																																					
認定看護師	1	感染管理																																					
				ことも	<p>区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>小児看護</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>皮膚・排泄ケア1名、集中ケア1名、緩和ケア1名、新生児集中ケア2名、がん化学療法1名、感染管理2名、小児救急看護2名、手術室看護1名、精神看護1名</td> </tr> </tbody> </table>	人数	専門・認定領域	1	小児看護	12	皮膚・排泄ケア1名、集中ケア1名、緩和ケア1名、新生児集中ケア2名、がん化学療法1名、感染管理2名、小児救急看護2名、手術室看護1名、精神看護1名																												
人数	専門・認定領域																																						
1	小児看護																																						
12	皮膚・排泄ケア1名、集中ケア1名、緩和ケア1名、新生児集中ケア2名、がん化学療法1名、感染管理2名、小児救急看護2名、手術室看護1名、精神看護1名																																						

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																																																																						
(2) 就労環境の向上 優秀な医療従事者を確保するため、働きやすく、また、働きがいのある病院となるよう、ワーク・ライフ・バランスの確保や職員の健康保持などを図ること。	(2) 就労環境の向上 仕事と生活の調和に配慮した雇用形態や勤務時間の設定、時間外勤務の縮減、職員の健康保持への配慮や院内保育所の活用など職員の働きやすさ、また、働きがいを実感できるような環境づくりを進める。	1 2 (2)	65	行動計画 臨床現場に即した、より実践的な研修を提供する。	<p>実習・アルバイト研修等の受入れ (平成29年度) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>医師</th> <th>医学生</th> <th>看護師</th> <th>看護学生</th> <th>コメディカル</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>18</td> <td>218</td> <td>20</td> <td>498</td> <td>229</td> <td>983</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>230</td> <td>18</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>44</td> <td>17</td> <td>156</td> <td>102</td> <td>40</td> <td>359</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>76</td> <td>238</td> <td>180</td> <td>830</td> <td>287</td> <td>1,611</td> </tr> </tbody> </table>	区分	医師	医学生	看護師	看護学生	コメディカル	計	総合	18	218	20	498	229	983	子ども	14	3	4	230	18	269	子ども	44	17	156	102	40	359	計	76	238	180	830	287	1,611	A																																			
区分	医師	医学生	看護師	看護学生	コメディカル	計																																																																						
総合	18	218	20	498	229	983																																																																						
子ども	14	3	4	230	18	269																																																																						
子ども	44	17	156	102	40	359																																																																						
計	76	238	180	830	287	1,611																																																																						
(2) 就労環境の向上	(2) 就労環境の向上	1 2 (2)	66	研修体系プログラムの整備と研修内容の充実を図る。	<p>職員研修参加者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規採用職員研修</td> <td>147</td> <td>144</td> <td>145</td> <td>136</td> <td>126</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>新規採用職員研修</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>新規監督者研修</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>28</td> <td>25</td> <td>18</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>新任管理者・新任監督者研修</td> <td>6</td> <td>17</td> <td>-</td> <td>34</td> <td>28</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション講座</td> <td>17</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>フレックスタイム講座</td> <td>40</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ケアマネージング講座</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>コーチング講座</td> <td>-</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>メンタルサポート講座</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	新規採用職員研修	147	144	145	136	126	127	新規採用職員研修	24	26	15	10	4	6	新規監督者研修	14	14	28	25	18	22	新任管理者・新任監督者研修	6	17	-	34	28	25	コミュニケーション講座	17	23	21	20	24	30	フレックスタイム講座	40	29	31	-	-	-	ケアマネージング講座	-	-	-	23	20	20	コーチング講座	-	32	32	28	32	18	メンタルサポート講座	23	20	21	25	25	25	A
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																						
新規採用職員研修	147	144	145	136	126	127																																																																						
新規採用職員研修	24	26	15	10	4	6																																																																						
新規監督者研修	14	14	28	25	18	22																																																																						
新任管理者・新任監督者研修	6	17	-	34	28	25																																																																						
コミュニケーション講座	17	23	21	20	24	30																																																																						
フレックスタイム講座	40	29	31	-	-	-																																																																						
ケアマネージング講座	-	-	-	23	20	20																																																																						
コーチング講座	-	32	32	28	32	18																																																																						
メンタルサポート講座	23	20	21	25	25	25																																																																						
(2) 就労環境の向上	(2) 就労環境の向上	1 2 (2)	67	柔軟な職員採用や多様な雇用形態・勤務条件の設定を図る。	<p>・H29 ・看護師の2交代制勤務については、H29年度10月末で総合病院16病棟、こどもの医療センター3病棟、こども病院9病棟となっている。 ・看護師の夜勤専従について、3病院で試験を行っている。 ・看護師、事務、コメディカルの優秀な有期職員をアソシエイトに雇用し人材確保を図った。 ・H29年度から新たに採用した医師を対象に、期間内の手術や外来等の診療実績を評価して支給する診療賞与を導入した。 ・第2期中期目標期間 (H26～30) ・法人化による雇用の柔軟性・機動性を発揮し、患者に必要な医療を適切に提供するとともに、経営改善及び職員の勤務条件の改善に取り組んだ。 ・看護師の2交代制勤務については、労働組合との合意により試験を経て制度化し、H26年度以降も実施病棟を拡大した。 ・看護師の夜勤専従については、労働組合との合意により試験を実施している。 ・H28年度から新たにアソシエイト制度を創設し、優秀な有期職員の採用を進めている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>分</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>分</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>分</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>分</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	区分	分	28年度	29年度	看護師	分	5	1	事務	分	2	2	コメディカル	分	-	3	計	分	7	6	A																																																		
区分	分	28年度	29年度																																																																									
看護師	分	5	1																																																																									
事務	分	2	2																																																																									
コメディカル	分	-	3																																																																									
計	分	7	6																																																																									

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																																																																																																																							
			68	医療従事者の事務的業務の軽減を図り、本来業務に専念できる環境の整備や業務多忙を解消するために、医療秘書・助手等を効果的に配置する。	<p>補助職員の実態状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>31</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>66</td> <td>73</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>看護助手</td> <td>71</td> <td>88</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>74</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>コフ・リ補助手</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>118</td> <td>156</td> <td>153</td> <td>164</td> <td>165</td> <td>157</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>看護助手</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>コフ・リ補助手</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>看護助手</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>コフ・リ補助手</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>44</td> <td>45</td> <td>44</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>30</td> <td>69</td> <td>75</td> <td>88</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>看護助手</td> <td>100</td> <td>117</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>104</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>コフ・リ補助手</td> <td>22</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>172</td> <td>210</td> <td>209</td> <td>221</td> <td>222</td> <td>215</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	医師事務補助	31	50	55	66	73	67	看護助手	71	88	81	80	74	70	コフ・リ補助手	16	18	17	18	18	17	小計	118	156	153	164	165	157	医師事務補助	1	2	2	2	2	2	看護助手	9	10	8	8	9	9	コフ・リ補助手	2	2	2	2	2	2	小計	12	13	12	12	13	13	医師事務補助	18	18	18	18	18	19	看護助手	20	19	21	22	21	22	コフ・リ補助手	4	4	5	5	5	4	小計	42	41	44	45	44	45	医師事務補助	30	69	75	88	93	88	看護助手	100	117	110	110	104	104	コフ・リ補助手	22	24	24	24	25	23	小計	172	210	209	221	222	215	<p>29実績 自己評価</p> <p>説明</p> <p>医師の事務補助を行う職員の配置については、電子カルダの導入業務等により、医師が診療に専念できざる等、事務負担軽減の効果が確認されている。総合では、医師の増加、外来診療者の拡大に応じて医師事務作業補助者を増やし、医療従事者が診療に専念できるように配置している。診療報酬においては、看護助手等の補助職員の配置により、医療従事者が国家資格所有者でなければできない業務に専念できている。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																							
医師事務補助	31	50	55	66	73	67																																																																																																																							
看護助手	71	88	81	80	74	70																																																																																																																							
コフ・リ補助手	16	18	17	18	18	17																																																																																																																							
小計	118	156	153	164	165	157																																																																																																																							
医師事務補助	1	2	2	2	2	2																																																																																																																							
看護助手	9	10	8	8	9	9																																																																																																																							
コフ・リ補助手	2	2	2	2	2	2																																																																																																																							
小計	12	13	12	12	13	13																																																																																																																							
医師事務補助	18	18	18	18	18	19																																																																																																																							
看護助手	20	19	21	22	21	22																																																																																																																							
コフ・リ補助手	4	4	5	5	5	4																																																																																																																							
小計	42	41	44	45	44	45																																																																																																																							
医師事務補助	30	69	75	88	93	88																																																																																																																							
看護助手	100	117	110	110	104	104																																																																																																																							
コフ・リ補助手	22	24	24	24	25	23																																																																																																																							
小計	172	210	209	221	222	215																																																																																																																							
			69	看護師、コメディカル、事務職員に対する勤務成績評価制度の試行を円滑に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 ・勤務成績評価制度の試行を行うとともに、平成30年4月から県に準拠した人事評価制度を導入することを職員組合と合意した。 ・第2期中期目標期間 (H26～30) ・H26年10月より看護師監督層を対象とした勤務成績評価制度の試行を開始した。看護師監督層 (看護部長、副看護部長、看護部員) 管理層に拡大し、試行した。 ・H27年度は、対象をコメディカル監督層及び事務職員 (異派遣職員) とし、対象を看護師、コメディカル及び事務職員 (プロパー) の副主任以上とし、試行した。 ・H30年4月から県に準拠した人事評価制度の試行を開始予定。 	<p>勤務評価制度の試行については、本館と各病院が連携し、円滑に制度を実施できたところであり、職員のモチベーション向上への寄与が図られたものと考えている。県に準拠した人事評価制度の導入に向け、職員組合と合意した。</p>																																																																																																																							
			70	就労環境の改善に向けた院内施設の充実のための検討を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 総合病院では、医師確保対策を更に推進するため、医師宿舎新設の準備を進めた。また、院内保育所は運営協議会にて、事務局、委託先、利用者間で意見交換を行った。この間の医師センターでは、看護師宿舎の有効活用のため、総合病院看護師の入居希望者受入を開始した。ことども病院院内保育所は、院内保育所建設に向け設計を完了し、静岡市の開発許可を得た。また、入所者を対象にインフルエンザ予防接種を11、12月に実施した。 ・第2期中期目標期間 (H26～30) 総合病院では宿舎の大規模修繕 (H26.27)、新看護師宿舎の建設 (H27) を行い、院内保育所では、土曜日の保育時間延長 (H26.10～) や、入所者へのインフルエンザ予防接種 (H26～) を行った。 また、医師の就労環境の改善のため、医師クラブをH30年度に整備予定である。 ことども病院では、研修医宿舎 (F棟) の改修 (H28) を行い、院内保育所の建設は、平成30年度上半期に建設を着工し、平成30年度末に竣工予定である。 	<p>総合病院の医師宿舎新設建設、ことども病院院内保育所建設に向けての準備を進め、院内施設の充実を図ることが出来た。ことどもでは、資産の有効活用への取り組みを開始した。引き継ぎ、就労環境の向上に取り組んでいく。</p>																																																																																																																							

第1 県民に対して提供するサービスの質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画		29実績 自己評価																																																																																													
中期目標	中期計画	年度計画	業務の実績 (H29・中期期間)																																																																																												
<p>(3) 知識や技術の普及 県内の医療従事者の質の向上を図るため、県立病院が培った知識や技術を積極的に普及させること。また、医療従事者の養成に協力すること。</p>	<p>(3) 知識や技術の普及 医療従事者が他の機関・団体における研修や研究等の活動に参画しやすしい体制を維持するとともに、県内研修等教育研修機能をも、県内の医療従事者へ積極的に開放していく。</p>	<p>知識や技術の普及 ①学会や研修会等へ積極的に参加できる仕組みづくり ②認定看護師等の資格保有者の活用 ③県内の医療従事者への教育研修機能の開放</p>	<p>業務の実績 (H29・中期期間) 運営方針を決定し、H28年度に市と敷地（市街化調整区域）に関する協議を進め、H29年度中の設計、建築を予定している。</p> <p>•H29 •研究研修費を活用し、職員が積極的に学会や研修会等に参加した。 •医師や研修医をはじめとする医療スタッフが研究雑費や研究旅費等の予算化等により国内外の学会や研修会へ参加した。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">(総合) 海外研修の実績 (29年度)</th> <th colspan="2">(単位:人)</th> </tr> <tr> <th>内</th> <th>者</th> <th>人数</th> <th></th> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国外分派研修</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国外分派研修</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国外分派研修</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国外分派研修</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国外分派研修</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国外分派研修</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国外分派研修</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国外分派研修</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国外分派研修</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国外分派研修</td> <td></td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米国内分派研修</td> <td></td> <td>44</td> <td></td> </tr> </table>	(総合) 海外研修の実績 (29年度)		(単位:人)		内	者	人数		米国内分派研修		0		米国外分派研修		1		米国内分派研修		1		米国外分派研修		3		米国内分派研修		4		米国外分派研修		4		米国内分派研修		2		米国外分派研修		2		米国内分派研修		2		米国外分派研修		1		米国内分派研修		1		米国外分派研修		1		米国内分派研修		1		米国外分派研修		2		米国内分派研修		3		米国外分派研修		1		米国内分派研修		1		米国外分派研修		1		米国内分派研修		1		米国外分派研修		15		米国内分派研修		44	
(総合) 海外研修の実績 (29年度)		(単位:人)																																																																																													
内	者	人数																																																																																													
米国内分派研修		0																																																																																													
米国外分派研修		1																																																																																													
米国内分派研修		1																																																																																													
米国外分派研修		3																																																																																													
米国内分派研修		4																																																																																													
米国外分派研修		4																																																																																													
米国内分派研修		2																																																																																													
米国外分派研修		2																																																																																													
米国内分派研修		2																																																																																													
米国外分派研修		1																																																																																													
米国内分派研修		1																																																																																													
米国外分派研修		1																																																																																													
米国内分派研修		1																																																																																													
米国外分派研修		2																																																																																													
米国内分派研修		3																																																																																													
米国外分派研修		1																																																																																													
米国内分派研修		1																																																																																													
米国外分派研修		1																																																																																													
米国内分派研修		1																																																																																													
米国外分派研修		15																																																																																													
米国内分派研修		44																																																																																													
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>	<p>A</p>																																																																																												
		<p>ことども</p>																																																																																													

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績自己評価																																																																																																																							
			73	院内における資格取得を支援し、活用を促進する。	<p>•H29 看護師、コメディカル、事務が業務を実施するうえで、有用な資格等の取得を支援し、職員のリベラルアップを図る。 •第2期中期目標期間 (H26～30)</p> <p>資格等取得助成制度利用者 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>27</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>38</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>19</td> <td>27</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>29</td> <td>37</td> <td>16</td> <td>57</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37</td> <td>54</td> <td>21</td> <td>68</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	看護師	10	10	7	27	8	8	コメディカル	4	13	4	11	12	12	事務	0	1	0	0	0	0	計	14	24	11	38	20	20	看護師	0	0	0	0	0	0	コメディカル	1	0	0	0	0	0	事務	0	0	1	0	0	0	計	1	0	1	0	0	0	看護師	19	27	9	30	3	3	コメディカル	1	3	0	0	0	0	事務	0	0	0	0	1	1	計	20	30	9	30	4	4	看護師	29	37	16	57	11	11	コメディカル	6	16	4	11	12	12	事務	2	1	1	0	1	1	計	37	54	21	68	24	24	<p>29実績自己評価</p> <p>説明</p> <p>A 資格等取得助成制度は、H24年度から開始し、毎年度一定数の利用者があり、資格取得者は増加している。</p>
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																							
看護師	10	10	7	27	8	8																																																																																																																							
コメディカル	4	13	4	11	12	12																																																																																																																							
事務	0	1	0	0	0	0																																																																																																																							
計	14	24	11	38	20	20																																																																																																																							
看護師	0	0	0	0	0	0																																																																																																																							
コメディカル	1	0	0	0	0	0																																																																																																																							
事務	0	0	1	0	0	0																																																																																																																							
計	1	0	1	0	0	0																																																																																																																							
看護師	19	27	9	30	3	3																																																																																																																							
コメディカル	1	3	0	0	0	0																																																																																																																							
事務	0	0	0	0	1	1																																																																																																																							
計	20	30	9	30	4	4																																																																																																																							
看護師	29	37	16	57	11	11																																																																																																																							
コメディカル	6	16	4	11	12	12																																																																																																																							
事務	2	1	1	0	1	1																																																																																																																							
計	37	54	21	68	24	24																																																																																																																							
			74	地域の医療機関等の看護師、保健師への実習研修を継続実施する。	<p>実習研修受入れ実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区</td> <td>304</td> <td>309</td> <td>391</td> <td>434</td> <td>499</td> <td>387</td> </tr> <tr> <td>受入数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	区	304	309	391	434	499	387	受入数							<p>A 看護部が中心となり、院内関係部署の調整・研修プログラムを準備し、増加する実習希望に対し、実習研修を行った。</p>																																																																																																		
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																							
区	304	309	391	434	499	387																																																																																																																							
受入数																																																																																																																													
			75	講演会やセミナーなどを開催する。	<p>公開講演会開催実績 (医療機関向け) (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催件数</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>13</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>公開講演会開催実績 (医療機関向け) (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催件数</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	開催件数	20	26	13	29	27	27	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	開催件数	17	19	23	15	12	17	<p>A- 講演会、症例検討会を定期的に開催した。職員のみなならず院外の医療従事者に対して知識や技術の普及を行っている。</p> <p>A- オープンセミナー、講演会等を定期的に開催するとともに、別室での映像配信やDVDの配付等を行い、会場の収容人数を超える参加希望者に対応した。</p>																																																																																											
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																							
開催件数	20	26	13	29	27	27																																																																																																																							
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																																																																							
開催件数	17	19	23	15	12	17																																																																																																																							
第2 3 医療に関する調査及び研究	第2 3 医療に関する調査及び研究 県内医療水準の向上に寄与するため、病院が有する医療資源の活用、院外への情報発信、他の機関との連携を図りながら、それを円滑に進めるため、診療録の電子化等の医療情報基盤の整備・充実強化に努める。	医療に関する調査及び研究 県内の医療水準の向上に寄与するため、県立病院と外への情報発信、他機関との連携等により調査・研究に取り組む。	-	-	-	-																																																																																																																							

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績 自己評価 説明																																																																																																																																																																																																																																																																		
(1) 研究機能の強化 臨床研究機能の強化に取組むこと。また、富士山麓先端健康産業集積(ファルマバレー)プロジェクトなど、治験や産学官との連携による研究開発に取り組むこと。	(1) 研究機能の強化 生活習慣病や遺伝子診療、脳科学等の臨床研究を行うことのできる環境の整備及び研究支援体制の充実を図る。また、治験や調査研究事業に積極的に参画できるように引き継ぎ体制を整備する。さらに、県立大学等の研究機関との共同研究にも取り組む。	研究機能の強化 ① リサーチサポートセンターの設置による臨床研究を行う環境整備及び研究支援体制の充実 ② 治験や調査研究事業に積極的に参画できる体制の整備 ③ 充実による受託件数の増加 ④ 県立大学等の研究機関との共同研究	76 I 3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 研究員を確保し、円滑な運用を行う。 研究資金となる奨学寄附金を受入れる。 臨床試験管理センターによる臨床研究の支援を行う。 県立大学との共同研究を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> H29 先端医学棟5階に「リサーチサポートセンター」を設置。遺伝子解析、統計解析、病体の収集・保存・解析、県民の疾病分析などを行う体制を整備した。 「リサーチサポートセンター」内に「きこえことばのセンター」(静岡県乳幼児難聴支援センター)を設置。新生児聴覚スクリーニングのデータ収集や難聴児の言語発達研究などを行う体制を整備した。 県立大学薬学部の4つ研究等を循環器病センター6階から先端医学棟5階に移転し、共同研究の体制を強化した。 外部客員研究員の新規受入状況 3名 第2期中期期間(H26～30) 総合病院循環器病センター6階に県立大学薬学部の臨床薬理学教室、臨床薬効解析学教室、医薬品情報解析学教室が設置され、総合病院薬学部との共同研究を行う体制を取っている。 北摂6階に、臨床医学研究センターを設置。 H27年度から、外部客員研究員の受入を開始し、臨床研究のサポートを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究の一部は国内外へ論文発表が出来る。 共同研究の成果が確認できる。 H29年度は外部から客員研究員を新たに3名の受入を行った。「リサーチサポートセンター」と「きこえことばのセンター」の人材と設備を整備し、研究機能の強化を行った。 																																																																																																																																																																																																																																																																		
				<ul style="list-style-type: none"> 研究員を確保し、円滑な運用を行う。 研究資金となる奨学寄附金を受入れる。 臨床試験管理センターによる臨床研究の支援を行う。 県立大学との共同研究を行う。 	<p>副任研究員数 (単位: 件、%)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度(予定)</th> </tr> <tr> <td>研究員数</td> <td>105</td> <td>213</td> <td>233</td> <td>266</td> <td>279</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>支援員数</td> <td>36</td> <td>33</td> <td>46</td> <td>40</td> <td>43</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>支援率</td> <td>18.5</td> <td>24.9</td> <td>19.7</td> <td>17.3</td> <td>15.1</td> <td>15.4</td> </tr> </table> <p>A</p> <p>客員研究員受入状況 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度(予定)</th> </tr> <tr> <td>静岡県立大学</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>外国</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>外国</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>奨学寄附金受入件数・金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>寄附者</th> <th>目的</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">25年度</td> <td>アストロゼカ方欄</td> <td>循環器病棟・8階における研究用PCの購入</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>第一北摂東館5階</td> <td>腎臓病棟(乳癌)における研究用PCの購入</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>アストロゼカ方欄</td> <td>循環器病棟(乳癌)における研究用PCの購入</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>田辺二葉製薬株式会社</td> <td>循環器病棟の日常業務用PCの購入</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>アストロゼカ方欄</td> <td>循環器病棟の日常業務用PCの購入</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>アストロゼカ方欄</td> <td>循環器病棟の日常業務用PCの購入</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>アストロゼカ方欄</td> <td>循環器病棟の日常業務用PCの購入</td> <td>5,800</td> </tr> <tr> <td>藤田製薬株式会社</td> <td>循環器病棟の日常業務用PCの購入</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>アストロゼカ方欄</td> <td>消化器科の管理用PCの購入</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>アストロゼカ方欄</td> <td>消化器科の管理用PCの購入</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">26年度</td> <td>第一北摂東館5階</td> <td>循環器病棟における研究用PCの購入</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>アストロゼカ方欄</td> <td>呼吸器病棟における研究用PCの購入</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">27年度</td> <td>大正赤山医薬品株式会社</td> <td>循環器病棟の日常業務用PCの購入</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>藤田製薬株式会社</td> <td>消化器科の管理用PCの購入</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>藤田製薬株式会社</td> <td>消化器科の管理用PCの購入</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>田辺二葉製薬株式会社</td> <td>循環器病棟の日常業務用PCの購入</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">28年度</td> <td>小野薬品工業株式会社</td> <td>消化器科の管理用PCの購入</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">29年度</td> <td>田辺二葉製薬株式会社</td> <td>循環器病棟の日常業務用PCの購入</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>田辺二葉製薬株式会社</td> <td>循環器病棟の日常業務用PCの購入</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)	研究員数	105	213	233	266	279	279	支援員数	36	33	46	40	43	43	支援率	18.5	24.9	19.7	17.3	15.1	15.4	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)	静岡県立大学	8	7	14	14	14	14	外国	-	-	4	7	9	11	外国	-	-	-	-	-	-	区分	寄附者	目的	金額 (千円)	25年度	アストロゼカ方欄	循環器病棟・8階における研究用PCの購入	100	第一北摂東館5階	腎臓病棟(乳癌)における研究用PCの購入	500	アストロゼカ方欄	循環器病棟(乳癌)における研究用PCの購入	3,000	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200	アストロゼカ方欄	循環器病棟の日常業務用PCの購入	300	アストロゼカ方欄	循環器病棟の日常業務用PCの購入	500	アストロゼカ方欄	循環器病棟の日常業務用PCの購入	5,800	藤田製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	1,900	アストロゼカ方欄	消化器科の管理用PCの購入	200	アストロゼカ方欄	消化器科の管理用PCの購入	200	26年度	第一北摂東館5階	循環器病棟における研究用PCの購入	1,400	アストロゼカ方欄	呼吸器病棟における研究用PCの購入	1,000	27年度	大正赤山医薬品株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	500	藤田製薬株式会社	消化器科の管理用PCの購入	200	藤田製薬株式会社	消化器科の管理用PCの購入	200	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200	28年度	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500	29年度	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200	<p>医薬品受託研究事業費・製剤件数 (単位: 千円、件)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度(予定)</th> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>71,399</td> <td>86,505</td> <td>90,519</td> <td>75,259</td> <td>64,062</td> <td>64,062</td> </tr> <tr> <td>ところ</td> <td>2</td> <td>185</td> <td>1,139</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>製剤額</td> <td>537</td> <td>1,139</td> <td>1,139</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>14</td> <td>22</td> <td>29</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>実績額</td> <td>8,559</td> <td>7,610</td> <td>10,858</td> <td>19,656</td> <td>5,084</td> <td>13,867</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)	総合	71,399	86,505	90,519	75,259	64,062	64,062	ところ	2	185	1,139	0	0	0	製剤額	537	1,139	1,139	0	0	350	件数	14	22	29	26	15	42	実績額	8,559	7,610	10,858	19,656	5,084	13,867	<ul style="list-style-type: none"> 製薬会社等からの依頼を受け、開発に係る治験を行っている。 治験が終了し市販に至った薬品があり、新薬提供の一助となっている。 市販薬の市販後調査を適正に実施し、安心安全な医療に寄与している。 																																																																																																
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)																																																																																																																																																																																																																																																																		
研究員数	105	213	233	266	279	279																																																																																																																																																																																																																																																																		
支援員数	36	33	46	40	43	43																																																																																																																																																																																																																																																																		
支援率	18.5	24.9	19.7	17.3	15.1	15.4																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)																																																																																																																																																																																																																																																																		
静岡県立大学	8	7	14	14	14	14																																																																																																																																																																																																																																																																		
外国	-	-	4	7	9	11																																																																																																																																																																																																																																																																		
外国	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	寄附者	目的	金額 (千円)																																																																																																																																																																																																																																																																					
25年度	アストロゼカ方欄	循環器病棟・8階における研究用PCの購入	100																																																																																																																																																																																																																																																																					
	第一北摂東館5階	腎臓病棟(乳癌)における研究用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	循環器病棟(乳癌)における研究用PCの購入	3,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	循環器病棟の日常業務用PCの購入	300																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	循環器病棟の日常業務用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	循環器病棟の日常業務用PCの購入	5,800																																																																																																																																																																																																																																																																					
	藤田製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	1,900																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	消化器科の管理用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	消化器科の管理用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
26年度	第一北摂東館5階	循環器病棟における研究用PCの購入	1,400																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	呼吸器病棟における研究用PCの購入	1,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	呼吸器病棟における研究用PCの購入	1,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	呼吸器病棟における研究用PCの購入	1,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	呼吸器病棟における研究用PCの購入	1,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	呼吸器病棟における研究用PCの購入	1,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	呼吸器病棟における研究用PCの購入	1,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	呼吸器病棟における研究用PCの購入	1,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	呼吸器病棟における研究用PCの購入	1,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
	アストロゼカ方欄	呼吸器病棟における研究用PCの購入	1,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
27年度	大正赤山医薬品株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	藤田製薬株式会社	消化器科の管理用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	藤田製薬株式会社	消化器科の管理用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
28年度	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
	小野薬品工業株式会社	消化器科の管理用PCの購入	500																																																																																																																																																																																																																																																																					
29年度	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
	田辺二葉製薬株式会社	循環器病棟の日常業務用PCの購入	200																																																																																																																																																																																																																																																																					
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(予定)																																																																																																																																																																																																																																																																		
総合	71,399	86,505	90,519	75,259	64,062	64,062																																																																																																																																																																																																																																																																		
ところ	2	185	1,139	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																		
製剤額	537	1,139	1,139	0	0	350																																																																																																																																																																																																																																																																		
件数	14	22	29	26	15	42																																																																																																																																																																																																																																																																		
実績額	8,559	7,610	10,858	19,656	5,084	13,867																																																																																																																																																																																																																																																																		

第1 県民に対して提供するサービスの他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																					
(2) 診療等の情報の活用 診療等を通して得られる情報を、県立病院で提供すること、の向上のために活用すること、に、他の医療機関へ情報提供すること。	(2) 診療等の情報の活用 診療等の充実を図るなど、エビデンスを収集し、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用し医療の質の向上を図る。また、学会、講習会、研究会等へ情報発信しやすい体制を整備する。	I 3 (2)	78	診療等の情報の活用 ① 診療情報を分析 ② 収支実績を部門別に随時把握できるシステムの利用	<p>・ H29 ・ 9月までにDPC部会兼コード検討委員会を2回開催し、年度内に合計で4回開催する予定。 ・ 3月からDPC分析ソフトを変更しベンチマークデータの活用を行えるよう環境整備を行った。</p> <p>・ 第2期中期目標期間 (H26～30) ・ DPC分析ソフトを用いて、特定の症例について分析を行い、分析結果をもとに薬物の積極的な処方を行った結果、後発品使用率が86.6% (H27年度) から92.3% (H28年度)、90.4% (H29年度) となった。 ・ アナライザー、ダッシュボードを用いて、後発医薬品の使用率の算出を実現した。</p> <table border="1"> <caption>DPC部会兼コード検討委員会開催実績 (単位:回、人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>出席者数</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>17</td> <td>32</td> <td>55</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	開催回数	2	2	2	2	4	6	出席者数	22	26	17	32	55	55	<p>・ 3月までのDPC運営部会は2回開催、コードディング委員会は4回開催した。 ・ 病名のICD10-2013年度版への切り替えなど、適切なコードディングとなるよう検討を行った。</p> <p>・ H30年からのDPCデータの調査項目の変更に伴い、運用を議論し、医師へ周知を行った。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																					
開催回数	2	2	2	2	4	6																					
出席者数	22	26	17	32	55	55																					
			79	DPCの診療情報を分析し、診療へフィードバックを行う。また、職員の分析にかかるとるスキルアップに努める。	<p>・ DPCデータの分析結果を診療へ活かすとともに適切なコードディングを周知するため、DPC部会兼コード検討委員会を開催した。</p> <table border="1"> <caption>DPC部会兼コード検討委員会開催実績 (単位:回、人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>出席者数</td> <td>37</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	開催回数	2	2	2	4	4	4	出席者数	37	19	23	54	53	53	<p>部会兼委員会の委員を各部門の職員から構成し、必要な情報を各診療へフィードバックすることにより、診療情報の管理体制を整えた。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																					
開催回数	2	2	2	4	4	4																					
出席者数	37	19	23	54	53	53																					
			80	公立病院としての説明責任・透明性の確保に努める。(不採算疾患例の明示、原価計算) 部門別・診療科別原価計算に取り組む。	<p>H28年1月に原価計算システムを導入し、システム事業者との設定調整を行っており、本格稼働に向けて調整中。運用開始後は、DPCデータや財務会計システムを用いて診療科別、部門別の原価計算を行う予定である。</p>	<p>原価計算システムの導入に向けて調整中。</p>																					
				診療科別に経年変化を明らかにする原価計算に取り組む。	<p>H26年度に導入検討を始め、H27年度には原価計算システムを導入、配賦基準等を定め、H28年度から本格的な運用を開始した。運用開始後は、DPCや財務会計のデータを用いて原価計算を行っている。</p>	<p>原価計算システムの導入により、診療科別の損益を計算することが可能となった。</p>																					

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期計画	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績自己評価																																																																										
(3) 県民への情報提供の充実 公開講座や医療相談などを通じて調査及び研究の成果を県民へ情報発信し、県民の健康意識の高揚に努めること。	(3) 県民への情報提供の充実 定期的に公開講座、医療相談会等を開催するとともに、ホームページ等で健康管理・増進などに関する情報を提供すること、様々な方法で県民への情報提供を進める。	I 3 (3)	81	県民向け、医療機関向けの公開講座等を開催する。	<p>各病院、特色を活かした公開講座等を企画、開催した。</p> <table border="1"> <tr> <th>病院</th> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>県民向け</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>494</td> <td>418</td> <td>662</td> <td>495</td> <td>712</td> <td>712</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>1,055</td> <td>626</td> <td>755</td> <td>1,705</td> <td>1,691</td> <td>1,691</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>県民向け</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>367</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">子ども</td> <td>県民向け</td> <td>62</td> <td>131</td> <td>124</td> <td>116</td> <td>141</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>738</td> <td>1,111</td> <td>1,228</td> <td>906</td> <td>825</td> <td>523</td> </tr> </table>	病院	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	総合	県民向け	6	6	6	4	4	10	医療機関	494	418	662	495	712	712	参加者	1,055	626	755	1,705	1,691	1,691	こころ	県民向け	3	1	1	2	2	3	医療機関	367	15	3	6	8	8	参加者	0	4	2	3	5	3	子ども	県民向け	62	131	124	116	141	144	医療機関	17	19	23	15	12	12	参加者	738	1,111	1,228	906	825	523	<p>29実績自己評価</p> <p>公開講座を通じて、県民・県内医療機関に対して、最新医療に関する情報提供を行うことができた。また、同時に、機構の取組みについてもPRすることができた。</p>
病院	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																									
総合	県民向け	6	6	6	4	4	10																																																																									
	医療機関	494	418	662	495	712	712																																																																									
	参加者	1,055	626	755	1,705	1,691	1,691																																																																									
こころ	県民向け	3	1	1	2	2	3																																																																									
	医療機関	367	15	3	6	8	8																																																																									
	参加者	0	4	2	3	5	3																																																																									
子ども	県民向け	62	131	124	116	141	144																																																																									
	医療機関	17	19	23	15	12	12																																																																									
	参加者	738	1,111	1,228	906	825	523																																																																									
			82	県民向けイベントへの開催や参加に努める。	<p>・H29 静岡県立総合病院の機能、設備、職員の姿を知ってもらうことにより、県民に開かれた病院であることを示しながら、本院の存在意義をより理解してもらうことを目的として、県民向け病院開放イベント「オープンホスピタル」を開催した。 H29年8月5日 来場者約1,400名 ・県民の日に合わせ、「県民の日講演会」を8/20に開催した。 ・第2期中期目標期間(H26～30)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">オープンホスピタル来場者数 (単位:人)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>900</td> <td>—</td> <td>1,000</td> <td>1,200</td> <td>1,400</td> <td>1,500</td> </tr> </table> <p>(株)静岡新聞社、静岡放送(株)が主催の「子どもみらいプロジェクト秋まつり inツインメッセ」に2日間参加し、健康相談及び子ども用の医師・ナース服の着用体験のブースを出展した。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">子どもみらいプロジェクト来場者数 (単位:組、人)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>健康相談</td> <td>28</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>写真撮影</td> <td>1,052</td> <td>873</td> <td>859</td> <td>1,288</td> <td>957</td> <td>957</td> </tr> </table>	オープンホスピタル来場者数 (単位:人)						区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	来場者数	900	—	1,000	1,200	1,400	1,500	子どもみらいプロジェクト来場者数 (単位:組、人)						区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	健康相談	28	6	10	17	22	22	写真撮影	1,052	873	859	1,288	957	957	<p>H29年度のオープンホスピタルの来場者数は約1,400人を記録し、過去最高となった。これは、当院HPなどで行った広報活動やイベント内容を充実させた効果と考えている。多くの来場者に当院をPRすることができ、好評を得た。</p>																											
オープンホスピタル来場者数 (単位:人)																																																																																
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																										
来場者数	900	—	1,000	1,200	1,400	1,500																																																																										
子どもみらいプロジェクト来場者数 (単位:組、人)																																																																																
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																										
健康相談	28	6	10	17	22	22																																																																										
写真撮影	1,052	873	859	1,288	957	957																																																																										
			83	県民及び他の医療機関従事者に、県立病院機構の提供する医療情報等を積極的に提供するため、機構ホームページを適時、的確に更新する。	<p>・H29 機構全体のトピックスなどメインとなるページの見直しや、先端医学種についての最新情報を適時更新するなど、積極的に情報発信を行った。</p> <p>・第2期中期目標期間(H26～30) 各病院の医療情報やトピックス、入札情報や採用情報等を適時更新するなど、ホームページの活用を図った。 H27年1月には、機構及び3病院のホームページをリニューアルした結果アクセス数も伸び、機構のホームページにつながった。(H28からの実績は、アクセス数を管理するサイトの仕様変更があった。)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">セクション別アクセス件数 (単位:件)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>291,998</td> <td>316,047</td> <td>271,467</td> <td>214,412</td> <td>218,456</td> <td>222,600</td> </tr> <tr> <td>総合病院</td> <td>1,852,416</td> <td>1,742,978</td> <td>1,936,318</td> <td>1,964,780</td> <td>2,017,729</td> <td>2,183,300</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>275,237</td> <td>285,800</td> <td>279,516</td> <td>269,084</td> <td>275,298</td> <td>281,700</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>1,618,204</td> <td>1,510,609</td> <td>1,519,362</td> <td>1,452,729</td> <td>1,531,263</td> <td>1,656,500</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,067,844</td> <td>3,855,434</td> <td>4,005,690</td> <td>3,801,003</td> <td>4,062,725</td> <td>4,343,900</td> </tr> </table>	セクション別アクセス件数 (単位:件)						区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	本部	291,998	316,047	271,467	214,412	218,456	222,600	総合病院	1,852,416	1,742,978	1,936,318	1,964,780	2,017,729	2,183,300	こころ	275,237	285,800	279,516	269,084	275,298	281,700	子ども	1,618,204	1,510,609	1,519,362	1,452,729	1,531,263	1,656,500	合計	3,067,844	3,855,434	4,005,690	3,801,003	4,062,725	4,343,900	<p>先端医療種の最新情報やトピックスの更新など、積極的にホームページの活用を図ることが出来た。その結果アクセス数も増加している一方で、引き続き積極的な情報発信に努める。</p>																										
セクション別アクセス件数 (単位:件)																																																																																
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																										
本部	291,998	316,047	271,467	214,412	218,456	222,600																																																																										
総合病院	1,852,416	1,742,978	1,936,318	1,964,780	2,017,729	2,183,300																																																																										
こころ	275,237	285,800	279,516	269,084	275,298	281,700																																																																										
子ども	1,618,204	1,510,609	1,519,362	1,452,729	1,531,263	1,656,500																																																																										
合計	3,067,844	3,855,434	4,005,690	3,801,003	4,062,725	4,343,900																																																																										

中期計画	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																														
			84	<p>県民に病院の運営にかかるとの情報発信の推進を図る。</p> <p>県民に病院の運営にかかるとの情報発信の推進を図るため、報道機関向けの情報発信の推進を図る。</p>	<p>最先端医療への取組や各病院で開催する県民向けの公開講座、各種イベントなどについて、積極的に情報提供を行い、情報発信の推進を図った。</p> <p>H28年度から各病院でのプレスリリース実績を共有ファイルで管理するようにし、各病院の実績の把握及び機構全体での情報共有を図った。</p> <table border="1" data-bbox="351 492 478 672"> <thead> <tr> <th colspan="2">記者情報提供件数 (単位: 件)</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制限件数</td> <td>46</td> <td>40</td> <td>41</td> <td>48</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>掲載件数</td> <td>27</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	記者情報提供件数 (単位: 件)		区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	制限件数	46	40	41	48	47	47	掲載件数	27	25	27	31	35	35	<p>県政記者クラブへの情報提供について、各病院の実績を共有ファイル管理するとともに標準化を行い、記者提供が正確に行われるようになっている。提供件数は高い水準を保っており、情報提供についての意識向上に繋がっている。</p>							
記者情報提供件数 (単位: 件)																																				
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																														
制限件数	46	40	41	48	47	47																														
掲載件数	27	25	27	31	35	35																														
<p>第2</p> <p>4 医療に関する地域への支援</p> <p>本県の地域医療の確保のため、県立病院がその支援に大きな役割を果たし、信頼され、必要とされる病院となるよう努めること。</p>	<p>第2</p> <p>4 医療に関する地域への支援</p> <p>地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、県立病院が有する医療資源を積極的に活用するなど、積極的な支援を進める。</p>	<p>I</p> <p>4</p>	-	-	-	-																														
<p>(1) 本県の医師確保対策における役割</p> <p>県立病院として、より多くの医師を確保し、医師不足の公的医療機関への派遣を行うこと。また、県との協働により、本県の医師確保対策に取り組むこと。</p>	<p>(1) 本県の医師確保対策への取組</p> <p>県との協働による本県の医師確保対策に取り組むとともに、県立病院の医師の増員及び育成を図り、地域医療を支える県内医療機関への医師派遣の充実に取り組む。</p>	<p>I</p> <p>4</p> <p>(1)</p>	-	<p>本県の医師確保対策への取組</p> <p>① 県の医師派遣事業への協力</p> <p>② 県の医師派遣事業に必要な医師の見直し</p> <p>③ 「ふじのくに地域医療支援センター」機能の一部である医師就労等相談窓口業務などを受託・運営</p> <p>④ 新専門医認定制度への対応</p>	<p>・H29</p> <p>富士宮市立、静岡厚生病院、静岡市立清水病院、佐久間病院、JA厚生連清水厚生病院、志太藤原地域救急医療センター、桜ヶ丘病院に医師を派遣した。また、県の実績に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣した。</p> <table border="1" data-bbox="670 940 798 1120"> <thead> <tr> <th colspan="2">医師派遣数 (単位: 人)</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師確保</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>延人員数</td> <td>616</td> <td>701</td> <td>775</td> <td>570</td> <td>577</td> <td>577</td> </tr> </tbody> </table> <p>・H29</p> <p>静岡市立静岡病院、静岡済生会総合病院、焼津市立総合病院、橋本市立総合病院、島田市民病院、富士宮市立病院に医師を派遣した。また、県の実績に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣した。</p>	医師派遣数 (単位: 人)		区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	医師確保	10	11	10	9	8	8	診療科	11	12	9	6	9	9	延人員数	616	701	775	570	577	577	<p>県内公的病院7病院に医師を派遣し、県内各地の地域医療を支援した。また、公的病院だけでなく、県の要請に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣し、地域貢献を果たした。</p>
医師派遣数 (単位: 人)																																				
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																														
医師確保	10	11	10	9	8	8																														
診療科	11	12	9	6	9	9																														
延人員数	616	701	775	570	577	577																														
		<p>総 合</p>	-	<p>地域医療支援病院としての使命を果たすため、医師不足が顕著な公的病院に医師を派遣する。</p>	<p>・H29</p> <p>静岡市立静岡病院、静岡済生会総合病院、焼津市立総合病院、橋本市立総合病院、島田市民病院、富士宮市立病院に医師を派遣した。また、県の実績に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣した。</p> <table border="1" data-bbox="829 1164 957 1344"> <thead> <tr> <th colspan="2">医師派遣数 (公的病院等) (単位: 機関、科、人)</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関等</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延人員数</td> <td>602</td> <td>662</td> <td>958</td> <td>1078</td> <td>808</td> <td>832</td> </tr> </tbody> </table> <p>こ とも</p>	医師派遣数 (公的病院等) (単位: 機関、科、人)		区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	医療機関等	6	4	7	6	7	6	診療科	2	1	2	2	2	2	延人員数	602	662	958	1078	808	832	<p>県内公的病院6病院に医師を派遣し、県内各地の地域医療を支援した。また、公的病院だけでなく、県の実績に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣し、地域貢献を果たした。</p>
医師派遣数 (公的病院等) (単位: 機関、科、人)																																				
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																														
医療機関等	6	4	7	6	7	6																														
診療科	2	1	2	2	2	2																														
延人員数	602	662	958	1078	808	832																														

第1 県民に対して提供するサービスの他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																																																	
			86	小児1次救急医療への応援を行う。 こと	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 静岡市急病センター、志太椋原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣した。 ・ 第2期中期目標期間 (H26～30) 期間中、2つの急病センターへの医師派遣を行った。 <table border="1"> <caption>医師派遣実績 (急病センター) (単位: 科、人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延人員数</td> <td>304</td> <td>313</td> <td>292</td> <td>295</td> <td>294</td> <td>299</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	医療機関	2	2	2	2	2	2	診療科	2	2	2	2	2	2	延人員数	304	313	292	295	294	299	<p>静岡市急病センター、志太椋原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣した。</p> <p>A</p>																					
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																	
医療機関	2	2	2	2	2	2																																																	
診療科	2	2	2	2	2	2																																																	
延人員数	304	313	292	295	294	299																																																	
			87	総合 ・ 各科医師定数を見直しする。 ・ 静岡県の地域医療を支援していくために必要な医師数の検討を進める。	<table border="1"> <caption>医師増員数 (単位: 人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H25.4.1</th> <th>H26.4.1</th> <th>H27.4.1</th> <th>H28.4.1</th> <th>H29.4.1</th> <th>H30.4.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正規</td> <td>117</td> <td>123</td> <td>130</td> <td>139</td> <td>152</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>有期</td> <td>106</td> <td>108</td> <td>117</td> <td>111</td> <td>111</td> <td>109</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>医師派遣実績 (単位: 機関、科、人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>延人員数</td> <td>616</td> <td>701</td> <td>775</td> <td>570</td> <td>571</td> <td>571</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	正規	117	123	130	139	152	165	有期	106	108	117	111	111	109	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	医療機関	0	11	10	9	8	8	診療科	11	12	9	8	9	9	延人員数	616	701	775	570	571	571	<p>着実に医師を確保できている。県内公的病院7病院に医師を派遣し、県内各地の地域医療を支援した。</p> <p>また、公的病院だけでなく、県の要請に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣し、地域貢献を果たした。</p> <p>診療科によっては不足もあり、さらに充実させる必要がある。</p> <p>A</p>
区分	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1																																																	
正規	117	123	130	139	152	165																																																	
有期	106	108	117	111	111	109																																																	
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																	
医療機関	0	11	10	9	8	8																																																	
診療科	11	12	9	8	9	9																																																	
延人員数	616	701	775	570	571	571																																																	
			88	総合 ・ ふじのくに地域医療支援センター機能の一部である業務を受託、運営する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 『ふじのくに地域医療支援センター』の機能の一部業務である「県内での勤務を希望する医師および研修医の就業・キャリア形成等の相談」、「静岡県医学修学研修資金貸与者の勤務先病院の決定支援」や「女性医師支援」などの業務を受託し、県内医師確保のための役割の一部を担っている。 ・ 第2期中期期間 (H26～30) 主な業務である静岡県医学修学研修資金貸与者の配置調整においては、H25年の受託開始からこれまで、当機構が配置調整を担当する医師数は着実に増加しており、うち県内に勤務を開始する医師数も年々増加している。 <table border="1"> <caption>配置調整医師及び県内勤務開始者数 (借費相当) (単位: 名)</caption> <thead> <tr> <th>勤務開始年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置調整医師数</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>34</td> <td>64</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>うち県内勤務医師数</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>22</td> <td>41</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table> <p>※配置調整は各前年度となる。</p>	勤務開始年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	配置調整医師数	6	12	14	34	64	63	うち県内勤務医師数	4	6	10	22	41	39	<p>業務を受託し、県の医師確保施策に寄与できよう努めた。</p> <p>A</p>																												
勤務開始年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																	
配置調整医師数	6	12	14	34	64	63																																																	
うち県内勤務医師数	4	6	10	22	41	39																																																	

第1 県民に対して提供するサービスの質の向上に関する目標を達成するためのべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績自己評価	説明																																								
(2) 地域医療への支援 高度医療機器の共同利用の促進、他の医療機関等との医療情報ネットワーク化など、地域医療との連携を進め、地域医療の確保を行うこと。	(2) 地域医療への支援 情報通信技術を活用した医療連携や遠隔診断のネットワーク化を進める。また、高度医療機器などの共同利用など、県立病院の施設や設備について地域への開放を進める。	I 4 (2)	89	地域医療への支援 ①PETイメージング・センタール、CT、MRI等の共同利用の推進 ②IT技術を活用した地域医療機関等との連携及び支援	<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H29 ・ プログラムの作成を7領域において、「日本専門医機構」の審査を受け、合格した。 ・ H30年度より開始する新専門医制度に向けて、全診療科の状況把握を行った。 ・ H28に引き続き、研修医向けプログラム説明を行い、専攻医確保に努めた。 ・ ホームページの広報など、積極的に募集を行っている。 <p>ことろ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H29 H30年度より開始する新専門医制度に向けて、プログラムを作成した。 精神科領域のプログラムについては、10月6日付で2審査に合格した。 ・ 第2期中期目標期間(H26～30)プログラム作成について、2次審査に合格した。 	<p>B</p> <p>A</p>	<p>プログラムを作成を7領域において、全領域において審査を受けた。給与体系の見直しや医師待遇などの受入れ体制を整え、専攻医を募集したが、応募は少なかつた。今後は新専門医制度の動向に注視する。</p> <p>H30年度より開始する新専門医制度に向けプログラムを作成する等、専攻医を受け入れる体制を整備した。</p> <p>新制度による研修受入体制は整備しているが、平成29年度は定員8名のところ、3名の内定に留まった。</p>																																								
			90	地域の医療機関や健診センターへの啓発活動を継続し、PET共同利用率の向上を図る。	<p>総合</p> <p>PETイメージングセンター共同利用 (単位:件、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>4,121</td> <td>4,211</td> <td>4,276</td> <td>4,235</td> <td>3,733</td> <td>3,753</td> <td>3,753</td> </tr> <tr> <td>共同利用率</td> <td>1,635</td> <td>1,673</td> <td>1,623</td> <td>1,429</td> <td>965</td> <td>905</td> <td>905</td> </tr> <tr> <td>共同利用率</td> <td>40</td> <td>39.7</td> <td>38.5</td> <td>33.7</td> <td>24.1</td> <td>24.1</td> <td>24.1</td> </tr> <tr> <td>健診件数</td> <td>10</td> <td>155</td> <td>155</td> <td>168</td> <td>139</td> <td>139</td> <td>139</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	件数	4,121	4,211	4,276	4,235	3,733	3,753	3,753	共同利用率	1,635	1,673	1,623	1,429	965	905	905	共同利用率	40	39.7	38.5	33.7	24.1	24.1	24.1	健診件数	10	155	155	168	139	139	139	<p>A-</p>	<p>静岡県立病院がPETを独自整備したことにより、共同利用率は減少している。新たな連携先の拡大に努めている。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																								
件数	4,121	4,211	4,276	4,235	3,733	3,753	3,753																																								
共同利用率	1,635	1,673	1,623	1,429	965	905	905																																								
共同利用率	40	39.7	38.5	33.7	24.1	24.1	24.1																																								
健診件数	10	155	155	168	139	139	139																																								
			91	地域の医療機関向けにCT・MRIの地域支援検査枠を増設し、共同利用件数の向上を図る。	<p>総合</p> <p>H22年度から従来の紹介・逆紹介の方法に加えて、撮影のみ総合病院で行う共同利用方法をスタートさせている。</p> <p>CT、MRI共同利用 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>833</td> <td>762</td> <td>815</td> <td>919</td> <td>847</td> <td>847</td> <td>847</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>626</td> <td>591</td> <td>645</td> <td>621</td> <td>543</td> <td>543</td> <td>543</td> </tr> <tr> <td>CT(撮影のみ)</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>MRI(撮影のみ)</td> <td>107</td> <td>133</td> <td>122</td> <td>129</td> <td>131</td> <td>131</td> <td>131</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	CT	833	762	815	919	847	847	847	MRI	626	591	645	621	543	543	543	CT(撮影のみ)	8	7	1	6	2	2	2	MRI(撮影のみ)	107	133	122	129	131	131	131	<p>A-</p>	<p>H29年度の共同利用件数はCT、MRI共にH28年度より若干減少しているが、高度医療機器の共同利用は順調に行われている。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																								
CT	833	762	815	919	847	847	847																																								
MRI	626	591	645	621	543	543	543																																								
CT(撮影のみ)	8	7	1	6	2	2	2																																								
MRI(撮影のみ)	107	133	122	129	131	131	131																																								

第1 県民に対して提供するサービスの他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価	説明																																			
(3) 社会的な要請への協力 県立病院が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的に協力すること。	(3) 社会的な要請への協力 公的機関からの医療に係る鑑定や調査、講師派遣等の社会的な要請に対し、引き続き柔軟に対応していく。	I 4 (3)	92	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくにねつとを活用し、地域の病院・診療所・調剤薬局・訪問看護ステーションとの連携を強化する。 ・ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル協議会の運営を維持する。 	<p>「ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル」について、情報発信の拠点施設である各中核病院、自治体病院、診療所・医師会等とともに「ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル協議会」を運営し、複数医療機関相互の診療情報共有のため広域ネットワーク基盤を構築して運用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期中期期間 (H26～30) ・H27年度末の理事会において利用料規定を決定し、ネットワークシステムの運営経費の適正な負担を図った。 ・H28 ・地域医療連携推進事業費補助金を活用し、データセンター及び県立総合病院連携センターの更新を行った。また、静岡県立子ども病院、静岡県立こころの医療センター、医療法人社団アール・アンド・オーにてシステム整備を行った。 ・H29 ・地域医療連携推進事業費補助金を活用し、藤枝市立総合病院のシステム更新を実施した。 	A	ネットワークへの参加施設は順調に拡大を続けている。補助金を活用し、藤枝市立総合病院のシステム更新を実施した。																																			
			93	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・小児医療ネットワークを通じて、浜松医科大学との合同カンファレンスやマラメリア国立循環器病センターとの接続試験を兼ねた症例検討会を定期的に実施している。 ・他医療機関と連携し、心エコー画像遠隔診断を実施している。 <table border="1"> <caption>心エコー画像遠隔診断実績 (単位：件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心エコー</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>遠隔診断</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	心エコー	4	4	4	4	4	4	遠隔診断	15	9	7	5	7	9	A	国内外の医療機関と連携し、映像情報を通じてカンファレンスや診断を継続的に実施した。														
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																				
心エコー	4	4	4	4	4	4																																				
遠隔診断	15	9	7	5	7	9																																				
			94	総合	<p>院内外の研修会等を定期的に開催し、地域の医療機関へ情報提供する。</p> <table border="1"> <caption>拡大キャンサーボード実績</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>3回</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>院内</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1回</td> <td>6回</td> <td>13回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>院外</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2回</td> <td>17回</td> <td>13回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>参加数</td> <td>237</td> <td>225</td> <td>222</td> <td>332</td> <td>281</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	医師	3回	5回	5回	5回	6回	6回	院内	-	-	1回	6回	13回	10回	院外	-	-	2回	17回	13回	13回	参加数	237	225	222	332	281	200	A	地域の医療従事者も参加できるカンファレンス等(拡大キャンサーボード)を定期的に開催し、地域医療機関等との情報共有の場として積極的な意見交換を行った。
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																				
医師	3回	5回	5回	5回	6回	6回																																				
院内	-	-	1回	6回	13回	10回																																				
院外	-	-	2回	17回	13回	13回																																				
参加数	237	225	222	332	281	200																																				
			95	総合	<p>他団体の講師派遣依頼に協力する。</p> <table border="1"> <caption>講師派遣実績 (単位：件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>68</td> <td>73</td> <td>58</td> <td>62</td> <td>51</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>62</td> <td>72</td> <td>36</td> <td>4</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>130</td> <td>145</td> <td>94</td> <td>66</td> <td>82</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	医師	68	73	58	62	51	51	その他	62	72	36	4	31	31	計	130	145	94	66	82	82	A	他団体等が主催する講演会の講師として医師や認定看護師を派遣する等、積極的な地域支援を行った。							
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																				
医師	68	73	58	62	51	51																																				
その他	62	72	36	4	31	31																																				
計	130	145	94	66	82	82																																				

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績 (H29・中期期間)	29実績 自己評価																																																																						
			96	他団体等が主催する講習会、研究会、学会への講師派遣を推進する。	<table border="1"> <caption>院内講師派遣状況(医師) (単位:回)</caption> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> <tr> <td>系連回教</td> <td>17</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> </table> <table border="1"> <caption>院外講師派遣状況(看護師) (単位:回)</caption> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> <tr> <td>系連回教</td> <td>34</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	系連回教	17	25	30	18	18	18	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	系連回教	34	30	22	32	28	28	A																																										
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																						
系連回教	17	25	30	18	18	18																																																																						
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																						
系連回教	34	30	22	32	28	28																																																																						
			97	医療にかかると鑑定の要請への協力的に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 鑑定などへの対応 ・医療観察法の鑑定医として協力 CRT(静岡県) 支援員登録者1人 ・第2期中期目標期間(H26~30) 医療観察法による鑑定受入登録 <table border="1"> <caption>医療観察法による鑑定受入登録 (単位:件)</caption> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	こころ	6	10	7	9	12	12	A																																																								
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																						
こころ	6	10	7	9	12	12																																																																						
			98	特別支援学校や児童相談所など教育機関や福祉機関との連携を強化する。また、講座や相談会などを継続的に開催する。	<table border="1"> <caption>特別支援学校等支援員派遣状況</caption> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>児童相談所</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>福祉機関</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	特別支援学校	1	1	1	1	1	1	児童相談所	1	1	1	1	1	1	福祉機関	1	1	1	1	1	1	その他	1	1	1	1	1	1	合計	4	4	4	4	4	4	A																												
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																						
特別支援学校	1	1	1	1	1	1																																																																						
児童相談所	1	1	1	1	1	1																																																																						
福祉機関	1	1	1	1	1	1																																																																						
その他	1	1	1	1	1	1																																																																						
合計	4	4	4	4	4	4																																																																						
			99	小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	<table border="1"> <caption>公費負担患者状況 (単位:人)</caption> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> <tr> <td>小児慢性</td> <td>1,624</td> <td>2,158</td> <td>1,901</td> <td>1,891</td> <td>1,842</td> <td>1,883</td> </tr> <tr> <td>育成医療</td> <td>831</td> <td>657</td> <td>721</td> <td>722</td> <td>471</td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>養育医療</td> <td>224</td> <td>179</td> <td>258</td> <td>240</td> <td>164</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td>特定疾患</td> <td>128</td> <td>134</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>特定保健</td> <td>-</td> <td>33</td> <td>157</td> <td>138</td> <td>115</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>生活保護</td> <td>135</td> <td>100</td> <td>172</td> <td>181</td> <td>176</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>精神医療</td> <td>110</td> <td>117</td> <td>96</td> <td>102</td> <td>83</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>123</td> <td>112</td> <td>97</td> <td>111</td> <td>119</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,172</td> <td>3,490</td> <td>3,409</td> <td>3,391</td> <td>2,975</td> <td>3,286</td> </tr> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	小児慢性	1,624	2,158	1,901	1,891	1,842	1,883	育成医療	831	657	721	722	471	650	養育医療	224	179	258	240	164	213	特定疾患	128	134	7	6	5	6	特定保健	-	33	157	138	115	137	生活保護	135	100	172	181	176	153	精神医療	110	117	96	102	83	102	その他	123	112	97	111	119	112	計	3,172	3,490	3,409	3,391	2,975	3,286	A
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																						
小児慢性	1,624	2,158	1,901	1,891	1,842	1,883																																																																						
育成医療	831	657	721	722	471	650																																																																						
養育医療	224	179	258	240	164	213																																																																						
特定疾患	128	134	7	6	5	6																																																																						
特定保健	-	33	157	138	115	137																																																																						
生活保護	135	100	172	181	176	153																																																																						
精神医療	110	117	96	102	83	102																																																																						
その他	123	112	97	111	119	112																																																																						
計	3,172	3,490	3,409	3,391	2,975	3,286																																																																						

中期計画

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績（H29・中期期間）	29実績 自己評価 説明																										
<p>(2)他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、災害医療チームを派遣するなど、積極的に医療救護に協力すること。</p>	<p>(2)他県等の医療救護への協力 災害時医療救護派遣マニュアルに基づき、速やかに医療チームを派遣できるように定期的な要員訓練やマニュアルの点検を行う。</p>	<p>I 5 (2)</p> <p>他県等の医療救護への協力 ・災害発生初期におけるDMAT（災害派遣医療チーム）・DPAT（災害派遣精神医療チーム）の派遣及び県からの要請に基づき支援等の実施</p>	<p>103</p>	<p>災害医療救護広域班の訓練を実施する。</p> <p>総合</p>	<p>・ H29 災害医療救護広域班の訓練を実施した。</p> <p>H29実績</p> <table border="1" data-bbox="304 488 395 943"> <tr><td>H29.1.13</td><td>他県派遣し、情報伝達訓練に参加（医療救護広域班合同訓練）</td></tr> <tr><td>H29.1.29</td><td>入道院野山地区災害時訓練（災害訓練）においてDMATチーム1人参加した。</td></tr> <tr><td>H29.3.31</td><td>長瀬別荘災害訓練（本庄演習訓練）にDMATチーム1人が参加した。</td></tr> <tr><td>H29.3.3</td><td>熊・浦里地区合同災害訓練（合同訓練）にDMATチーム1人が参加した。</td></tr> <tr><td>H29.1.1</td><td>他県派遣チーム2人、2地区、4県地区、4県地区、4県地区に派遣した。</td></tr> <tr><td>H29.2.8</td><td>同県災害時訓練においてDMAT訓練員1名が参加した。</td></tr> </table> <p>DMAT訓練回数 (単位:回)</p> <table border="1" data-bbox="427 510 491 931"> <tr><td>区分</td><td>25年度</td><td>26年度</td><td>27年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td></tr> <tr><td>訓練</td><td>1</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	H29.1.13	他県派遣し、情報伝達訓練に参加（医療救護広域班合同訓練）	H29.1.29	入道院野山地区災害時訓練（災害訓練）においてDMATチーム1人参加した。	H29.3.31	長瀬別荘災害訓練（本庄演習訓練）にDMATチーム1人が参加した。	H29.3.3	熊・浦里地区合同災害訓練（合同訓練）にDMATチーム1人が参加した。	H29.1.1	他県派遣チーム2人、2地区、4県地区、4県地区、4県地区に派遣した。	H29.2.8	同県災害時訓練においてDMAT訓練員1名が参加した。	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	訓練	1	7	0	0	0	0	<p>チーム内で適切に情報を伝達・共有し、仮想被害状況に応じたDMATの配置し、他チームとの連携強化を行った。</p>
H29.1.13	他県派遣し、情報伝達訓練に参加（医療救護広域班合同訓練）																															
H29.1.29	入道院野山地区災害時訓練（災害訓練）においてDMATチーム1人参加した。																															
H29.3.31	長瀬別荘災害訓練（本庄演習訓練）にDMATチーム1人が参加した。																															
H29.3.3	熊・浦里地区合同災害訓練（合同訓練）にDMATチーム1人が参加した。																															
H29.1.1	他県派遣チーム2人、2地区、4県地区、4県地区、4県地区に派遣した。																															
H29.2.8	同県災害時訓練においてDMAT訓練員1名が参加した。																															
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																										
訓練	1	7	0	0	0	0																										

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画		29実績 自己評価													
中期目標	中期計画	No.	行動計画												
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>医療の質の向上を目指し、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に活かして、業務運営の改善及び効率化に努め、生産性の向上を図ること。</p>	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>業務運営に関しては、医療の質の向上のため、適切な職員配置や組織づくりに努めるとともに、業務改善への職員の意欲を高め、効率的な業務運営の実現を図る。</p>	<p>II</p>	<p>業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>業務運営に関しては、医療の質の向上のため、適切な職員配置や組織づくりに努めるとともに、業務改善への職員の意欲を高め、効率的な業務運営の実現を図る。</p>												
<p>1 簡素で効率的な組織づくり</p> <p>医療を取り巻く環境の変化とそれに対応するたため、簡素で効率的な組織体制を確立すること。</p>	<p>1 簡素で効率的な組織づくり</p> <p>医療環境の変化や県民の医療ニーズに的確に応じられるよう簡素で効率的な組織づくりを進めるとともに、適時適切な意思決定ができる組織運営に努める。</p>	<p>104</p>	<p>・組織の効率化、各種権限の病院長への委任により事務のスピード化を図る。 ・理事会、運営会議、総務・経営担当課長会議を毎月開催（8月を除く）し、法人の運営情報の共有化を図るとともに、予算の修正等の緊急な課題に対する即時的な対応を行う。 ・看護師、コメディカル、事務職員に対する勤務成績評価制度の試行を円滑に実施する。</p>												
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p>	<p>II</p>	<p>104</p>	<p>理事会、運営会議、総務・経営担当課長会議を8月を除く毎月開催し、意思決定の迅速化に努めた。 勤務成績評価制度の試行を行うとともに、平成30年4月から県に導入した人事評価制度の導入することを職員組合と合意した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師（管理監督者）</td> <td>平成26年10月～</td> </tr> <tr> <td>看護師（副主任以上）</td> <td>平成28年4月～</td> </tr> <tr> <td>コメディカル（管理監督者）</td> <td>平成27年10月～</td> </tr> <tr> <td>コメディカル（副主任以上）</td> <td>平成28年4月～</td> </tr> <tr> <td>事務職員（アロハール職員副主任以上）</td> <td>平成28年4月～</td> </tr> </tbody> </table> <p>A</p> <p>毎月、機構内での情報の共有化、緊急案件についての対応が問題なく行われた。 勤務成績評価制度の試行については、本館と各病院が連携し円滑に実施することができ、職員のモチベーション向上等への寄与が図られたものと考えている。</p>	対象	実施時期	看護師（管理監督者）	平成26年10月～	看護師（副主任以上）	平成28年4月～	コメディカル（管理監督者）	平成27年10月～	コメディカル（副主任以上）	平成28年4月～	事務職員（アロハール職員副主任以上）	平成28年4月～
対象	実施時期														
看護師（管理監督者）	平成26年10月～														
看護師（副主任以上）	平成28年4月～														
コメディカル（管理監督者）	平成27年10月～														
コメディカル（副主任以上）	平成28年4月～														
事務職員（アロハール職員副主任以上）	平成28年4月～														

中期計画

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績	29実績 自己評価																																																																							
2 効率的な業務運営の実現	<p>2 効率的な業務運営の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職員が専門性を十分に発揮できるよう体制を整備するとともに、業務量に応じた柔軟な職員配置に努める。 	<p>効率的な業務運営の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な職員採用 柔軟な採用試験の実施 業務の質と量に応じた人材の適時採用 看護師確保のため、看護師修学資金の活用推進や広報活動など多様な多角的な確保対策の実施 	105	<ul style="list-style-type: none"> 優秀な職員を確保する仕組みを設け、効果的な採用を実施する。 職員の採用に対し、広報等様々な取組みを行うことで、必要な職員数の確保に努める。 柔軟な採用試験の実施により、必要な人材の確保に努める。 ハンズレット作成、ホームページへの情報掲載、就職セミナー等での周知を行う。 看護師修学資金制度の活用推進により、更なる看護師確保を目指す。 	<p>業務の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> H29経営等に精通した事務職員1人を採用した。また、診療放射線技師（医学物理士）1人を採用した。 初めてアソシエイトの公募を医療技術職で実施し、栄養アソシエイト1名、言語聴覚アソシエイト2名の採用を決定した。 第2期中期期間（H26～30）法人化による雇用の柔軟性・機動性を発揮した採用を実施した。H28年度からアソシエイトの制度を導入した。 <table border="1"> <caption>看護師修学資金の状況 (単位:人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決定</td> <td>73</td> <td>74</td> <td>123</td> <td>88</td> <td>114</td> <td>60</td> <td>532</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>52</td> <td>80</td> <td>99</td> <td>126</td> <td>163</td> <td>178</td> <td>698</td> </tr> <tr> <td>取消</td> <td>▲6</td> <td>▲12</td> <td>▲11</td> <td>▲5</td> <td>▲9</td> <td>▲8</td> <td>▲51</td> </tr> <tr> <td>返却計</td> <td>19</td> <td>142</td> <td>211</td> <td>209</td> <td>268</td> <td>230</td> <td>1,159</td> </tr> <tr> <td>採用</td> <td>38</td> <td>33</td> <td>71</td> <td>40</td> <td>63</td> <td>-</td> <td>209</td> </tr> </tbody> </table> <p>アソシエイト採用実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>採用関係ホームページアクセス数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセス数</td> <td>年間</td> <td>88,062</td> <td>69,291</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H27に現システムを使用開始 H27は事務、コメディカル採用試験分を含む</p>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	計	決定	73	74	123	88	114	60	532	継続	52	80	99	126	163	178	698	取消	▲6	▲12	▲11	▲5	▲9	▲8	▲51	返却計	19	142	211	209	268	230	1,159	採用	38	33	71	40	63	-	209	区分	28年度	29年度	看護師	5	1	事務	2	2	コメディカル	-	3	計	7	6	区分	27年度	28年度	29年度	アクセス数	年間	88,062	69,291	<p>29実績 自己評価</p> <p>事務職員・看護職員・コメディカルのうち、優秀な有期職員について、アソシエイトの登用を進めている。コメディカルのアソシエイトについては公募試験を開始した。</p> <p>ホームページへの掲載や就職セミナーへの参加など積極的に広報を行い、人材の確保につながっている。看護師修学資金については、一定数の募集が集まり、今後安定的な看護師確保が期待される。</p> <p>効果的・効果的な周知等を行い、看護師の確保につながった。</p>
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	計																																																																						
決定	73	74	123	88	114	60	532																																																																						
継続	52	80	99	126	163	178	698																																																																						
取消	▲6	▲12	▲11	▲5	▲9	▲8	▲51																																																																						
返却計	19	142	211	209	268	230	1,159																																																																						
採用	38	33	71	40	63	-	209																																																																						
区分	28年度	29年度																																																																											
看護師	5	1																																																																											
事務	2	2																																																																											
コメディカル	-	3																																																																											
計	7	6																																																																											
区分	27年度	28年度	29年度																																																																										
アクセス数	年間	88,062	69,291																																																																										
2 効率的な業務運営の実現	<p>2 効率的な業務運営の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬など収入の適正な確保 業務の質を担保しつつ多様な契約手法の活用や事務の効率化などによるコスト削減に努める。 	<p>診療報酬など収入の適正な確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務の質を担保しつつ多様な契約手法の活用や事務の効率化などによるコスト削減 	106	<ul style="list-style-type: none"> 未収金の圧縮を図るため、未収金の収納勧奨等について外部の専門会社を活用する。 医療費に係る相談体制の充実・未収金回収のアウトソーシングの促進等、効率的な未収金対策を講じる。 	<p>業務の実績</p> <p>24年度から弁護士法人へ委託先を変更した結果、回収率の改善が図られている。</p> <table border="1"> <caption>29年度未収金回収実績(介護士事務所委託分) (単位:千円)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>新規委託額</th> <th>回収額</th> <th>中止額</th> <th>29年度未回収額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>19,120</td> <td>28,731</td> <td>12,283</td> <td>10,530</td> </tr> <tr> <td>ところ</td> <td>6,873</td> <td>7,392</td> <td>2,189</td> <td>1,161</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>8,483</td> <td>1,586</td> <td>2,587</td> <td>3,950</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,476</td> <td>37,709</td> <td>17,059</td> <td>15,223</td> </tr> </tbody> </table> <p>未収金回収率の推移 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回収率</td> <td>45.4%</td> <td>59.0%</td> <td>65.2%</td> <td>71.9%</td> <td>72.6%</td> <td>87.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	新規委託額	回収額	中止額	29年度未回収額	総合	19,120	28,731	12,283	10,530	ところ	6,873	7,392	2,189	1,161	こども	8,483	1,586	2,587	3,950	計	31,476	37,709	17,059	15,223	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	回収率	45.4%	59.0%	65.2%	71.9%	72.6%	87.0%	<p>未収金回収業務の外部委託により回収率が改善しており、収入の適正な確保を図られている。</p>																																
区分	新規委託額	回収額	中止額	29年度未回収額																																																																									
総合	19,120	28,731	12,283	10,530																																																																									
ところ	6,873	7,392	2,189	1,161																																																																									
こども	8,483	1,586	2,587	3,950																																																																									
計	31,476	37,709	17,059	15,223																																																																									
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込																																																																							
回収率	45.4%	59.0%	65.2%	71.9%	72.6%	87.0%																																																																							

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績	29実績 自己評価	説明																							
			107	SPD導入により、薬品・診療材料の期限切れ、病棟の在庫削減に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 薬品、診療材料在庫額 薬品については、年2回の棚卸に薬品担当者が介入することで、精度の高い棚卸を実施。 ・診療材料は、ハンギングする品目を増やし最小単位で定数を設定することや、SPDがごまかに病棟の棚をチェックして棚差を減らすことに努めた。また年2回の定数変更時に、定数在庫へ実在庫を合わせることで、過剰在庫の抑制を図った。 ・診療材料は手術室増加に伴い、前年度より増加している。 ・第2期中期間(H26~30) 診材期限切れによる廃棄額は、H29年度675千円で、昨年と比較して58%減である。これはSPDを導入し物流倉庫で一元管理したことにより、不要なもの発注が少なくなったこと、適正在庫を先入れ先出しで運用できていることと、不動在庫の使用促進の効果が出ているためと云える。診材在庫は新棟の影響により手術室在庫が増えているが、病棟▲1,224千円、検査▲1,488千円と削減できている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">薬品・診療材料在庫額</th> <th colspan="4">(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品</td> <td>162,522</td> <td>179,830</td> <td>114,860</td> <td>101,066</td> <td>102,777</td> </tr> <tr> <td>診療材料</td> <td>180,831</td> <td>169,947</td> <td>179,513</td> <td>191,861</td> <td>216,079</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29年度 薬品・診療材料 手術室増加に伴う増額額 35,919千円</p>	薬品・診療材料在庫額		(単位:千円)				区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	薬品	162,522	179,830	114,860	101,066	102,777	診療材料	180,831	169,947	179,513	191,861	216,079	<p>A</p> <p>期限切れについては、切迫品の可視化を行い部署へ啓蒙したり、他部署の使用状況をみて移管するなどの取り組みを行っている。また不動在庫をリスト化し、使用促進の効果がでている。</p> <p>在庫額については、新棟手術室の影響で前回より増えているものの、その他の部署では定数設定の見直しや最小単位での管理品目を増加したことによって削減することができた。</p>
薬品・診療材料在庫額		(単位:千円)																												
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																									
薬品	162,522	179,830	114,860	101,066	102,777																									
診療材料	180,831	169,947	179,513	191,861	216,079																									
			108	積極的に施設基準を取得する。 ・診療報酬の適正請求にかか る研修会等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 診療報酬に係る研修を開催し、適正な収入確保に取り組んだ。 H30. 1月開催:特定共同指導の結果について H30. 3月開催:診療報酬改定について ・H29施設基準取得状況 新棟開棟に伴い、重症病棟の充実化を進めた。(ICUのランクアップ、HCUの増床) ・精神患者への対応範囲を入院にも広げること、総合入院医療技術のランクアップに繋げた。 ・新規医療技術について適切な評価を受けるために、基準を満たした項目について新規届出を行った。(在宅埋込型補助人工心臓管理料、皮膚悪性腫瘍手術等(こころ)) ・診療体制における新たな取り組みに対する適切な評価を受けるために、基準を満たした項目について新規届出を行った。(患者サポート体制充実加算) 	<p>A</p> <p>請求精度の向上を目指して、研修会等を確実に開催した。</p> <p>新規やランクアップの届出が可能 な項目について積極的に届出を行う よう努めた。</p>																								

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績	29実績 自己評価	説明																																																																																																																																																					
			109	<p>・材料費等の節減のための対策を実施する。</p> <p>・診療材料、薬品の廃棄状況を要因別・部門別に明らかにし、破棄・破損について、削減のための対策を講じる。</p>	<p>・H29 ・各病院において、診療材料委員会を中心に関係職員の見識を徹底し、適正な調達に努めている。</p> <p>・診療材料単価低減を図るため、医療従事者と協働した購入材料の選定や価格交渉を推進した。</p> <p>・薬品賞の節減と薬利部門職員の業務軽減を図るため、一薬品メーカー・一卸業者制度を継続するとともに、機種に薬品を納入する卸業者の数を5社で競争を行い、ベンチマーク調査等を活用して周辺の値引率を把握しつつ、値引率向上を図っている。</p> <p>・破損など原因ごとに対策を講じて、診療材料の廃棄量の削減に努めている。</p> <p>・第2期中期期間(H26～30)</p> <table border="1"> <caption>診療材料コスト削減実績表 (単位：千円)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">25年度</th> <th colspan="2">26年度</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>2,159</td> <td>4,314</td> <td>68,309</td> <td>31,307</td> <td>27,923</td> <td>53,923</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>644</td> <td>107</td> <td>146</td> <td>146</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>2,122</td> <td>4,314</td> <td>6,707</td> <td>8,330</td> <td>6,182</td> <td>6,182</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,071</td> <td>23,388</td> <td>75,317</td> <td>22,234</td> <td>31,353</td> <td>60,353</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>29年度 新導入・廃止した診療材料・薬品・品目数の安堵 (単位：件)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">新導入品目数</th> <th colspan="2">廃止品目数</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>割合(%)</th> <th>数量</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>11,776</td> <td>6.853</td> <td>2,914</td> <td>1.654</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>408</td> <td>36</td> <td>75</td> <td>399</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>4,132</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>4,138</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16,316</td> <td>6.368</td> <td>3,012</td> <td>3.516</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>29年度 廃棄・破損額 (単位：千円)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">診療材料</th> <th colspan="2">薬品</th> <th colspan="2">後発品</th> <th colspan="2">廃棄率(%)</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>6,402</td> <td>6,712</td> <td>11,114</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>16.9</td> <td>24.3</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>159</td> <td>143</td> <td>302</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>23.3</td> <td>27.2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,013</td> <td>2,261</td> <td>4,374</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>17.0</td> <td>26.5</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		実績	見込	総合	2,159	4,314	68,309	31,307	27,923	53,923							こども	0	0	644	107	146	146							こども	2,122	4,314	6,707	8,330	6,182	6,182							合計	4,071	23,388	75,317	22,234	31,353	60,353							区分	新導入品目数		廃止品目数		数量	割合(%)	数量	割合(%)	総合	11,776	6.853	2,914	1.654	こども	408	36	75	399	こども	4,132	29	23	4,138	合計	16,316	6.368	3,012	3.516	区分	診療材料		薬品		後発品		廃棄率(%)		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	総合	6,402	6,712	11,114				16.9	24.3	こども	159	143	302				23.3	27.2	合計	2,013	2,261	4,374				17.0	26.5	<p>・徹底した価格交渉や競争性確保に努めた。</p> <p>・案件に応じ「購入+保守管理」一括評価で調達を行い、トータルコストを縮減した。</p> <p>・保守委託については3病院一括・複数年契約等により、法人化や規模のメリットを生かしたコスト削減を図った。</p>										
区分	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度																																																																																																																																																	
	実績	見込	実績	見込	実績	見込	実績	見込	実績	見込	実績	見込																																																																																																																																																
総合	2,159	4,314	68,309	31,307	27,923	53,923																																																																																																																																																						
こども	0	0	644	107	146	146																																																																																																																																																						
こども	2,122	4,314	6,707	8,330	6,182	6,182																																																																																																																																																						
合計	4,071	23,388	75,317	22,234	31,353	60,353																																																																																																																																																						
区分	新導入品目数		廃止品目数																																																																																																																																																									
	数量	割合(%)	数量	割合(%)																																																																																																																																																								
総合	11,776	6.853	2,914	1.654																																																																																																																																																								
こども	408	36	75	399																																																																																																																																																								
こども	4,132	29	23	4,138																																																																																																																																																								
合計	16,316	6.368	3,012	3.516																																																																																																																																																								
区分	診療材料		薬品		後発品		廃棄率(%)																																																																																																																																																					
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額																																																																																																																																																				
総合	6,402	6,712	11,114				16.9	24.3																																																																																																																																																				
こども	159	143	302				23.3	27.2																																																																																																																																																				
合計	2,013	2,261	4,374				17.0	26.5																																																																																																																																																				
			110	<p>効率的な医療機器購入及び管理のための対策を実施する。</p>	<p>・各病院において、病院一体となって徹底した価格交渉や価格調査を行い、入札・見積合わせ等の徹底により競争性を確保することにより、効率的な購入及び管理に努めた。</p> <p>・価格交渉では事務と連携して医師等自らも業者と交渉するほか、スケールメリットを生かした複数台購入も行った。</p> <p>・機種選定では複数機種を原則とし、1機種に限定する場合でも複数業者間の競争を維持するよう努めている。</p> <p>・価格調査では、他病院実績の調査や関係団体への照会、ベンチマーク調査により目安となる金額の把握を徹底し、適正な金額設計に生かしている。</p> <p>・保守委託では、3病院一括の契約を結ぶなど、機器に応じた契約や保守内容の見直しを行いコスト削減を図っている。</p>	<p>・徹底した価格交渉や競争性確保に努めた。</p> <p>・案件に応じ「購入+保守管理」一括評価で調達を行い、トータルコストを縮減した。</p> <p>・保守委託については3病院一括・複数年契約等により、法人化や規模のメリットを生かしたコスト削減を図った。</p>																																																																																																																																																						

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績	29実績 自己評価																																																																						
			111	<p>複数年契約や集約化等による契約方法の見直しを継続的に実施する。</p>	<p>業務の実績</p> <p>・委託費の節減を図るため、複数病院一括化、複数年契約化を行った。また、契約の更新時に引き続き一括化・複数年化に適合するか見直した。(H29年度の契約更新においては、全て一括化・複数年化を継続)</p> <p>・委託の仕様の徹底した見直しを行った。</p> <p>・コスト削減による業務水準の低下を防ぐため、一部の委託については、定期にモニタリング(委託業者の業務を評価)を行い、質の維持・向上を図った。</p> <table border="1"> <caption>29年度 委託契約等の見直し状況 (単位:千円)</caption> <thead> <tr> <th>委託先(業務)</th> <th>連携</th> <th>年数</th> <th>期間</th> <th>種別</th> <th>単価</th> <th>総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染対策業務委託</td> <td>3病院</td> <td>1年</td> <td>H29.4~H30.3</td> <td>定期</td> <td>38,174</td> <td>38,174</td> </tr> <tr> <td>器具消毒業務</td> <td>3病院</td> <td>3年</td> <td>H29.4~H32.3</td> <td>定期</td> <td>46,855</td> <td>140,565</td> </tr> <tr> <td>消防設備点検業務委託</td> <td>3病院</td> <td>3年</td> <td>H29.4~H32.3</td> <td>定期</td> <td>9,453</td> <td>28,359</td> </tr> <tr> <td>設備管理業務委託</td> <td>心・子</td> <td>3年</td> <td>H29.4~H32.3</td> <td>定期</td> <td>11,338</td> <td>34,014</td> </tr> <tr> <td>医療機器保守点検業務委託</td> <td>3病院</td> <td>1年</td> <td>H29.4~H30.3</td> <td>定期</td> <td>174,270</td> <td>174,270</td> </tr> <tr> <td>放射線機器保守業務委託</td> <td>3病院</td> <td>1年</td> <td>H29.4~H30.3</td> <td>定期</td> <td>288,655</td> <td>288,655</td> </tr> <tr> <td>シーメンス社医療機器保守業務委託</td> <td>3病院</td> <td>1年</td> <td>H29.4~H30.3</td> <td>定期</td> <td>138,861</td> <td>138,861</td> </tr> <tr> <td>建築基準法の定期報告業務委託</td> <td>3病院</td> <td>1年</td> <td>H29.9~H30.3</td> <td>定期</td> <td>9,720</td> <td>9,720</td> </tr> <tr> <td colspan="5">合計</td> <td>767,402</td> <td>767,402</td> </tr> </tbody> </table>	委託先(業務)	連携	年数	期間	種別	単価	総額	感染対策業務委託	3病院	1年	H29.4~H30.3	定期	38,174	38,174	器具消毒業務	3病院	3年	H29.4~H32.3	定期	46,855	140,565	消防設備点検業務委託	3病院	3年	H29.4~H32.3	定期	9,453	28,359	設備管理業務委託	心・子	3年	H29.4~H32.3	定期	11,338	34,014	医療機器保守点検業務委託	3病院	1年	H29.4~H30.3	定期	174,270	174,270	放射線機器保守業務委託	3病院	1年	H29.4~H30.3	定期	288,655	288,655	シーメンス社医療機器保守業務委託	3病院	1年	H29.4~H30.3	定期	138,861	138,861	建築基準法の定期報告業務委託	3病院	1年	H29.9~H30.3	定期	9,720	9,720	合計					767,402	767,402	
委託先(業務)	連携	年数	期間	種別	単価	総額																																																																						
感染対策業務委託	3病院	1年	H29.4~H30.3	定期	38,174	38,174																																																																						
器具消毒業務	3病院	3年	H29.4~H32.3	定期	46,855	140,565																																																																						
消防設備点検業務委託	3病院	3年	H29.4~H32.3	定期	9,453	28,359																																																																						
設備管理業務委託	心・子	3年	H29.4~H32.3	定期	11,338	34,014																																																																						
医療機器保守点検業務委託	3病院	1年	H29.4~H30.3	定期	174,270	174,270																																																																						
放射線機器保守業務委託	3病院	1年	H29.4~H30.3	定期	288,655	288,655																																																																						
シーメンス社医療機器保守業務委託	3病院	1年	H29.4~H30.3	定期	138,861	138,861																																																																						
建築基準法の定期報告業務委託	3病院	1年	H29.9~H30.3	定期	9,720	9,720																																																																						
合計					767,402	767,402																																																																						
			112	<p>・毎月の理事会や病院幹部会において、経営状況を報告・分析するとともに、それらの経営状況の職員への周知を図る。</p> <p>・月次決算において、費用計上を発生主義から年間平均化計上へ手法を改めている。</p> <p>・職員研修などにおいて、病院経営や効率的な業務運営に関する取組等の科目を設け、意識の醸成を図った。</p> <p>・院内コミュニケーションシステムや職員報(トライアングル等)を通じて、理事会資料等の経営情報を職員に向け提供し、意識醸成を図っている。</p> <p>・主にH27年度から、上記取り組みを継続して行うことにより、経営情報の把握や適時適切な措置を講じられる体制の整備を図っている。</p>	<p>・月に経営状況を把握するとともに、適時適切な措置を講じられるよう体制を整備する。また、経営情報を職員が共有するなど、職員全員が経営意識の向上に努める。</p> <p>・常に経営情報を把握するとともに、適時適切な措置を講じられるよう体制を整備する。また、経営情報を職員が共有するなど、職員全員が経営意識の向上に努める。</p>	<p>・理事会や運営会議において、毎月の月次決算により経営状況を分析し、報告を行っている。また、3病院合同幹部会において各病院の幹部職員に定期的に報告し、周知を図っている。</p> <p>・月次決算において、費用計上を発生主義から年間平均化計上へ手法を改めている。</p> <p>・職員研修などにおいて、病院経営や効率的な業務運営に関する取組等の科目を設け、意識の醸成を図った。</p> <p>・院内コミュニケーションシステムや職員報(トライアングル等)を通じて、理事会資料等の経営情報を職員に向け提供し、意識醸成を図っている。</p> <p>・主にH27年度から、上記取り組みを継続して行うことにより、経営情報の把握や適時適切な措置を講じられる体制の整備を図っている。</p>																																																																						

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画		29実績 自己評価																																																	
中期目標	中期計画	行動計画	業務の実績																																																
<p>3 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した職員を確保及び育成することにより、専門性の向上を図ること。</p>	<p>II 3</p> <p>事務部門の専門性の向上 ・事務職員の計画的な採用 ・階層や職務に応じた効果的な研修の実施、学会発表等へ事務職員の参加など ・異動方針の単力的運用及び各部署におけるOJT (on-the-job training) をはじめとする人材の育成・研修の推進 ・診療情報管理機能の強化</p>	<p>No.</p> <p>113</p> <p>・階層や職務に応じた各種研修を実施する。 ・また、事務職員の機軸外研修への積極的な参加を促す。 ・職員の適性等を考慮した弾力的な人事異動を行う。</p>	<p>業務の実績</p> <p>・ H29 採用内定者研修、事務職員基礎研修(新規採用職員)、会計研修等を実施し、業務関連知識を高めている。 職員の適正等を考慮し、適宜人事異動を行った。 事務職員が持つ研修状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受講時期</th> <th>研修名</th> <th>開催状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新採年度</td> <td>新規採用職員研修</td> <td>5、6月 2日間 1日間</td> </tr> <tr> <td>係長級昇任時</td> <td>新任監督者研修</td> <td>8月 1日間</td> </tr> <tr> <td>ワシントン長昇任時</td> <td>新任管理者・監督者研修</td> <td>9月 1日間</td> </tr> <tr> <td>管理者(毎年度)</td> <td>コーチング研修</td> <td>9月 1日間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コミュニケーション研修</td> <td>7月 1日間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フエリカワークショップ研修</td> <td>11月 1日間</td> </tr> <tr> <td>希望により任意参加</td> <td>小初級英語研修</td> <td>12月 半日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>会計基礎研修</td> <td>4月 半日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>会計中級研修</td> <td>9月 半日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未収金回収研修</td> <td>12月 半日</td> </tr> </tbody> </table> <p>・第2期中期目標期間 (H26～30) 28年度、29年度は事務職員が学会に発表者として参加し、事務職員の能力向上を図った。 また、病院職員としての自覚を促し、病院経営を学ぶため、県派遣職員及び管理・監督職員に、理事長・副理事長から直接講義をする機会を設けた。 人事異動については、職員の人材育成に主眼を置いた人事異動等を実施した。</p>	受講時期	研修名	開催状況	新採年度	新規採用職員研修	5、6月 2日間 1日間	係長級昇任時	新任監督者研修	8月 1日間	ワシントン長昇任時	新任管理者・監督者研修	9月 1日間	管理者(毎年度)	コーチング研修	9月 1日間		コミュニケーション研修	7月 1日間		フエリカワークショップ研修	11月 1日間	希望により任意参加	小初級英語研修	12月 半日		会計基礎研修	4月 半日		会計中級研修	9月 半日		未収金回収研修	12月 半日															
受講時期	研修名	開催状況																																																	
新採年度	新規採用職員研修	5、6月 2日間 1日間																																																	
係長級昇任時	新任監督者研修	8月 1日間																																																	
ワシントン長昇任時	新任管理者・監督者研修	9月 1日間																																																	
管理者(毎年度)	コーチング研修	9月 1日間																																																	
	コミュニケーション研修	7月 1日間																																																	
	フエリカワークショップ研修	11月 1日間																																																	
希望により任意参加	小初級英語研修	12月 半日																																																	
	会計基礎研修	4月 半日																																																	
	会計中級研修	9月 半日																																																	
	未収金回収研修	12月 半日																																																	
<p>3 事務部門の専門性の向上 診療情報管理業務に専門的に携わることができている職員を育成する。</p>	<p>114</p> <p>診療情報管理業務に専門的に携わることができている職員を育成する。</p>	<p>No.</p> <p>114</p> <p>・ H29 診療情報管理士資格の取得支援制度を設け、資格者の確保を図っている。 がん登録業務を担当する職員に国立がん研究センター主催院内がん登録実務研修を受講させるなど、専門性の向上を図っている。 ・第2期中期目標期間 (H26～30)</p> <p>診療情報管理士継続状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> </tr> <tr> <th>資格取得者</th> <th>資格保持者</th> <th>資格取得者</th> <th>資格保持者</th> <th>資格取得者</th> <th>資格保持者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>心臓</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小児</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>水産</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 専門研修修了者・継続研修修了者</p>	区分	28年度		29年度		30年度		資格取得者	資格保持者	資格取得者	資格保持者	資格取得者	資格保持者	総合	3	11	6	13	5	11	心臓	1	1	1	1	1	1	小児	5	2	4	2	3	4	水産	2	1	1	1	2	1	計	11	16	14	18	12	17	<p>説明</p> <p>A</p> <p>業務の基礎部分に対する研修体系は出来た。 事務職員の更なるレベルアップが必要である。</p> <p>A</p> <p>診療情報管理機能の強化をするため、診療情報管理士資格の取得支援制度を活用し、必要な資格者を確保している。</p>
区分	28年度			29年度		30年度																																													
	資格取得者	資格保持者	資格取得者	資格保持者	資格取得者	資格保持者																																													
総合	3	11	6	13	5	11																																													
心臓	1	1	1	1	1	1																																													
小児	5	2	4	2	3	4																																													
水産	2	1	1	1	2	1																																													
計	11	16	14	18	12	17																																													

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期計画		年度計画		No.	行動計画	業務の実績	29実績 自己評価																																																																																																																																																																																										
中期目標						<p>・ H29 ・業務の標準化を図るため、事務部門の業務マニュアルを整備・活用に向けた取り組みを実施している。 ・院内コミュニケーションシステム上に整備したマニュアルを公開し、共有化している。 ・第2期中期目標期間（H26～30） ・事務部門における業務項目数に対して、マニュアル整備率を上げている。</p>	<p>説明</p> <p>作成されたマニュアルを公開していることで、マニュアルの共有化が図られている。</p>																																																																																																																																																																																										
	4 業務改善に不断に取り組む組織風土の醸成	4 業務改善に不断に取り組む組織風土の醸成	II 4	115	<p>事務部門の業務マニュアルの作成等、業務の平準化や効率化のための取組を継続する。</p>	<p>（単位：件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">所属別</th> <th colspan="2">25年度</th> <th colspan="2">26年度</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> </tr> <tr> <th>業務項目数</th> <th>マニュアル整備数</th> <th>業務項目数</th> <th>マニュアル整備数</th> <th>業務項目数</th> <th>マニュアル整備数</th> <th>業務項目数</th> <th>マニュアル整備数</th> <th>業務項目数</th> <th>マニュアル整備数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>268</td> <td>259</td> <td>268</td> <td>268</td> <td>268</td> <td>268</td> <td>268</td> <td>268</td> <td>268</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>163</td> <td>151</td> <td>163</td> <td>163</td> <td>163</td> <td>163</td> <td>163</td> <td>163</td> <td>163</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>252</td> <td>201</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>829</td> <td>821</td> <td>829</td> <td>829</td> <td>829</td> <td>829</td> <td>829</td> <td>829</td> <td>829</td> <td>829</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">所属別</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> </tr> <tr> <th>業務項目数</th> <th>マニュアル整備数</th> <th>業務項目数</th> <th>マニュアル整備数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>268</td> <td>268</td> <td>268</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>163</td> <td>163</td> <td>163</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>146</td> <td>146</td> <td>146</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>829</td> <td>829</td> <td>829</td> <td>829</td> </tr> </tbody> </table>	所属別	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		業務項目数	マニュアル整備数	総合	268	259	268	268	268	268	268	268	268	268	こころ	163	151	163	163	163	163	163	163	163	163	こども	252	201	252	252	252	252	252	252	252	252	本部	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	合計	829	821	829	829	829	829	829	829	829	829	所属別	28年度		29年度		業務項目数	マニュアル整備数	業務項目数	マニュアル整備数	総合	268	268	268	268	こころ	163	163	163	163	こども	252	252	252	252	本部	146	146	146	146	合計	829	829	829	829	<p>・ H29 業務改善について、院内コミュニケーションシステム等を利用して、誰もが経営・業務改善を常時提案できる体制の整備に努めた。また、他職員の改善提案を確認できるような仕組みを整備している。</p> <p>・ 第2期中期目標期間（H26～30） 法人化後構築した「改革・改善推進制度」を、26年度から「改善運動推進制度」と名称を改め、引き続き職員が改善運動に進んで取り組めるよう促した。</p> <p>業務改善運動推進制度実績件数 （単位：件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">26年度</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">前年増減率</th> </tr> <tr> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>29年度</th> <th>29年度</th> <th>29年度</th> <th>29年度</th> <th>前年増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>39</td> <td>49</td> <td>46</td> <td>43</td> <td>80</td> <td>43</td> <td>80</td> <td>43</td> <td>80</td> <td>186%</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>30</td> <td>12</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>29</td> <td>36</td> <td>29</td> <td>81%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>46</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>71</td> <td>50</td> <td>71</td> <td>50</td> <td>71</td> <td>50</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>119%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>130</td> <td>127</td> <td>144</td> <td>166</td> <td>178</td> <td>166</td> <td>178</td> <td>166</td> <td>178</td> <td>107%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	26年度		27年度		28年度		29年度		前年増減率		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	前年増減率	総合	39	49	46	43	80	43	80	43	80	186%	こころ	30	12	34	36	36	36	29	36	29	81%	こども	46	54	53	71	50	71	50	71	50	70%	本部	15	12	11	16	19	16	19	16	19	119%	計	130	127	144	166	178	166	178	166	178	107%								
所属別	25年度		26年度		27年度			28年度		29年度																																																																																																																																																																																							
	業務項目数	マニュアル整備数	業務項目数	マニュアル整備数	業務項目数	マニュアル整備数	業務項目数	マニュアル整備数	業務項目数	マニュアル整備数																																																																																																																																																																																							
総合	268	259	268	268	268	268	268	268	268	268																																																																																																																																																																																							
こころ	163	151	163	163	163	163	163	163	163	163																																																																																																																																																																																							
こども	252	201	252	252	252	252	252	252	252	252																																																																																																																																																																																							
本部	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146																																																																																																																																																																																							
合計	829	821	829	829	829	829	829	829	829	829																																																																																																																																																																																							
所属別	28年度		29年度																																																																																																																																																																																														
	業務項目数	マニュアル整備数	業務項目数	マニュアル整備数																																																																																																																																																																																													
総合	268	268	268	268																																																																																																																																																																																													
こころ	163	163	163	163																																																																																																																																																																																													
こども	252	252	252	252																																																																																																																																																																																													
本部	146	146	146	146																																																																																																																																																																																													
合計	829	829	829	829																																																																																																																																																																																													
区分	26年度		27年度		28年度		29年度		前年増減率																																																																																																																																																																																								
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	前年増減率																																																																																																																																																																																							
総合	39	49	46	43	80	43	80	43	80	186%																																																																																																																																																																																							
こころ	30	12	34	36	36	36	29	36	29	81%																																																																																																																																																																																							
こども	46	54	53	71	50	71	50	71	50	70%																																																																																																																																																																																							
本部	15	12	11	16	19	16	19	16	19	119%																																																																																																																																																																																							
計	130	127	144	166	178	166	178	166	178	107%																																																																																																																																																																																							
	4 業務改善に不断に取り組む組織風土の醸成	4 業務改善に不断に取り組む組織風土の醸成	II 4	116	<p>業務改善に不断に取り組む組織風土の醸成 ・業務の改善取組等を通じた職員の意識向上及び病院運営の活性化</p>	<p>院内コミュニケーションシステムを活用するなどして、職員が経営・業務改善を常時提案できる体制を整備する。</p>	<p>業務改善について、院内コミュニケーションシステム等を利用して、誰もが経営・業務改善を常時提案できる体制の整備を図った。 29年度は、機体内エントリー合計178件で昨年度より12件増加するなど、職員による業務改善が積極的に実施された。</p>																																																																																																																																																																																										

(参考) 用語解説

用語 (50音順)	解 説
ACT	ACTとは、Assertive Community Treatment(包括型地域生活支援プログラム)の略で、重い精神障害を持つ人々に対して、住み慣れた地域で支援する、集中型・包括型ケースマネジメントプログラム。
CCU	CCUとは、Coronary Care Unitの略で、冠疾患集中治療室と呼ばれ、主に心筋梗塞などの冠動脈疾患の急性危機状態の患者を収容し、専門の医師・看護師により、厳重な監視モニター下で持続的・集中的に管理・治療する部門。 ※こども病院では、CCUをCardiac(心臓病の)ICUと位置付けている。
DMAT	DMATとは、Disaster Medical Assistance Teamの略で、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持ち、専門的な訓練を受けた医療チーム(DMAT:ディーマツト)
DPC	DPCとは、Diagnosis Procedure Combinationの略で、診断群分類のこと。これに基づく診断群分類包括評価(しんだんぐんぶんるいほうかつひょうか)により、日本の急性期入院医療費の定額支払制度が平成18年から(試行は平成15年から)運用されている。(総合:H20.7導入、こども:H21.7導入)
ESCO	ESCOとは、Energy Service Companyの略で、1970年代アメリカで始まり、1990年代後半に日本に導入された省エネ化を目指す事業で、省エネルギーに関わる一連の業務を一括して請け負うことや、計画した省エネ効果が出なかった場合、省エネ相当分を顧客に補償する義務を負うことなどが特徴。
HCU	HCUとは、High Care Unitの略で、集中治療室に準ずる機能を持つ高度な治療室。看護配置数は集中治療室の1/2であるが、一般の病棟よりはるかに多いため両者の中間に位置する病室。集中治療室から一般病棟への転室は落差が大き過ぎ、移行が難しいため、一般病棟への移行を円滑に行うために設置される。手術後の患者や集中治療を脱した重症患者の経過観察を受け持つことが多い。
ICU	ICUとは、Intensive Care Unitの略で、集中治療室と呼ばれ、内科系・外科系を問わず呼吸、循環、代謝そのほかの重篤な急性機能不全の患者を収容し、強力かつ集中的に治療看護を行う部門。
m-ECT	m-ECTとは、修正型電気けいれん療法で麻酔科医による全身麻酔の下、筋弛緩剤の投与により体幹のけいれんを起こさせないもので、うつ病、躁うつ病、統合失調症などの治療に用いられており、従来の有けいれん療法に比べ、安全で有効な治療法とされている。
MFIUCU	MFIUCUとは、Maternal Fetal Intensive Care Unitの略で、重い妊娠中毒症、前置胎盤、合併症妊娠、切迫早産や胎児異常など、ハイリスク出産の危険度が高い母体・胎児に対応するための設備と医療スタッフを備えた集中治療室
MSW	MSWとは、Medical Social Workerの略で、疾病を有する患者が、病気になることで生じる生活上の様々な困難に対して、自立した生活を送ることができるように、社会福祉の立場から、患者の生活全体を支援していく専門家のこと。
NICU	NICUとは、Neonatal Intensive Care Unitの略で、未熟児をはじめとするハイリスク新生児は専門的な医療機関で集中治療・管理する必要がある、このような医療を展開する場所全体を一般的に広義の新生児集中治療室と呼んでいる。
PCI	血管に刺入する管(カテーテルという)を用いて冠動脈疾患に様々な治療を行うことを総称して(経皮的)冠動脈インターベンション(PCI)と呼ぶ。 風船療法(カテーテルの先端の風船(バルーン)で狭窄した冠動脈を拡げる)や経皮的冠動脈ステント留置術(拡げた冠動脈にステントという金属のコイルを内側に張り付けて血管を支え再狭窄を防ぐ)やDCA(カッターで狭窄病変部位を削り取り拡げる治療法)やローターブレードというドリルのような先端を回転させて病変を削り取るなどの治療法がある。
PET	PETとは、Positron Emission Tomography(ポジトロン・エミッション・トモグラフィ)の略で、PET検査とは、陽電子(ポジトロン)を放出する放射性核種(ポジトロン核種)で標識した薬剤を静脈から注射して、細胞の活動状態を画像化する診断技術である。 がん等の診断、治療効果・治療後の経過観察に有用な最先端の検査法で、同様にがんの早期発見にも有用である。

用語 (50音順)	解 説
P I C U	P I C Uとは、Pediatric Intensive Care Unitの略で、小児集中治療室と呼ばれ、専属の専門医が配置され独立病棟として24時間小児重症患者を受け入れている。
P S W	P S Wとは、Psychiatric Social Workerの略で、精神保健福祉士と言い、社会福祉学を学問的基盤として、精神障害者の抱える生活問題や社会的問題の解決のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通じて、患者を支援していく専門家のこと。
S P D	S P Dとは、Supply Processing Distributionの略で、物品・物流の包括的管理業務のことを指す。物品の発注、検収、入庫、払出、搬送、格納、出庫、在庫確認、棚卸を一元管理すること。
T A V I	T A V Iとは、Transcatheter Aortic Valve Implantationの略で、「経カテーテル大動脈弁留置術」と訳されます。T A V Iは、胸を開かずに、心臓が動いている状態で、カテーテルを用いて人工弁を患者の心臓に装着する治療法である。
葵カード	連携安心カードともいい、病院から診療所に紹介する際に、病状悪化等で入院が必要になった場合に、葵カードを提示すれば県立総合病院が必ず対応するので安心してください、という意味で患者に渡すカードのこと。静岡市では、医師会と各病院が、病院の医師と診療所の医師の両方が役割分担して連携して患者を診る仕組みを運用している。
医療観察制度	心神喪失又は心神耗弱の状態で大変な他害行為を行った人を対象として、国の責任による手厚い専門的な医療と、退院後の継続的な医療を確保するための仕組み等によって、その円滑な社会復帰を促進することを目的とした制度であり、こころの医療センターにおいては、平成21年3月24日付で指定入院医療機関指定書（東海北陸厚生局長指定、第0004号）により指定入院医療機関として指定された。
医療秘書（医師事務作業補助者）	クラークともいわれ、病院勤務医の負担軽減を図るため、医師の事務作業を補助する職員のこと。 医師の指示の下、診断書の文章作成補助、診療記録への代行入力、医療の質の向上に資する事務作業（診療に関するデータ整理、院内がん登録等の統計・調査、医師の教育や臨床研修のカンファレンスのための準備作業等）並びに行政上の業務（救急医療情報システムへの入力等）への対応を行う。
看護師修学資金制度	当機構への就職を希望する看護学生に対して、資質の向上に資することを目的に修学資金（月5万円）を貸与する制度のこと。なお、当機構に看護師として就職した期間に相当する額の返還が免除される。 また、既に静岡県外の病院等から貸与を受けている同種の修学資金に対して、借り換えをするための資金（返還資金）を貸与するメニューも用意している。
緩和ケア	主に治癒を目的とする治療ではなく、全人的なケアで、痛み、その他の症状コントロール、心理面、社会面、精神面のケアを行うもの。
がんサミット	がんの症例について、手術・化学療法・放射線治療・緩和医療、画像診断、病理診断等、院内のがん診療・診断に携わる医師をはじめ、看護師、薬剤師等関連する専門職が、診療科や職種の垣根を越えて一堂に集まって、さらに連携する地域の医療者（医師会の医師、看護師、薬剤師、訪問看護師、介護関係職等）にも参加してもらい、それぞれの専門的な知識・技能を集約して、がん患者の症状・状態や治療法・治療方針等の情報を共有して意見交換し、最適な治療方針を協議・決定する場のことを言う。
クリニカルパス	クリニカルパスとは、ある病気の治療や検査に対して、標準化された患者様のスケジュールを表にまとめたもので、1つの治療や検査ごとに1つずつ作られている。 クリニカルパスには、病院用、患者様用と2つ準備されており、患者用クリニカルパスには、「入院診療計画書」として、患者が入院してからの食事や処置、検査・治療、そのための準備、退院後の説明等が日ごとに詳しく説明されている。

用語（50音順）	解 説
クロザピン	クロザピンは抗精神病薬で、H21.4月に製造承認され、7月より発売開始となった。クロザピンの使用にあたっては、高い治療効果の反面、重篤な副作用（白血球の減少）が報告されていることから、安全管理体制の整備が義務付けられている。
固定チームナーシング	入院患者への看護は、24時間体制で求められている。しかし、看護師ひとりでは、対応しきれないため、「看護提供方式」を活用して24時間の看護を提供している。「固定チームナーシング」は、いくつかある看護提供方式の内のひとつの方式のこと。 1年間固定したチームメンバーで活動することを原則に、チームで患者の看護を行う方式である。固定チームの受け持ち患者を分担して受け持ち、入院から退院まで24時間チームメンバーにより看護が展開される。看護師メンバーが固定されることで、継続的な看護が提供される。
コーディング	疾病や手術、検査などをコード化する仕事。 最近、病院では診療情報を活用するために、あるいはDPCやがん登録などの国の制度の義務付けにより、標準化されたコードへのコーディングとそのシステムへの登録が必要となり、そのためコーディングする人の需要が、増えている。正しいコーディングのためには、コード体系の知識とともに医学知識やカルテを読み解く能力が要求される。 疾病のコーディング：膝の関節炎⇒M13.96（Mは骨・筋肉などを示す。13は関節炎を示す。9は詳細不明を示す。6は膝を示す）
コメディカル	薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・歯科衛生士・理学療法士・作業療法士などの、医師・看護師以外の医療従事者の総称のこと。
ジェネリック医薬品（後発医薬品）	特許権が消滅した医薬品について、特許権者ではなかった医薬品製造メーカーがその特許権の内容を利用して製造した医薬品のこと。
紹介率・逆紹介率	・紹介率とは、初診患者のうち、他の医療機関から紹介状により紹介された患者の数が占める割合のことである。 紹介率＝（初診患者のうち紹介患者数）÷初診患者数×100 ・逆紹介率とは、地域医療支援病院の全患者のうちから他の医療機関に紹介した者で、診療情報提供料を算定したものの数（同一人に複数回又は複数紹介先算定の場合あり）と、初診患者の総数との比較のことである。 逆紹介率＝逆紹介患者数÷初診患者数×100
初期臨床研修医 後期臨床研修医	免許取得の後に、臨床研修の名で上級医の指導の下に臨床経験を積む卒業教育が制度化された。病院独自に「前期・後期研修医」の名称を使用することがあるが、研修医（広義、1-5年目程度）＝研修医（狭義、＝前期研修医、1-2年目）＋後期研修医（3-5年目程度）としていることが一般的である。 一般に「研修医」の語を使う場合、「前期研修医」を指す。後期研修医とはほぼ同義の語として、専修医、修練医、などがあるが、各々の病院独自のものである。
新専門医制度	新専門医制度とは、平成29年度以降に専門研修を開始する医師を主な対象として開始を予定していた制度で、今まで各学会が独自に定めた基準により認定をしていた専門医資格を、中立的第三者機関である日本専門医機構が統一的に専門研修プログラムの審査・承認を行い、承認を受けたプログラムに基づいて専門研修施設群がカリキュラムの修了を判定。その判定をもとに日本専門医機構が専門医の認定を行うものとされていたものである。 ただし、医師の地域偏在への懸念が解消されなかったことから1年の延期が決定された。（小児科学会（小児科専門医）はH29より先行実施）
心理教育・家族教室	心理教育とは、精神障害やエイズなど受容しにくい問題を持つ人たちに、病気に関する必要な基礎知識を提供するとともに、療養生活を営む自信と地域で暮らしていく力量を身につけ、医療機関で提供される各種リハビリテーションプログラムや、地域の援助プログラムを主体的に利用することを促すことによって、医療機関における治療や援助から、精神障害者を日常的に支える地域リハビリテーションへの連続的な移行を目指して行う支援法のこと。 患者の家族だけを対象に行う支援を家族教室と言う。

用語（50音順）	解 説
心理・社会的治療	精神科における薬物療法と電気けいれん療法以外の心理療法的プログラムの総称で、多職種のチーム医療が原則である。 デイケア、作業療法、認知行動療法、心理教育・家族教室、ACTなどの各種治療法を含む。
診療情報管理士	診療情報管理士とは、四病院団体協議会（日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会）および医療研修推進財団が資格付与する民間資格のこと。 主な業務内容として、診療録の物理的な管理や内容の精査を行う「物の管理」、診療情報をコーディングするなどしてデータベースを構築する「情報の管理」、構築されたデータベースから必要な情報を抽出・加工・分析する「情報の活用」がある。
ダ・ヴィンチ	3D画像を確認しながら、離れた場所からロボットアームを操作して内視鏡下手術を行うもので、皮膚切開を最小限にすることで、患者の負担をできるだけ抑えることが可能（術中の出血量が少ない、術後の疼痛が少ない）。
地域医療支援病院	1997年（平成9年）4月の医療法の第3次改正で制度化された医療機関の機能別区分のひとつ。 目的としては、地域の病院、診療所などを後方支援するという形で医療機関の役割分担と連携を目的に創設された。都道府県知事によって承認される。 （承認要件） <ul style="list-style-type: none"> ・病院の規模は原則として病床数が200床以上の病院であること。 ・紹介率及び逆紹介率が基準を満たしていること。 ・他の医療機関に対して高額な医療機器や病床を提供し共同利用すること。 ・地域の医療従事者の向上のための生涯教育等の研修を実施していること。 ・救急医療を提供する能力を有すること。
地域連携クリニカルパス	病院の医師と診療所の医師、疾患によってはリハビリ施設など地域の医療提供施設が役割分担して連携して患者を診る仕組みの中で、疾患別に、以降の診療予定をスケジュール表の形式で表わしたもので、患者は診療所にいつ受診し、病院にいつ受診し、あるいはリハビリ施設にいつ受診し、どういう治療を受けるのかが分かり、医療施設は患者の診療の進捗管理をし、施設間で情報を共有するために使われる。診療報酬点数表上では、疾患が限られているが、「地域連携計画書」といい、計画管理料や退院時指導料等が算定できる。
ドクターカー	平成20年4月25日に道路交通法施行令の一部が改正され緊急自動車の指定対象に追加された乗用車型のドクターカー（患者搬送のための特別な構造又は装置を有しない医師派遣用自動車）。静岡市消防局の要請により「ドクターカー」に当院の救命救急センターのスタッフが搭乗し、災害や事故の現場に急行したり、搬送途中の救急車とドッキングして治療を開始する。
認知行動療法	認知行動療法とは、人間の気分や行動が認知のあり方（ものの考え方や受け取り方）の影響を受けることから認知の偏りを修正し、問題解決を手助けすることによって精神疾患を治療することを目的とした精神療法であり、2010年から、一部保険点数化がされた。
認定看護師	認定看護師とは、日本看護協会及び日本精神科看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、水準の高い看護実践を通して看護師に対する指導・相談活動を行う者をいう。
ハイブリッド手術室	据置型血管撮影装置（アンギオ）を設置した手術室であり、カテーテル血管内治療と外科的手術の双方に対応が可能。 <ul style="list-style-type: none"> ・合併症などの緊急時の対応が可能。（カテーテル治療から外科的手術への移行） ・手術のみでは到達困難な部位に対する治療が可能。 ・カテーテルのみでは治療できない緊急時の病変に対しても外科的手術を同時に行うことで対応が可能。 ・鮮明な透視画像により治療精度が向上

用語 (50音順)	解 説
リニアック	<p>リニアックとは、日本語では「直線加速器」といわれるもので、荷電粒子を一直線上で加速させて発生した放射線を当てることで、がんなどの治療をする機器です。</p> <p>多方向からピンポイントで放射線を当てることにより、正常組織への放射線の照射量を低減し、腫瘍部分の放射線量が高くなり細胞を死滅させる治療方法。</p>
レジデント	<p>初期臨床研修医はジュニアレジデント、初期レジデント、スーパーローテーターなどと呼ばれ、それ以降に専門科での研修を行うものを単にレジデントと呼んだり、後期研修医、後期レジデント、シニアレジデント、専攻医などと呼ばれている。</p>